

平成24年

福島県感染症発生動向調査事業報告書

(平成24年1月～12月)

平成25年3月

福島県感染症情報センター  
(福島県衛生研究所)  
福島県感染症情報解析委員会



## はじめに

感染症発生動向調査は、平成 11 年 4 月の「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の施行に基づき、各都道府県の「感染症発生動向調査事業実施要綱」によって実施されています。

福島県においても「福島県結核・感染症発生動向調査事業実施要綱」により、平成 13 年 7 月から地方感染症情報センターを福島県衛生研究所内に移管・設置して、県内の患者情報及び病原体情報を一元的に収集し、その解析と提供を行ってきました。

情報センターが収集・解析した情報は、週報・月報として定点医療機関や医師会等の関係機関に還元し、さらに、衛生研究所のホームページへ掲載することで、県民の皆様に広く情報提供を行っております。

平成 24 年は西日本を中心とした風しんの流行がありました。本県においては大きな流行とはなりませんでしたが、サーベイランスの重要性を改めて認識させられる出来事となりました。

このたび、平成 24 年の事業報告書を発行することになりました。発行に際し、定点医療機関をはじめ関係機関のご協力を深く感謝申し上げます。また、本報告書を広くご活用いただき、県民の感染症予防に役立てていただければ幸いです。

平成25年3月

福島県衛生研究所長 笹原賢司



# 目 次

I	福島県感染症発生動向調査事業実施概要	
(1)	福島県感染症発生動向調査事業実施概要	3
(2)	福島県感染症情報センターの概念図	4
II	福島県感染症発生動向調査事業一～五類，新型インフルエンザ等感染症全数把握及び五類感染症定点把握，法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症報告	
(1)	一～五類，新型インフルエンザ等感染症【全数把握】対象結果報告	7
(2)	一～五類，新型インフルエンザ等感染症【全数把握】報告調査結果（福島県・全国）	12
(3)	五類感染症【定点把握】対象結果報告	14
(4)	法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症結果報告	42
III	検査情報	
(1)	2012年感染症発生動向調査事業報告（ウイルス）	47
(2)	2012年感染症発生動向調査事業報告（細菌）	53
IV	資料	
(1)	福島県結核・感染症発生動向調査事業実施要綱	61
	別表1 全数把握の対象	69
	別表2 定点把握の対象	70
	別表3 全数把握五類感染症病原体検査の対象	71
	別表4 定点把握五類感染症患者定点の種類及び対象	71
	別表5 定点把握五類感染症病原体定点の対象	72
	【別記様式について】	73
	【福島県感染症発生動向調査指定届出医療機関一覧（患者定点）】	74
(2)	福島県病原体検査実施要領	81
(3)	福島県感染症発生動向調査企画委員会設置要領	84
(4)	福島県感染症情報解析委員会設置要領	87
(5)	福島県麻しん対策検討部会設置要領	89



# I 福島県感染症発生動向調査事業実施概要





## (1) 福島県感染症発生動向調査事業の実施概要

### 1 実施体制

#### (1) 福島県感染症発生動向調査事業実施要綱等

本事業の実施に関わる要綱等は、本誌IV 資料に掲げるとおりである。

#### (2) 指定届出医療機関（定点選定）

福島県感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき、指定届出医療機関【患者定点；①小児科：45 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（76）から（86）までに掲げるものについては、小児科を標榜する医療機関を小児科定点として指定する.〕、②インフルエンザ：76 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（87）については、前記で選定した小児科定点に加え、内科を標榜する医療機関を内科定点として指定し、両者を合わせてインフルエンザ定点とする.〕、③眼科：12 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（88）及び（89）については、眼科を標榜する医療機関を眼科定点とする.〕、④STD：15 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（90）から（93）については、産婦人科又は産科若しくは婦人科、性病科又は泌尿器科を標榜する医療機関を性感染症定点とする.〕、⑤基幹：7 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（94）から（101）については、患者を300人以上収容する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）を各2次医療圏域毎に一カ所以上、基幹定点とする.〕、⑥疑似症：118 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（104）については、内科又は小児科を標榜する医療機関、（105）については、内科、小児科又は皮膚科を標榜する医療機関を疑似症定点とする.〕、及び病原体定点：21 医療機関〔各選定された患者定点の概ね10%を病原体定点とする.〕】を選定する。

#### (3) 福島県感染症発生動向調査企画委員会

本事業の実施の推進を図るため、福島県感染症発生動向調査企画委員会を、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱により設置する。

#### (4) 福島県感染症情報解析委員会

収集した患者情報及び病原体情報を、より専門的な観点から解析、提供を行うため、福島県感染症発生動向調査企画委員会のもとに福島県感染症情報解析委員会を設置する。

### 2 実施状況

#### (1) 情報収集

ア 福島県感染症発生動向調査事業実施要綱により、患者定点として選定された医療機関は、調査単位が週（月曜日から日曜日まで）の場合は対象週の翌週の月曜日までに、月単位の場合は対象月の翌月の初日までに、FAX等で保健所に送信する。

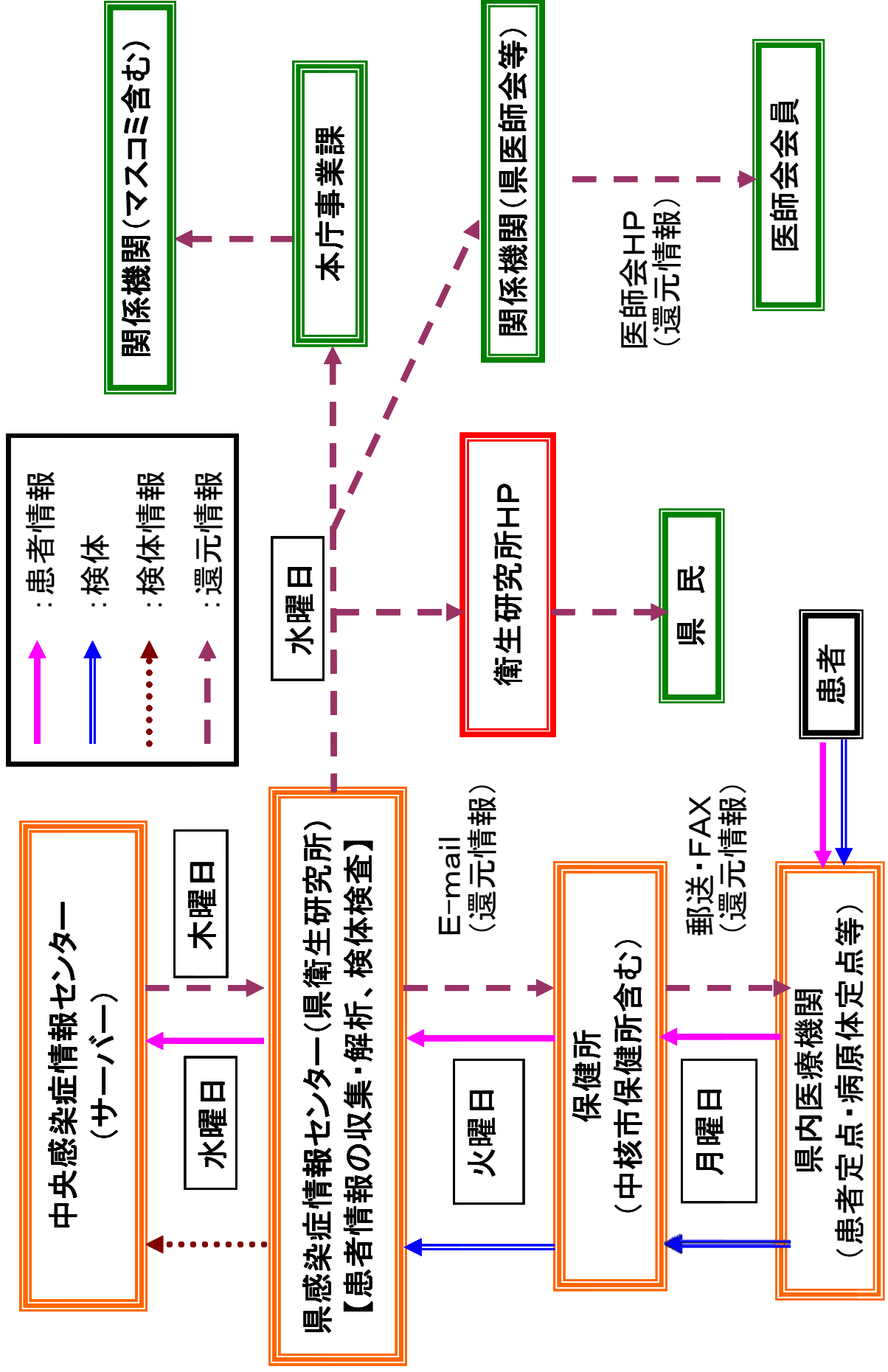
保健所は、患者定点から得られた患者情報を、調査単位が週の場合は調査対象週の翌週の火曜日までに、調査対象が月の場合は調査対象月の翌月の3日までに、福島県感染症情報センターへコンピュータ・オンラインシステムにより伝送する。

イ 福島県病原体検査実施要領により、各病原体定点から採取された検体は、福島県衛生研究所で検査を行い、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、検査情報として福島県感染症情報センター及び感染・看護室に報告する。

#### (2) 情報還元

福島県感染症情報センターは、患者情報及び病原体情報を週単位および月単位で収集、解析するとともに、その結果を全国情報と併せて、週報及び月報等として保健所に提供するとともに福島県医師会、福島県教育委員会、その他関係機関等に提供・公開する。

## (2) 感染症情報センターの概念図



Ⅱ 福島県感染症発生動向調査事業一～五類，  
新型インフルエンザ等感染症全数把握及び  
五類感染症定点把握，  
法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症  
報告



(1) 一～五類, 新型インフルエンザ等感染症全数把握対象結果報告

●一類感染症〔全数把握〕

(1) エボラ出血熱, (2) クリミア・コンゴ出血熱, (3) 痘そう, (4) 南米出血熱, (5) ペスト, (6) マールブルグ病, (7) ラッサ熱の報告はなかった。

●二類感染症〔全数把握〕

(8) 急性灰白髄炎の報告はなかった。

(9) 結核の報告は274例あった。

・結核報告状況

〔保健所別報告数〕

	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
24年	78	44	13	13	59	4	15	48	274
23年	87	78	8	22	73	3	20	51	342
22年	73	57	7	12	61	0	24	60	294

(10) ジフテリア, (11) 重症急性呼吸器症候群(病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る), (12) 鳥インフルエンザ(H5N1)の報告はなかった。

●三類感染症〔全数把握〕

(13) コレラの報告はなかった。

(14) 細菌性赤痢の報告は3例あり, 県北から1名〔30週(10歳代)], 県中から1名〔15週(20歳代)], いわき市から1名〔6週(40歳代)]の報告があった。

・細菌性赤痢年別報告状況

	報告例	推定される感染原因・経路
24年	3例	レタス(1例), 不明(2例),
23年	23例	全国チェーンファミリーレストラン(9例), 飲食店(8名), 海外での飲食(2例), 海産物の生もの(1例), 不明(3例)
22年	5例	経口感染: 海産物の生もの(1例), 海外での飲食(2例), 不明(2例)

(15) 腸管出血性大腸菌感染症の報告は23例あった。

・腸管出血性大腸菌感染症年別報告状況

〔保健所別報告数〕

	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
24年	5	6	3	4	2	0	1	2	23
23年	25	7	4	0	1	0	8	4	49
22年	12	8	6	0	3	0	2	4	35

〔月別報告数〕

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
24年	0	1	0	1	2	0	4	4	6	4	1	0	23
23年	1	1	1	2	12	0	3	6	16	6	0	1	49
22年	0	1	0	0	0	3	4	3	13	10	1	0	35

〔型別報告数〕

型	24年	23年	22年
O 26	6	24	10
O 103	3	0	2
O 111	0	4	0
O 121	2	2	1
O 157	12	15	14
不明他	0	4	8
計	23	49	35

(16) 腸チフス, (17) パラチフスの報告はなかった。

●四類感染症〔全数把握〕

(18) E型肝炎の報告は5例あり, 南会津から1例〔5週(80歳代, 推定感染原因: 豚レバーの生食)], いわき市から4例〔2週(50歳代, 推定感染原因: 焼肉), 43週(50歳代, 感染原因: 不明), 52週(40歳代, 感染原因: 不明), 52週(60歳代, 推定感染原因: 豚レバー)]の報告があった。

(19) ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)の報告はなかった。

(20) A型肝炎の報告は1例あり, 31週に県北(50歳代: 感染地域: フィリピン)から報告があった。

(21) エキノコックス症, (22) 黄熱, (23) オウム病, (24) オムスク出血熱, (25) 回帰熱, (26) キャサヌル森林病, (27) Q熱, (28) 狂犬病, (29) コクシジオイデス症, (30) サル痘, (31) 腎症候性出血熱, (32) 西部ウマ脳炎, (33) ダニ媒介脳炎, (34) 炭疽,

(35) チクングニア熱の報告はなかった。

(36) つつが虫病の報告は 33 例あり、前期（1～6 月）に 21 例〔県北（3 例）、郡山市（5 例）、県中（5 例）、県南（4 例）、会津（3 例）、いわき市（1 例）〕、後期（7～12 月）に 12 例〔郡山市（1 例）、県南（10 例）、南会津（1 例）〕の報告があった。

・つつが虫病年別報告状況

〔保健所別報告数〕

	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
24 年	3	6	5	14	3	1	0	1	33
23 年	4	7	6	16	4	0	0	0	37
22 年	9	8	9	30	4	0	0	0	60

〔月別報告数〕

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
24 年	3	0	0	1	11	6	1	0	0	1	7	3	33
23 年	0	0	1	2	6	7	0	0	0	5	15	1	37
22 年	0	0	0	1	9	6	1	0	0	5	19	19	60

(37) デング熱の報告は 1 例あり、32 週に県北（学童：感染地域：フィリピン）から報告があった。

(38) 東部ウマ脳炎、(39) 鳥インフルエンザ（H5N1 を除く）、(40) ニパウイルス感染症  
 (41) 日本紅斑熱、(42) 日本脳炎、(43) ハンタウイルス肺症候群、(44) B ウイルス病、  
 (45) 鼻疽、(46) プルセラ症、(47) ベネズエラウマ脳炎、(48) ヘンドラウイルス感染症、  
 (49) 発しんチフス、(50) ボツリヌス症、(51) マラリア、(52) 野兎病の報告はなかった。

(53) ライム病の報告は 1 例あり、34 週に郡山市（50 歳代：感染地域：猪苗代町）から報告があった。

(54) リッサウイルス感染症、(55) リフトバレー熱、(56) 類鼻疽の報告はなかった。

(57) レジオネラ症の報告は 11 例あり、県北から 1 例〔29 週（50 歳代）〕、郡山市から 5 例〔9 週（50 歳代、80 歳代）、20 週（50 歳代）、40 週（60 歳代、70 歳代）〕、会津から 1 例〔30 週（50 歳代）〕、いわき市から 4 例〔24 週（60 歳代）、40 週（50 歳代、60 歳代）、50 週（60 歳代）〕の報告があった。

・レジオネラ症年別報告状況

	報告例	推定される感染原因・経路
24 年	11 例	水系感染（5 例）、塵埃感染（1 例）、不明（5 例）
23 年	7 例	水系感染（5 例）、その他・不明（2 例）
22 年	13 例	水系感染（7 例）、不明（6 例）

(58) レプトスピラ症、(59) ロッキー山紅斑熱の報告はなかった。

●五類感染症〔全数把握〕

(60) アメーバ赤痢の報告は9例あり、県北から3例〔11週（70歳代）、44週（50歳代）、46週（40歳代）〕、県南から1例〔32週（40歳代）〕、会津から3例〔28週（40歳代）、37週（20歳代）、46週（50歳代）〕、相双から1例〔10週（50歳代）〕、いわき市から1例〔18週（20歳代）〕の報告があった。

・アメーバ赤痢年別報告状況

	報告例	推定される感染原因・経路
24年	9例	性行為感染（1例）、経口感染（2例）、性行為感染・経口感染（1例）、トイレの清掃（1例）、不明（4例）
23年	12例	性行為感染（6例）、経口感染（4例）、不明（2例）
22年	13例	性行為感染（2例）、経口感染（3例）、不明（8例）

(61) ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）の報告は1例あり、49週に県中（40歳代：推定感染地域：フィリピン）から報告があった。

(62) 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）の報告は3例あり、県北から1例〔23週（幼児）〕、県中から1例〔6週（幼児）〕、会津から1例〔5週（10歳代）〕の報告があった。

・急性脳炎年別報告状況

	報告例	推定される病原体
24年	3例	インフルエンザA型（1例）、不明（2例）
23年	0例	
22年	2例	新型インフルエンザ（1例）、ムンプスウイルス（1例）

(63) クリプトスポリジウム症の報告はなかった。

(64) クロイツフェルト・ヤコブ病の報告は1例あり、5週に県北（70歳代）から報告があった。

(65) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告は3例あり、郡山市から1例〔40週（60歳代）〕、いわき市から2例〔13週（50歳代）、26週（70歳代）〕の報告があった。

(66) 後天性免疫不全症候群の報告は8例あり、県北から4例〔15週（40歳代：女性、AIDS）、34週（20歳代：男性、無症候期）、35週（20歳代：男性、無症候期）、42週（30歳代：男性、無症候期）〕、郡山市から2例〔3週（20歳代：男性、無症候期）、14週（20歳代：男性、無症候期）〕、県中から1例〔52週（20歳代：男性、その他）〕、いわき市から1例〔35週（40歳代：男性、AIDS）〕の報告があった。



・後天性免疫不全症候群年別報告状況

	報告例	推定される感染原因・経路
24年	8例	性的接触（異性間性的接触3例，同性間性的接触2例）， 静注薬物使用1例，不明（2例）
23年	5例	性的接触（異性間性的接触1例，同性間性的接触2例），不明（2例）
22年	6例	性的接触（異性間性的接触2例，同性間性的接触1例， 異性間か同性間か不明2例），不明（1例）

(67) ジアルジア症の報告は1例あり，43週に郡山市（60歳代）から報告があった。

(68) 髄膜炎菌性髄膜炎，(69) 先天性風しん症候群の報告はなかった。

(70) 梅毒の報告は2例あり，郡山市から1例〔41週（20歳代：早期顕症梅毒）〕，相双から1例〔44週（30歳代：早期顕症梅毒）〕の報告があった。

・梅毒年別報告状況

	報告例	推定される感染原因・経路
24年	2例	性的接触（2例）
23年	4例	性的接触（3例），不明（1例）
22年	6例	性的接触（4例），不明（2例）

(71) 破傷風の報告は3例あり，県北から1例〔16週（80歳代）〕，郡山市から1例〔21週（80歳代）〕，会津から1例〔4週（70歳代）〕の報告があった。

(72) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症の報告はなかった。

(73) バンコマイシン耐性腸球菌感染症の報告は1例あり，23週に県中（80歳代）から報告があった。

(74) 風しんの報告は5例あり，郡山市から1例〔23週（40歳代），33週（30歳代）〕，県中から1例〔31週（30歳代）〕，県南から1例〔49週（30歳代）〕，いわき市から1例〔33週（10歳代）〕の報告があった。

(75) 麻しんの報告は7例あり，県北から7例〔22週（20歳代），23週（20歳代，30歳代），24週（10歳代，20歳代），30週（30歳代，40歳代）〕の報告があった。

・麻しん報告状況

	報告例	ワクチン接種歴
24年	7例	1回有り（3名），無し（1名），不明（3名）
23年	0例	
22年	3例	無し（3例）

(2) 一～五類, 新型インフルエンザ等感染症全数把握報告調査結果

対象疾患		全国			福島県		
		平成24年*	平成23年	平成22年	平成24年	平成23年	平成22年
一類	エボラ出血熱						
	クリミア・コンゴ出血熱						
	痘そう						
	南米出血熱						
	ペスト						
	マールブルグ病						
	ラッサ熱						
二類	急性灰白髄炎		1	2			
	結核	28,951	31,483	26,866	274	342	293
	ジフテリア						
	重症急性呼吸器症候群(※1)						
	鳥インフルエンザ(H5N1)						
三類	コレラ	3	12	11			
	細菌性赤痢	214	300	235	3	23	5
	腸管出血性大腸菌感染症	3,765	3,940	4,134	23	49	35
	腸チフス	36	21	32			
	パラチフス	24	23	21			
四類	E型肝炎	119	61	66	5	1	
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)						
	A型肝炎	158	176	347	1	2	2
	エキノコックス症	17	20	17			
	黄熱						
	オウム病	8	12	11			
	オムスク出血熱						
	回帰熱	1		1			
	キャサヌル森林病						
	Q熱	1	1	2			
	狂犬病						
	コクシジオイデス症	2	2	1			
	サル痘						
	腎症候性出血熱						
	西部ウマ脳炎						
	ダニ媒介脳炎						
	炭疽						
	チクングニア熱(※2)	10	10				
	つつが虫病	436	462	407	33	37	60
	デング熱	221	113	244	1		2
	東部ウマ脳炎						
	鳥インフルエンザ(※3)						
	ニパウイルス感染症						
	日本紅斑熱	170	190	132		1	
	日本脳炎	2	9	4			
	ハンタウイルス肺症候群						
	Bウイルス病						
	鼻疽						
	ブルセラ症		2	2			
	ベネズエラウマ脳炎						
	ヘンドラウイルス感染症						
	発しんチフス						
ボツリヌス症	3	6	1				
マラリア	73	78	73		2		
野兔病							
ライム病	11	9	11	1	1		
リッサウイルス感染症							
リフトバレー熱							
類鼻疽		3	4				
レジオネラ症	898	818	751	11	7	13	
レプトスピラ症	30	26	22				
ロッキー山紅斑熱							

五類	アメーバ赤痢	931	814	843	9	12	13
	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）	235	250	221	1	1	
	急性脳炎（※4）	361	258	242	3		2
	クリプトスポリジウム症	6	8	16			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	183	138	172	1	1	8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	243	197	122	3	1	
	後天性免疫不全症候群	1,427	1,535	1,553	8	5	6
	ジアルジア症	72	65	77	1		1
	髄膜炎菌性髄膜炎	15	12	7			
	先天性風しん症候群	5	1				
	梅毒	891	827	621	2	4	6
	破傷風	117	118	106	3	1	1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症						
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	91	73	120	1		1
	風しん	2391	378	87	5	1	1
麻しん	285	439	447	7		3	
新型インフルエンザ等	新型インフルエンザ						
	再興型インフルエンザ						

\*全国の平成24年のデータは未確定です

(※1) 病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る

(※2) 平成23年2月1日から調査開始

(※3) 鳥インフルエンザ(H5N1)を除く

(※4) ウエストナイル脳炎, 西部ウマ脳炎, ダニ媒介脳炎, 東部ウマ脳炎, 日本脳炎, ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く

### (3) 五類感染症定点把握対象結果報告

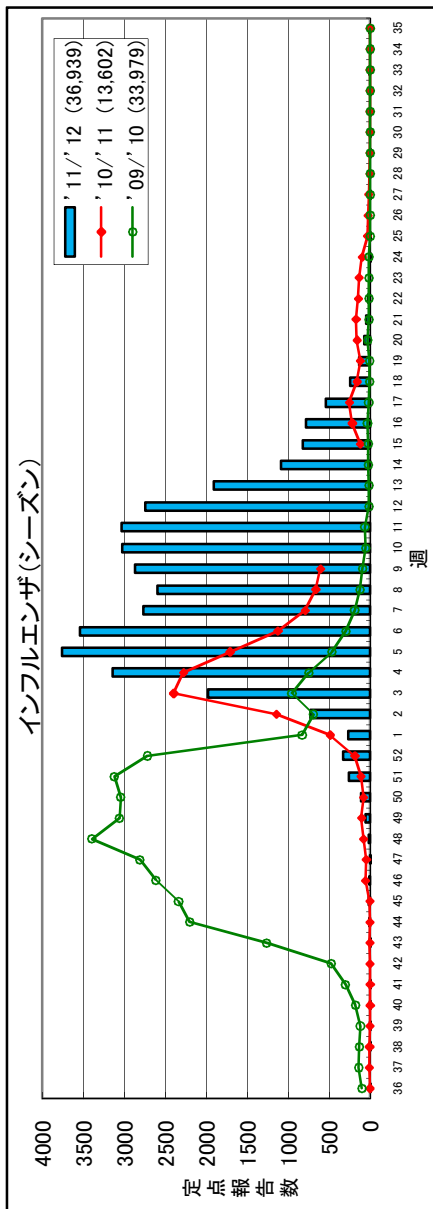
#### ● 五類感染症対象疾患（定点把握）

(87) インフルエンザ〔鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く〕	(76 インフルエンザ定点)	週報対象疾患	
(76) RS ウイルス感染症	(45 小児科定点)		
(77) 咽頭結膜熱	(45 小児科定点)		
(78) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	(45 小児科定点)		
(79) 感染性胃腸炎	(45 小児科定点)		
(80) 水痘	(45 小児科定点)		
(81) 手足口病	(45 小児科定点)		
(82) 伝染性紅斑	(45 小児科定点)		
(83) 突発性発しん	(45 小児科定点)		
(84) 百日咳	(45 小児科定点)		
(85) ヘルパンギーナ	(45 小児科定点)		
(86) 流行性耳下腺炎	(45 小児科定点)		
(88) 急性出血性結膜炎	(12 眼科定点)		
(89) 流行性角結膜炎	(12 眼科定点)		
(94) クラミジア肺炎〔オウム病を除く〕	(7 基幹定点)		
(95) 細菌性髄膜炎	(7 基幹定点)		
(97) マイコプラズマ肺炎	(7 基幹定点)		
(98) 無菌性髄膜炎	(7 基幹定点)		
(87) インフルエンザ〔鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く〕(入院)	(7 基幹定点)		月報対象疾患
(90) 性器クラミジア感染症	(15 STD 定点)		
(91) 性器ヘルペスウイルス感染症	(15 STD 定点)		
(92) 尖圭コンジローマ	(15 STD 定点)		
(93) 淋菌感染症	(15 STD 定点)		
(96) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	(7 基幹定点)		
(99) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	(7 基幹定点)		
(100) 薬剤耐性アシネトバクター感染症	(7 基幹定点)		
(101) 薬剤耐性緑膿菌感染症	(7 基幹定点)		

#### ● 五類感染症（定点把握）患者地域別定点機関数

	インフルエンザ 定点	小児科定点	眼科定点	基幹定点	STD 定点
県北	17	10	3	1	4
郡山市	12	7	2	1	2
県中	10	6	1	0	2
県南	7	4	1	1	1
会津	10	6	2	1	2
南会津	3	2	0	1	0
相双	4	2	1	1	1
いわき市	13	8	2	1	3
計	76	45	12	7	15

(87) インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)



インフルエンザ (76インフルエンザ定点)

11/12シーズンの定点報告数は36,939例あり、前シーズンの3倍近い報告数となった。第50週に流行を開始し、第5週に一度目のピークを迎え、その後減少したが再び増加し、第11週に二度目のピークを迎えた。その後報告数が減少し、第22週に終息となった。一度目のピークはA型主体、二度目のピークはB型主体であった。  
年齢構成では、5～14歳の報告が約6割(58.6%)を占めた。

少ない

多い

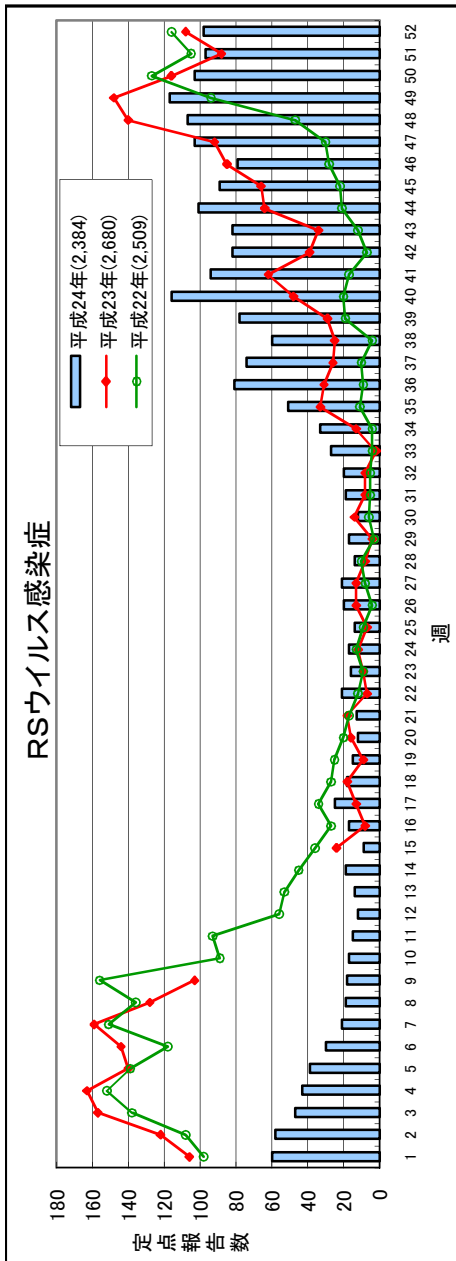
11/12シーズン 報告数

週	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	合計
県北	1	0	1	1	1	1	0	3	5	18	6	1	6	28	49	47	40	-	72	257	405	537	468	470	442	336	513	
郡山市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	24	87	115	-	60	155	417	672	821	755	559	619	538	
県中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	11	20	8	-	20	66	175	319	303	371	281	218	270	
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	16	18	-	27	88	253	386	614	432	357	373	424	
県会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	8	20	54	87	-	32	67	373	601	688	599	415	424	526	
南相模	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-	6	5	25	19	16	38	24	26	34	
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	7	0	21	44	-	39	34	49	57	58	57	53	54	45	
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	11	14	-	13	54	281	549	788	818	638	544	515	
11/12	2	0	1	1	1	1	0	3	5	18	6	1	18	53	109	257	326	-	269	726	1978	3140	3756	3540	2769	2593	2865	
10/11	1	10	8	2	0	2	2	4	2	5	56	47	80	106	81	111	187	-	491	1143	2399	2281	1711	1126	795	664	607	
09/10	99	143	132	121	177	301	474	1263	2203	2338	2616	2809	3395	3061	3044	3120	2719	1200	831	692	956	748	466	298	191	125	93	
週	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	合計	
県北	605	561	588	388	236	187	177	137	57	29	12	9	11	4	2	0	4	1	2	1	2	1	1	7	0	6	6,735	
郡山市	563	470	320	207	154	119	104	87	26	12	7	6	3	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6,912
県中	386	355	223	130	65	45	57	40	13	12	8	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3,407	
県南	306	281	281	197	106	38	47	24	5	4	12	12	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,308
県会津	462	508	543	395	198	153	134	88	37	22	9	9	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6,463
南相模	26	31	17	18	23	21	23	9	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	369
相双	37	30	23	24	11	27	24	12	9	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	724
いわき市	639	794	744	548	295	229	215	146	91	53	23	8	3	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	8,021	
11/12	3024	3030	2739	1907	1088	819	781	543	244	136	71	49	26	7	2	1	6	2	5	2	2	1	1	7	2	6	36,939	
10/11	-	-	-	-	-	120	218	254	162	120	162	172	147	134	99	34	25	19	6	2	3	1	1	3	1	0	0	13,602
09/10	53	66	12	15	23	25	35	19	8	8	31	15	17	13	18	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	33,979	

年齢構成

年齢	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~	合計
11/12	106	384	1121	1321	1798	2453	2903	3098	3074	2781	2386	7433	1353	1444	1866	1127	814	594	455	428	36,939
10/11	59	206	497	444	559	827	939	926	892	809	715	2549	709	1108	979	560	425	175	101	73	13,602

(76)RSウイルス感染症



RSウイルス感染症 (45小児科定点)

定点からの年間報告数は2,384例あった。昨年同様、例年より早い9月頃から報告数が増加し、南会津、いわきを除く県内全域で報告が多い状態が年末まで続いた。年齢構成では、1歳以下の報告が約7割(73.2%)を占めた。

少ない 多い

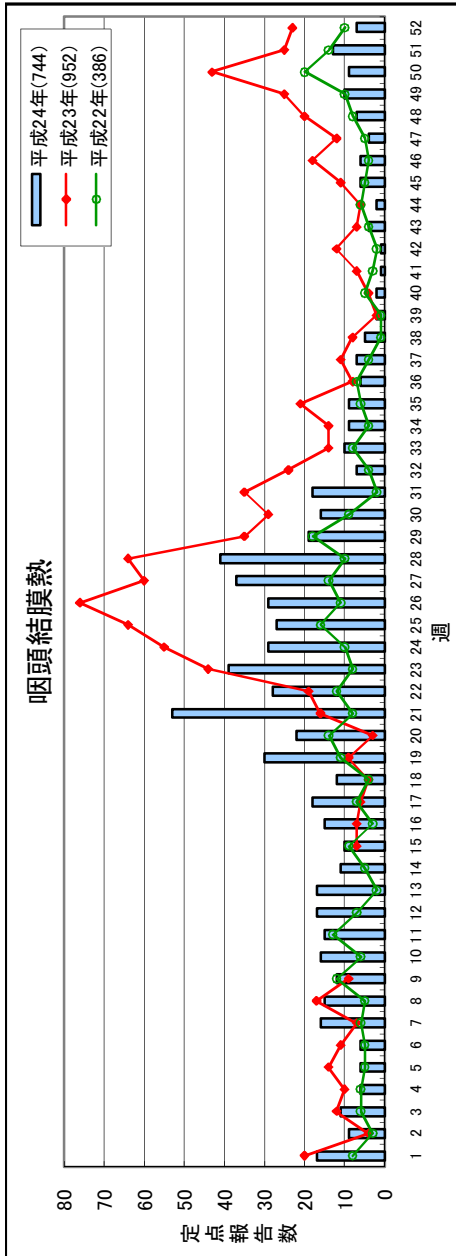
平成24年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	19	29	29	25	12	20	14	11	11	10	6	3	7	12	5	5	10	12	6	8	6	11	11	6	1	2	2
北	14	15	8	4	8	5	2	3	3	5	5	4	2	4	4	4	7	2	3	1	1	4	0	1	3	0	4
郡山市	4	2	2	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
南	4	5	3	0	7	0	2	1	1	1	1	2	4	0	0	1	2	1	2	1	2	2	4	2	6	3	15
会津	8	1	3	7	4	1	0	3	1	0	1	0	1	0	0	6	5	1	3	2	1	4	1	0	0	0	0
南会津	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相模	1	1	2	6	6	2	2	2	1	1	1	3	0	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0	8	4	11	0
いわき市	10	5	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0
H24	60	58	47	43	39	30	21	19	18	17	15	12	14	19	9	17	25	18	15	12	13	21	16	17	14	20	21
H23	106	122	157	163	140	144	159	128	103	-	-	-	53	45	36	27	34	27	25	20	17	12	9	13	7	13	13
H22	98	108	138	152	139	118	151	136	156	89	93	56	53	45	36	27	34	27	25	20	17	12	9	13	7	4	8
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	合計	
県北	1	3	1	6	4	4	8	8	17	11	6	12	36	27	43	21	26	29	30	30	30	38	35	34	32	785	
北	4	5	3	1	8	5	9	19	18	19	24	34	30	27	13	18	27	17	6	16	31	10	20	18	23	520	
郡山市	0	1	0	1	0	4	7	12	16	14	11	6	9	4	2	9	4	8	9	15	13	5	12	5	8	191	
南	3	1	4	3	2	4	3	0	16	22	8	14	14	22	2	9	5	7	6	6	8	6	2	7	4	250	
会津	0	0	0	0	2	1	5	10	11	8	11	11	16	12	18	21	37	26	27	34	20	50	26	27	23	449	
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	2	1	0	0	0	2	2	0	3	1	0	23	
相模	5	7	4	8	4	9	1	0	3	0	0	1	0	0	2	3	2	2	1	0	3	6	3	2	5	128	
いわき市	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	3	38	
H24	14	17	12	19	20	27	33	51	81	74	60	78	116	94	82	82	101	89	79	103	107	117	103	97	98	2,384	
H23	8	4	14	8	8	2	13	33	31	26	25	29	48	62	39	34	64	66	85	92	140	148	116	88	108	2,680	
H22	10	3	6	5	5	4	4	11	9	10	4	19	20	17	7	12	21	22	28	30	47	94	127	105	116	2,509	

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	合計
H24	450	493	803	322	157	89	33	19	6	6	3	1	0	2	2,384
H23	490	565	845	344	198	125	64	16	10	2	5	9	2	5	2,680

(77) 咽頭結膜熱



咽頭結膜熱 (45小児科定点)

定数からの年間報告数は744例あり、前年の約8割の報告数となった。南会津、相双を除く県内全域で継続または断続した流行が見られた。年齢構成では、1～5歳の報告が約7割(70.4%)を占めた。

少ない 多い

平成24年 報告数

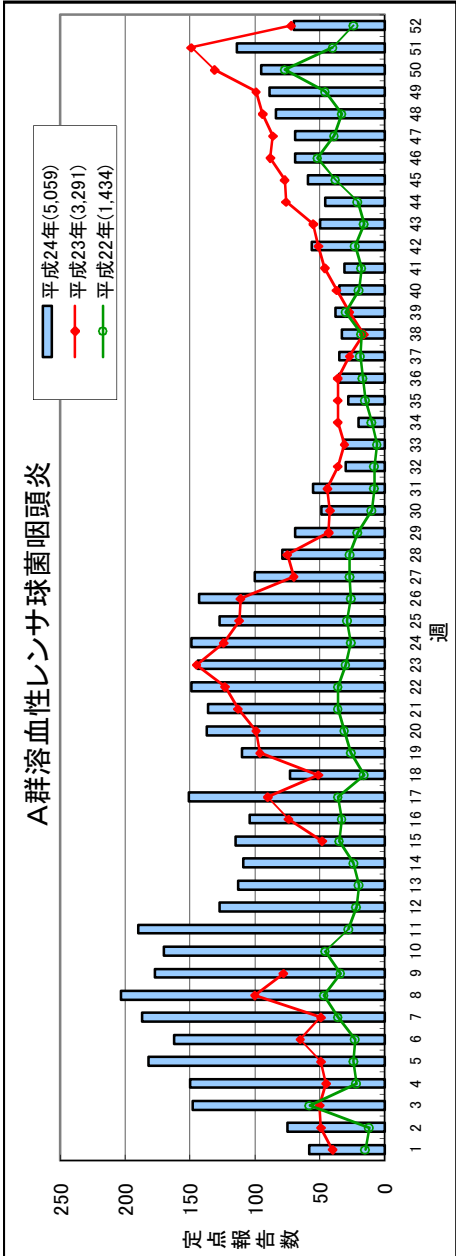
週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	6	4	1	0	1	0	6	2	1	3	3	3	7	4	1	1	1	1	2	0	0	5	2	1	3	9	10
郡山市	2	2	5	3	3	3	4	4	6	8	8	12	7	2	7	10	12	7	17	15	22	9	16	12	13	8	12
県中	2	1	1	0	0	0	4	1	1	3	2	0	3	1	1	1	0	1	1	2	9	3	9	10	6	4	9
県南	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	0	0	1	1	2	1	4	0	1	2	4	1	2	1	0
津会	4	0	3	0	2	1	0	0	3	1	0	0	0	1	0	0	0	1	4	2	12	1	3	3	2	3	0
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわさ市	3	1	1	3	0	1	2	7	1	2	1	1	0	3	0	1	2	2	2	3	9	8	5	2	1	4	6
H24	17	9	11	6	6	6	16	15	12	16	15	17	17	11	10	15	18	12	30	22	53	28	39	29	27	29	37
H23	20	4	12	10	14	11	7	17	9	-	-	-	-	-	7	7	6	4	9	3	16	19	44	55	64	76	60
H22	8	3	6	6	5	5	6	5	12	6	13	7	2	5	9	3	7	4	11	14	8	12	8	10	16	11	14
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	合計	
県北	21	5	5	5	3	3	2	2	1	2	0	1	0	0	1	0	0	2	1	0	3	4	1	3	0	0	142
郡山市	8	6	1	6	1	0	1	2	2	2	0	0	1	0	0	1	0	1	3	1	2	2	2	1	0	0	270
県中	5	3	1	4	1	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3	1	100	
県南	0	0	3	2	1	4	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	39	
津会	2	3	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	2	3	1	71	
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
いわさ市	5	2	1	1	1	3	3	3	2	2	5	1	0	0	0	3	0	2	1	2	1	1	4	2	5	121	
H24	41	19	16	18	7	10	9	9	6	7	5	2	2	1	1	4	2	6	6	4	7	10	9	13	7	744	
H23	64	35	29	35	24	14	14	21	8	11	8	2	4	7	12	7	6	11	18	12	20	25	43	25	23	952	
H22	10	18	9	2	4	8	4	6	7	4	1	1	5	3	2	4	6	5	4	5	8	10	20	14	10	386	

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	合計
H24	3	44	155	84	115	108	62	58	27	24	22	31	2	9	744
H23	3	47	154	109	132	138	125	82	46	33	30	43	3	7	952



(78) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (45小児科定点)

定点からの年間報告数は5,059例あり、前年と比較し約1.5倍となった。南会津を除く県内全域で継続または断続した流行が見られた。  
年齢構成では、3～8歳の報告が約7割(71.5%)を占めた。

少ない   多い

平成24年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	17	19	65	56	56	58	67	78	73	64	80	49	34	27	42	39	46	25	43	36	41	50	32	43	37	60	38
郡山市	8	13	21	30	45	33	23	29	24	29	38	28	24	22	14	18	29	16	16	28	28	27	34	34	26	23	20
県中	4	6	3	9	9	10	6	6	10	11	7	4	6	14	10	3	5	8	6	12	14	10	9	10	14	11	5
県南	6	8	7	10	6	9	13	7	13	11	9	5	12	3	6	2	13	4	9	4	8	8	10	6	6	7	0
県会津	0	3	11	3	11	6	8	16	10	8	15	5	8	4	10	5	13	4	8	16	5	9	16	18	12	15	11
南会津	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	1	2	0
相双	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1	2	2	4	2	1	0	3
いわさ	23	26	41	42	55	44	69	66	46	47	40	35	28	39	33	37	45	15	27	40	36	43	38	34	30	25	23
H24	58	75	148	150	182	162	187	203	177	170	190	127	113	109	115	104	151	73	110	137	136	149	144	149	127	143	100
H23	40	49	50	45	49	65	49	100	78	-	-	-	-	-	48	74	90	51	96	99	113	123	145	124	112	111	70
H22	15	12	58	22	24	23	36	47	34	46	28	22	20	24	35	33	36	16	26	31	36	36	30	26	29	26	27
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	合計	
県北	31	29	17	15	7	14	5	12	11	14	14	14	12	12	17	21	22	18	23	12	24	24	24	23	20	20	1,710
郡山市	12	12	7	8	7	4	4	7	3	9	8	10	9	9	13	4	4	7	19	10	12	18	23	17	16	932	
県中	6	8	5	18	0	2	1	1	5	1	4	4	4	1	6	1	1	2	5	8	6	4	9	5	2	331	
県南	2	4	8	1	4	0	1	1	2	1	0	2	1	2	5	7	8	10	8	15	10	7	16	33	11	361	
県会津	8	4	4	6	5	6	5	2	8	5	3	4	6	2	3	3	2	4	5	4	8	4	5	4	6	366	
南会津	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	1	21	
相双	1	1	0	1	0	2	1	1	1	1	1	1	1	0	5	3	0	0	1	1	0	1	0	0	0	45	
いわさ	18	11	8	6	6	3	3	3	5	4	3	3	2	5	7	8	9	18	8	19	22	31	18	32	14	1,293	
H24	79	69	49	55	30	32	20	28	35	35	33	38	35	31	56	50	46	59	69	84	84	89	95	114	70	5,059	
H23	75	43	42	44	36	31	36	36	36	27	16	27	37	46	51	55	76	77	88	86	94	99	131	149	72	3,291	
H22	27	21	10	8	8	6	10	15	17	19	18	30	20	18	23	16	21	38	52	39	33	46	77	40	24	1,434	

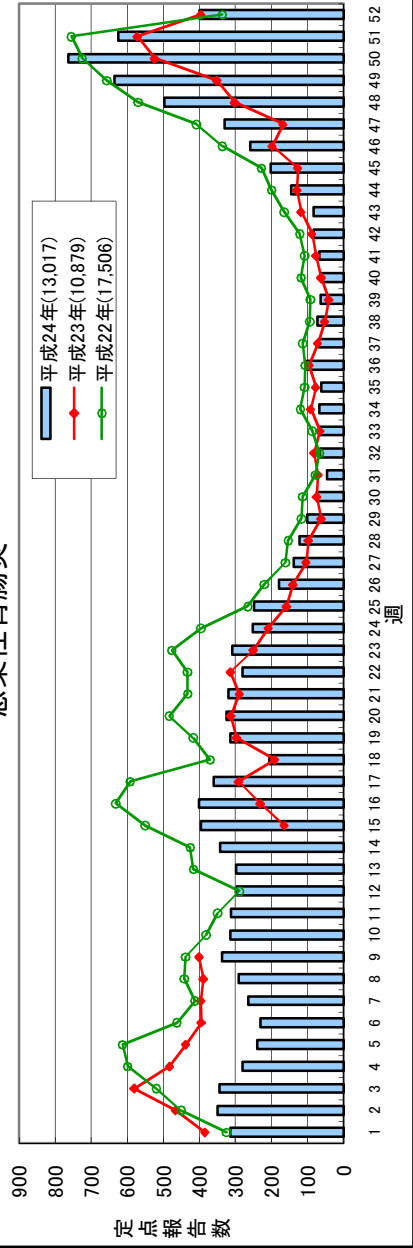
年齢構成

年齢	報告数	割合(%)
0歳	1	0.02
1歳	111	2.18
2歳	228	4.49
3歳	439	8.68
4歳	654	12.93
5歳	773	15.27
6歳	705	13.99
7歳	539	10.65
8歳	507	10.01
9歳	352	6.93
10歳	21	0.41
11歳	16	0.31
12歳	16	0.31
13歳	16	0.31
14歳	16	0.31
15歳	16	0.31
16歳	16	0.31
17歳	16	0.31
18歳	16	0.31
19歳	16	0.31
20歳	16	0.31
21歳	16	0.31
22歳	16	0.31
23歳	16	0.31
24歳	16	0.31
25歳	16	0.31
26歳	16	0.31
27歳	16	0.31
28歳	16	0.31
29歳	16	0.31
30歳	16	0.31
31歳	16	0.31
32歳	16	0.31
33歳	16	0.31
34歳	16	0.31
35歳	16	0.31
36歳	16	0.31
37歳	16	0.31
38歳	16	0.31
39歳	16	0.31
40歳	16	0.31
41歳	16	0.31
42歳	16	0.31
43歳	16	0.31
44歳	16	0.31
45歳	16	0.31
46歳	16	0.31
47歳	16	0.31
48歳	16	0.31
49歳	16	0.31
50歳	16	0.31
51歳	16	0.31
52歳	16	0.31
53歳	16	0.31
54歳	16	0.31
55歳	16	0.31
56歳	16	0.31
57歳	16	0.31
58歳	16	0.31
59歳	16	0.31
60歳	16	0.31
合計	5,059	100.00



(79) 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎



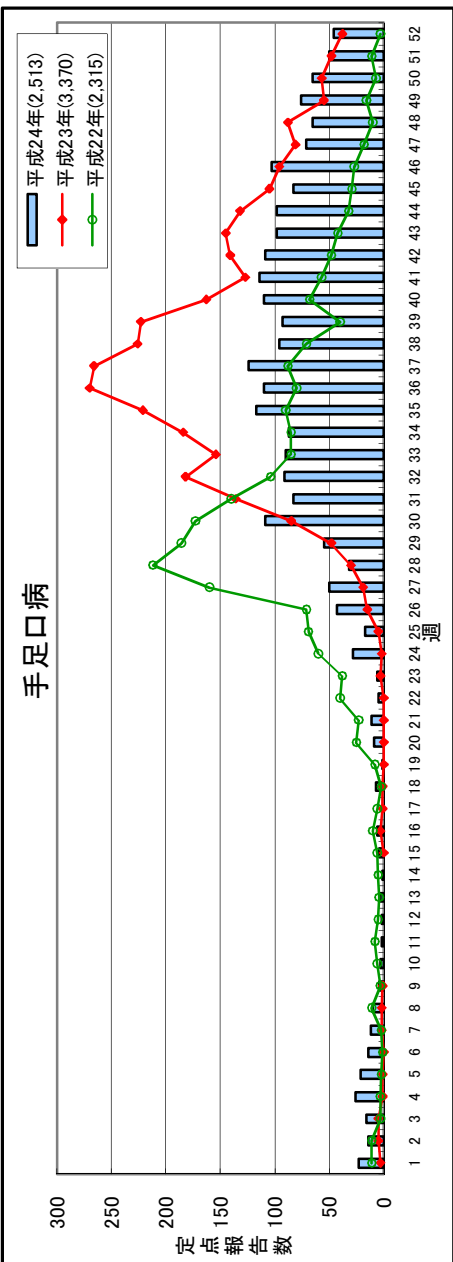
感染性胃腸炎 (45小児科定点)

定点からの年間報告数は13,017例あった。前年末からの流行に引き続き、年始から南会津を除く県内全域で流行した。また、例年同様、11月下旬頃から流行が始まった。年齢構成では、1歳の報告が最も多かった。

少ない



(81) 手足口病



手足口病 (45小児科定点)

定点からの年間報告数は2,513例あり、前年と比較し約2割減少した。8月以降、県内全域から断続的に報告が見られた。

年齢構成では、1～4歳の報告が多く、約7割(72.0%)を占めた。

少ない 多い

平成24年 報告数

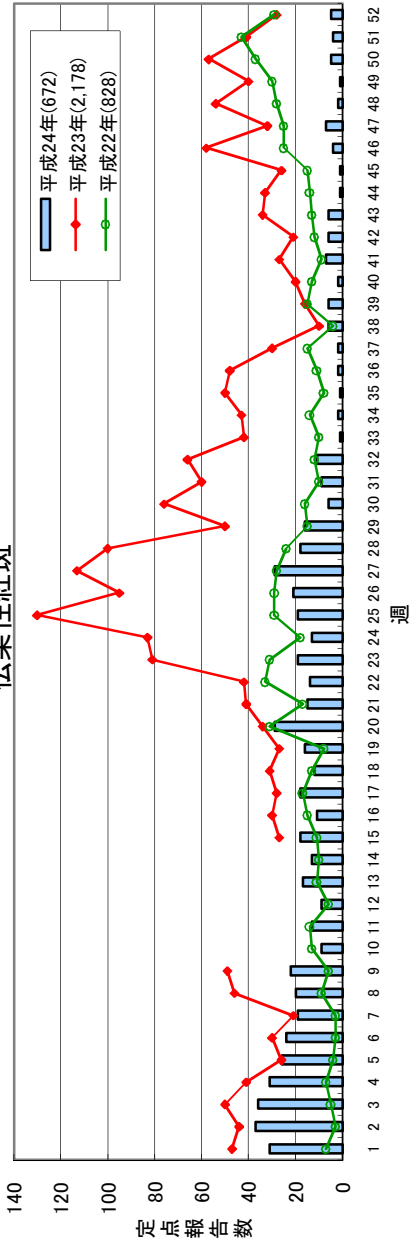
週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	0	1	1	0	0	0	0	2	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	3	1	0	0	1	5	2
郡山市	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	3
県中	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	1	0	7	0	4	1
県南	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	15	7	24	22	22
津会	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	3	0	3	2	1	1	2	2	2	4
津南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津南会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
いわさ市	12	9	12	25	21	14	12	8	0	1	0	0	2	1	1	1	0	4	1	0	2	1	2	5	6	7	17
H24	23	14	16	26	21	14	12	10	4	3	2	2	3	1	4	6	0	7	1	9	11	5	6	28	17	43	50
H23	3	5	5	1	1	0	2	2	1	-	-	-	-	-	0	3	1	1	0	0	0	0	3	2	5	15	19
H22	11	11	3	3	2	1	2	11	3	6	8	5	4	5	6	10	6	2	8	25	23	40	38	60	69	71	160
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	合計	
県北	1	10	54	27	42	33	43	45	45	46	22	33	31	25	31	25	26	18	24	23	18	15	12	3	1	676	
郡山市	0	3	4	4	6	10	8	16	18	25	21	16	13	6	14	4	11	12	7	7	2	2	6	2	8	238	
県中	2	1	5	3	14	10	12	14	10	5	12	11	2	10	7	3	3	5	5	2	4	6	2	2	0	174	
県南	12	25	24	28	13	13	7	6	4	6	8	9	17	11	8	12	15	15	7	3	10	12	15	10	9	379	
津会	0	4	4	3	9	15	7	23	14	14	11	8	9	5	5	4	1	7	3	2	4	8	5	8	9	214	
津南	0	0	1	0	1	0	0	8	5	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	
津南会	2	0	2	4	1	8	4	1	2	1	0	0	2	0	0	3	1	3	2	0	0	0	0	1	0	38	
相双	15	12	15	14	5	1	6	4	12	19	20	16	36	57	44	47	41	23	55	34	27	33	25	24	19	768	
いわさ市	32	55	109	83	91	90	87	117	110	124	96	93	110	114	109	98	98	83	103	71	65	76	65	50	46	2,513	
H24	30	48	85	136	182	154	184	221	270	266	226	223	163	127	141	145	132	105	96	81	88	55	57	48	38	3,370	
H23	212	186	173	140	104	85	85	90	80	88	71	40	68	57	48	42	32	29	27	18	10	16	7	11	3	2,315	

年齢構成

年齢構成	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳~14歳	15歳~19歳	20歳~	合計
H24	20	116	605	461	397	346	206	118	66	54	37	67	3	17	2,513
H23	33	249	945	613	517	338	266	152	75	55	44	53	5	25	3,370

(82) 伝染性紅斑

伝染性紅斑



**伝染性紅斑 (45小児科定点)**  
 定点からの年間報告数は672例あり、前年と比較し約3分の1に減少した。前年からの流行に続き、1月から6月にかけていわき市で流行したが、大きな流行とはならなかった。年齢構成では、3歳～7歳の報告が多く、約7割(66.1%)を占めた。

少ない

多い

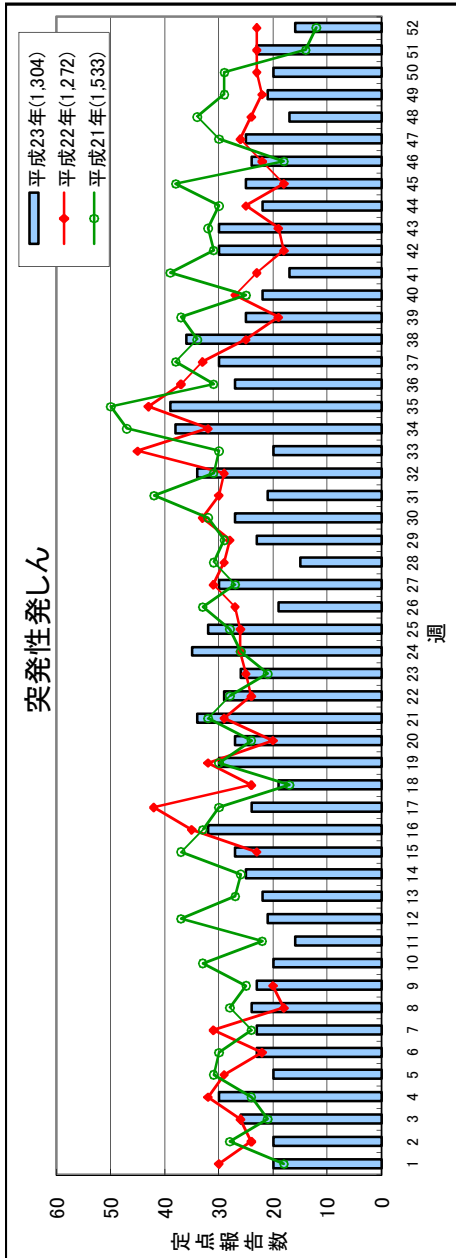
平成24年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	3	3	1	3	2	0	1	2	2	0	3	2	3	3	4	3	1	5	4	6	5	4	6	1	5	5	0
郡山市	6	5	4	6	7	1	2	2	2	0	0	0	0	1	3	1	1	0	4	4	4	5	2	2	2	2	1
県中	1	0	0	1	1	2	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3	0	3	1
県南	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
津会	5	3	7	2	1	6	3	3	4	2	1	2	2	0	3	1	3	1	1	3	0	0	0	0	0	4	1
南会	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	16	25	23	19	15	15	12	10	13	7	9	5	11	8	8	4	12	6	5	14	6	5	10	7	12	7	23
H24	31	37	36	31	26	24	19	20	22	9	13	9	-	-	27	30	28	31	27	34	41	42	81	83	130	95	113
H23	47	44	50	41	26	30	21	46	49	-	-	-	-	-	11	15	17	13	8	31	17	33	31	18	29	29	28
H22	7	3	5	7	4	3	3	9	6	13	14	6	11	10	11	15	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	合計	28
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	合計	28
県北	4	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	2	0	2	2	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	97
郡山市	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	73
県中	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	1	0	2	4	1	0	2	1	4	44	
県南	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	21	
津会	2	6	2	3	4	0	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	86
南会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
いわき市	9	10	3	5	7	0	0	1	0	0	3	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	349
H24	18	16	6	9	11	1	2	1	2	2	6	6	2	7	6	6	1	1	4	7	2	1	5	4	5	672	
H23	100	50	76	60	66	42	43	50	48	30	10	16	20	27	21	34	33	26	58	32	54	40	57	41	28	2,178	
H22	24	15	16	10	12	10	14	8	11	15	4	15	13	9	12	13	14	15	25	25	28	30	37	43	29	828	

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	合計
H24	1	10	43	42	72	98	113	92	69	46	40	44	0	2	672
H23	1	12	97	127	197	318	362	292	224	213	123	167	6	39	2,178

(83) 突発性発しん



突発性発しん (45小児科定点)

定点からの年間報告数は1,304例あり、例年どおりの報告数となった。  
年齢構成では、1歳までの報告がほとんど(96.6%)であった。

少ない 多い

平成24年 報告数

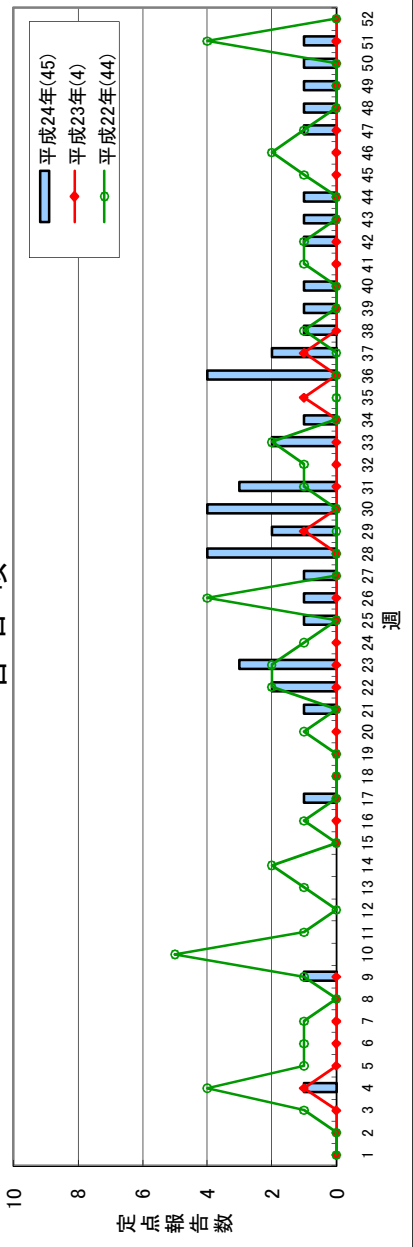
週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w	
県北	3	4	7	12	9	8	7	12	5	6	3	5	8	7	10	6	6	5	12	7	9	7	10	14	8	4	9	
郡山市	6	4	5	6	4	8	6	3	9	8	4	7	4	5	7	9	5	4	5	1	7	5	5	6	3	3	5	
県中	1	0	4	2	0	0	3	2	2	1	2	0	2	2	4	5	3	0	3	5	2	1	1	2	4	3	3	
県南	2	0	3	2	4	0	0	2	0	0	1	0	2	3	0	4	2	1	9	3	5	4	3	2	3	1	3	
津会	2	1	0	2	0	1	1	2	4	1	3	1	1	1	2	3	4	4	0	1	3	4	0	1	2	4	2	
津南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
津南会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	6	11	7	6	3	6	6	3	3	4	3	7	5	7	4	5	4	5	1	10	8	8	6	10	12	4	8	
H24	20	20	26	30	20	23	24	24	23	20	16	21	22	25	27	32	24	19	30	27	34	29	26	35	32	19	30	
H23	30	24	26	32	29	22	31	18	20	-	-	-	-	-	23	35	42	24	32	20	29	24	25	26	26	27	31	
H22	18	28	21	24	31	30	24	28	25	33	22	37	27	26	37	33	30	17	30	24	32	28	21	26	28	33	27	
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	合計	27	
県北	5	6	9	4	5	7	8	15	7	11	9	7	5	4	16	7	4	7	4	6	4	3	7	11	7	381		
郡山市	4	3	7	6	6	5	8	10	5	5	7	6	5	2	5	7	2	5	5	3	2	5	7	3	2	269		
県中	1	3	4	4	5	1	3	5	3	4	4	3	2	1	1	5	4	3	3	6	3	3	1	2	3	134		
県南	1	2	2	2	4	1	3	1	2	1	5	2	4	1	2	2	4	3	3	4	0	2	2	0	2	114		
津会	0	0	0	3	5	2	3	1	2	1	2	1	0	4	4	2	2	1	4	2	2	1	0	1	1	99		
津南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
津南会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
いわき市	4	4	5	2	9	4	13	7	8	8	9	6	6	5	2	7	6	6	5	4	6	7	3	6	1	305		
H24	15	23	27	21	34	20	38	39	27	30	36	25	22	17	30	30	22	25	24	25	17	21	20	23	16	1,304		
H23	29	28	33	30	29	45	32	43	37	33	25	19	27	23	18	19	25	18	22	26	24	22	23	23	23	1,272		
H22	31	29	32	42	31	30	47	50	31	38	34	37	25	39	31	32	30	38	18	30	34	29	29	14	12	1,533		

年齢構成

	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳~14歳	15歳~19歳	20歳~	合計
H24	29	610	621	37	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1,304
H23	39	609	567	45	4	3	3	1	1	0	0	0	0	0	1,272

(84) 百日咳

百日咳



百日咳 (45小児科定点点)

定点点からの年間報告数は45例あった。  
年齢構成では、5ヶ月までの報告が約3割(26.6%)であっ  
た。

少ない

多い

平成24年 報告数

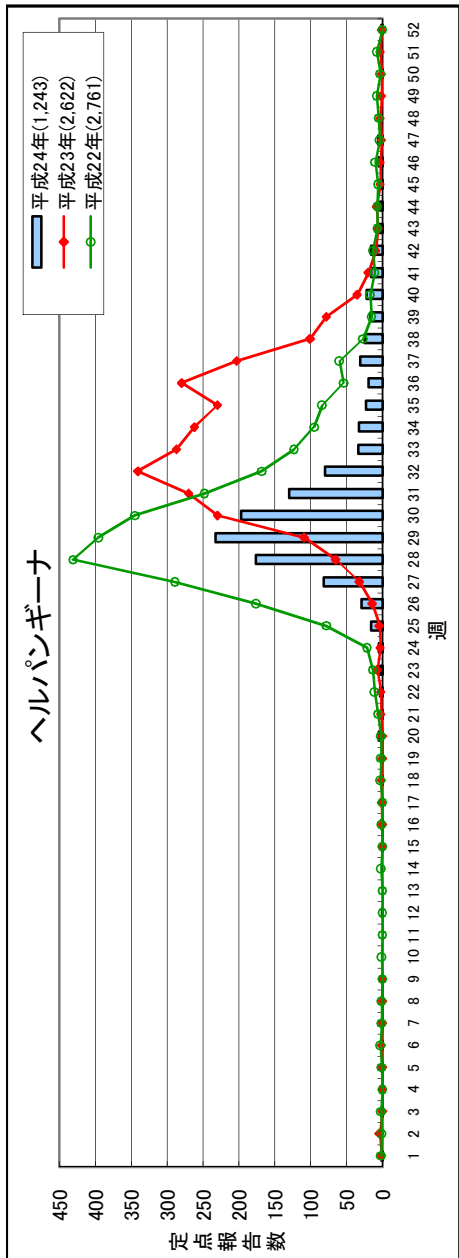
週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w	
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	
郡山市	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	1	0	
県中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津南会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H24	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	1	1	1	
H23	0	0	0	1	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	
H22	0	0	1	4	1	1	1	0	1	5	1	0	1	2	0	1	0	0	0	1	0	2	2	1	0	4	0	
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	合計		
県北	2	1	2	3	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	22	
郡山市	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	13	
県中	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津南	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	
津南会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
いわき市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
H24	4	2	4	3	0	2	1	0	4	2	1	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	0	0	45	
H23	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
H22	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	2	1	0	0	0	4	0	0	44	

年齢構成

	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~	合計
H24	12	0	4	3	2	0	2	1	2	4	2	11	0	2	45
H23	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	4



(85) ヘルパンギーナ



ヘルパンギーナ (45小児科定点)

定数からの年間報告数は1,243例あり、前年の半数以下の報告数であった。7月頃から県南を中心に流行が始まり、相双を除く県内全域で9月頃まで流行が続いたが大きな流行とはならなかった。

年齢構成では、1歳～3歳の報告が多く、約6割(64.9%)を占めた。

少ない 多い

平成24年 報告数

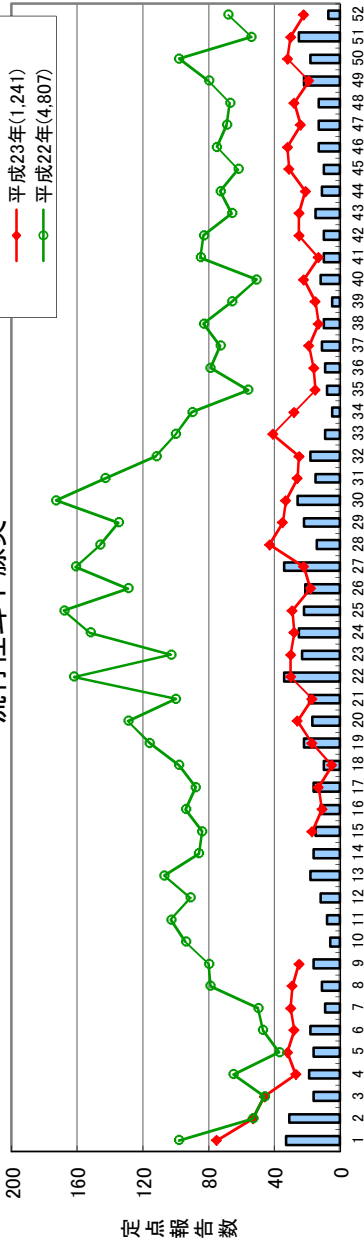
週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	4	2	13
郡山市	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	7	11
県中	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	3	18	
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	2	0	2	0	3	4	8	14	21
津会	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	1	0	0	1	2	10
津南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津南会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9
H24	2	0	2	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	2	2	5	2	4	4	5	16	29	82
H23	1	4	0	0	0	1	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	1	1	0	0	2	2	7	3	4	14	32
H22	2	1	2	0	1	3	1	1	0	1	0	0	0	2	0	1	0	3	2	2	6	11	13	21	78	176	289
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	合計	
県北	29	49	40	38	15	15	7	2	4	12	9	7	5	1	1	0	0	1	2	2	0	0	0	1	0	0	262
郡山市	28	29	15	9	8	7	10	6	5	7	4	4	3	4	3	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2	0	170
県中	14	10	5	9	0	2	2	0	0	0	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73
県南	30	29	19	6	7	4	2	3	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	164
津会	46	52	63	29	11	1	2	1	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	230
津南	7	2	7	4	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
津南会	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
相双	22	62	47	35	33	3	9	11	8	10	10	5	13	10	10	3	4	3	3	3	0	0	0	0	0	0	313
いわき市	176	233	197	170	80	34	33	23	20	31	25	17	22	16	16	5	4	4	5	6	0	0	1	0	2	0	1,243
H24	65	109	230	270	341	287	262	230	280	203	101	78	35	20	9	6	8	3	3	1	3	1	1	3	1	3	2,622
H23	431	396	345	248	168	123	95	84	54	60	27	15	17	11	13	7	7	6	10	4	5	8	3	8	0	0	2,761
H22																											

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	合計
H24	11	112	350	287	170	123	87	51	20	15	8	9	0	0	1,243
H23	22	206	663	514	405	288	186	125	81	40	32	52	2	6	2,622

(86) 流行性耳下腺炎

流行性耳下腺炎



**流行性耳下腺炎 (45小児科定点)**  
 定点からの年間報告数は830例あり、前年と比較し約4分の3に減少した。いわき市を中心に、県南、会津で流行が見られたが、大きな流行とはならなかった。  
 年齢構成では、5歳をピークに3～7歳の報告が多く、約6割(65.1%)を占めた。

少ない

多い

平成24年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w	
県北	8	6	2	2	4	4	2	4	4	0	3	3	5	4	2	1	5	0	3	2	0	5	0	0	0	1	0	3
郡山市	2	2	0	0	1	3	2	0	2	0	0	2	0	1	1	2	1	1	5	1	1	5	1	1	4	9	8	
県南	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	0	0	2	
津会	1	2	0	5	1	1	1	1	0	4	0	1	2	0	1	1	1	1	2	1	7	5	6	5	5	4	3	
南津	3	4	4	1	9	0	3	0	0	0	0	0	2	0	2	2	4	3	4	6	5	4	10	5	4	1	3	
津南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	
会南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
いわき市	19	17	8	11	1	10	1	6	9	2	5	6	9	10	9	6	4	4	8	7	6	13	6	10	6	6	12	
H24	33	31	16	19	16	18	9	11	16	6	8	12	18	16	15	12	16	10	22	17	19	34	23	25	22	21	34	
H23	75	53	46	27	32	28	30	29	25	-	-	-	-	-	17	11	13	5	17	26	17	30	30	28	29	18	22	
H22	98	53	46	65	37	47	50	79	80	94	103	91	107	86	84	94	88	98	116	129	100	162	103	152	168	129	161	
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	合計		
県北	0	3	0	1	0	0	0	1	0	2	3	1	3	1	2	3	3	1	3	2	1	4	3	2	0	0	112	
郡山市	4	8	3	2	2	3	2	1	3	4	1	0	8	2	1	3	2	2	2	2	1	1	2	3	0	0	118	
県南	2	0	0	1	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	
津会	2	4	1	2	2	1	0	1	2	0	2	0	0	0	0	8	0	4	4	2	4	6	1	4	0	0	111	
南津	1	0	4	2	1	2	0	1	2	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	2	1	2	2	5	1	1	108	
津南	1	0	11	0	4	0	2	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	
会南	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	1	2	0	0	1	1	0	0	12	
相双	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	3	3	6	9	10	6	6	321		
いわき市	4	7	6	7	8	3	1	3	2	1	3	3	0	7	2	0	5	10	13	14	13	22	18	25	7	7	830	
H24	14	22	26	15	18	9	5	8	9	11	10	5	12	10	10	15	11	10	13	13	13	22	18	25	22	22		
H23	43	35	33	26	25	41	28	15	16	19	13	15	22	13	25	25	21	31	32	24	28	19	32	30	30	30	1,241	
H22	146	135	173	143	112	100	90	56	79	73	83	66	51	85	83	66	73	62	75	69	67	80	98	54	68	54	4,807	

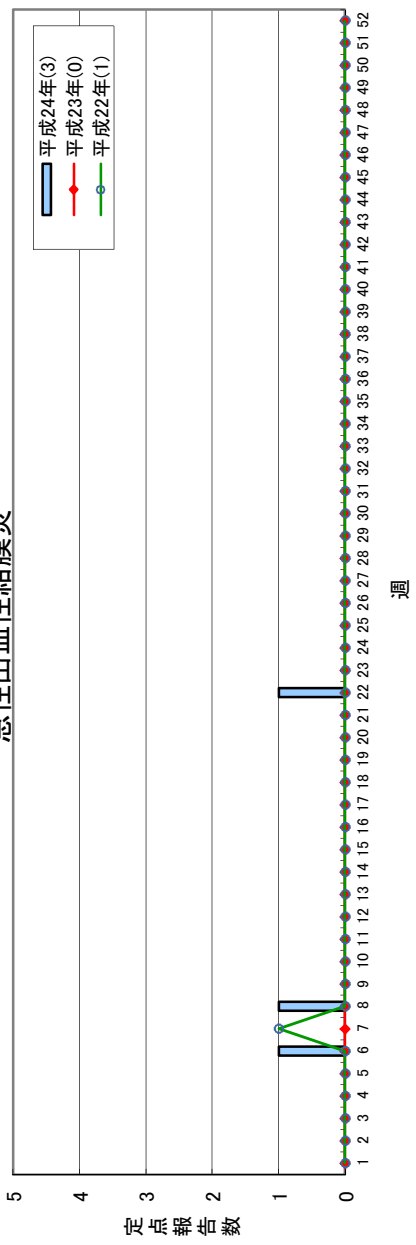
年齢構成

年齢	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～14歳	15歳～19歳	20歳～	合計
~5ヶ月	0	43	62	90	121	145	107	77	64	37	76	2	830
~11ヶ月	0	3	52	72	138	209	166	179	131	92	68	112	1,241



(88) 急性出血性結膜炎

急性出血性結膜炎



急性出血性結膜炎 (12眼科定点)  
 定点からの報告は3例だった。

少ない 多い

平成24年 報告数

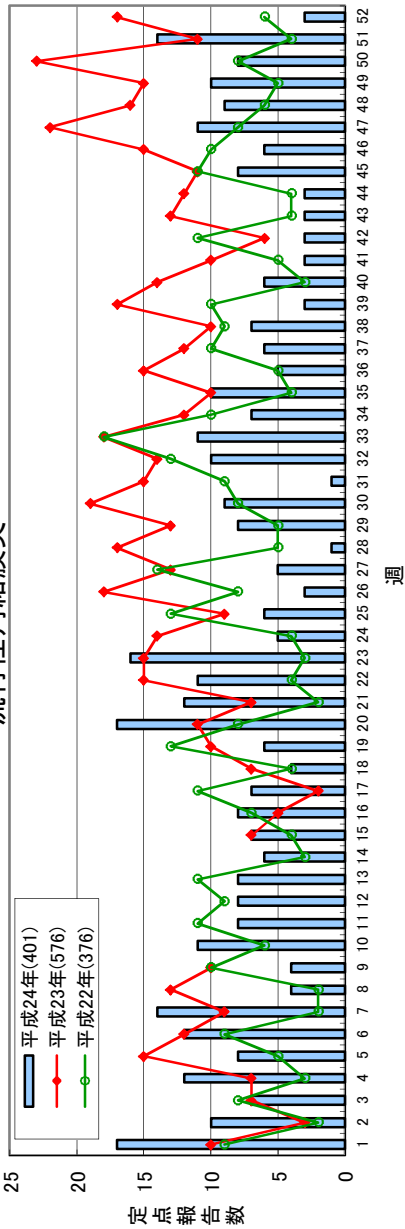
週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w					
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
県南	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
南会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
H24	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
H23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
H22	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	合計						
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年齢構成

	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~	合計	
H24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3
H23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(89) 流行性角結膜炎

流行性角結膜炎



**流行性角結膜炎 (12眼科定点)**  
 定点からの年間報告数は401例あり、年間をとおして継続した流行は見られなかった。  
 年齢構成では、20歳以上の報告が、約7割(72.1%)を占めた。

少ない    多い

平成24年 報告数

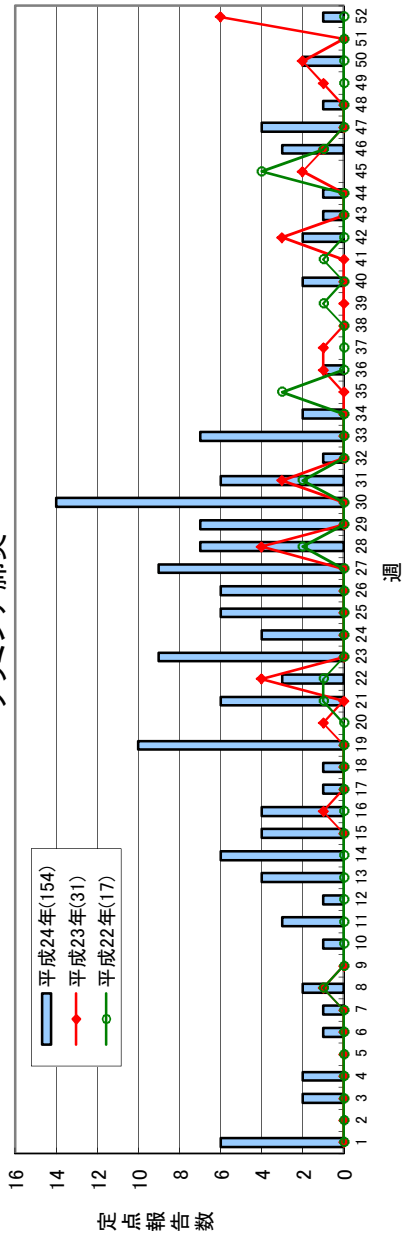
週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	2	0	1	0	1	0	1	2	1	1	0	1	2	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0
郡山市	2	2	4	1	3	2	2	2	0	3	1	1	1	1	3	2	3	3	0	3	0	2	3	2	2	1	0
県中	1	0	0	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
県南	3	1	0	5	2	5	7	0	0	0	0	3	2	3	0	1	0	1	0	1	0	6	0	0	1	1	
津会	8	6	0	4	0	2	2	0	3	3	2	2	2	1	1	3	3	0	2	13	9	7	5	2	1	0	
津南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
相双	0	0	1	0	1	1	1	0	0	3	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	2	0	1	1	
いわさ	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3	4	0	1	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
H24	17	10	7	12	8	12	14	4	4	11	8	8	8	6	7	8	7	4	6	17	12	11	16	5	6	3	5
H23	10	3	7	7	15	12	9	13	10	-	-	-	-	-	7	5	2	7	10	11	7	15	14	9	18	13	
H22	9	2	8	3	5	9	2	2	10	6	11	9	11	3	4	7	11	4	13	8	2	4	3	4	13	8	14
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	合計	
県北	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	28	
郡山市	1	4	3	0	1	2	1	5	0	1	0	2	1	1	1	1	0	2	0	0	2	0	0	5	0	83	
県中	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	18	
県南	0	1	1	0	2	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	4	6	1	65	
津会	0	3	2	0	2	5	0	0	2	2	2	0	4	1	2	2	2	4	4	5	3	5	2	0	1	135	
津南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
相双	0	0	1	0	1	1	2	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	30	
いわさ	0	2	2	1	4	2	0	1	1	0	3	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1	1	1	2	1	42	
H24	1	8	9	1	10	11	7	10	5	6	7	3	6	3	3	3	3	8	6	11	9	10	8	14	3	401	
H23	17	13	19	15	14	18	12	10	15	12	10	17	14	10	6	13	12	11	15	22	16	15	23	11	17	576	
H22	5	5	8	9	13	18	10	4	5	10	9	10	3	5	11	4	4	11	10	8	6	5	8	4	6	376	

年齢構成

	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~	合計
H24	4	3	8	10	17	10	6	5	4	5	3	12	25	62	92	52	35	30	18	401
H23	2	4	14	14	12	10	8	16	6	5	5	15	18	93	139	88	60	39	28	576

(94) クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

クラミジア肺炎

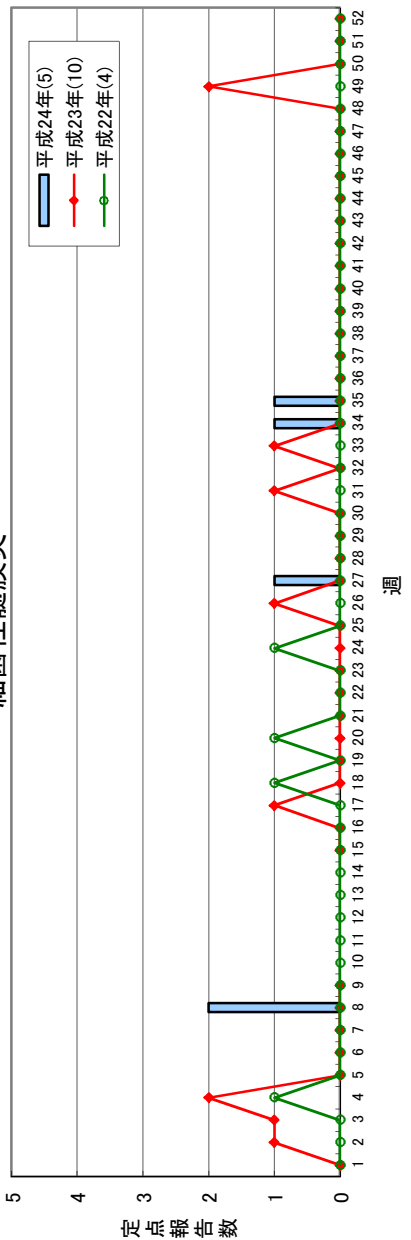


**クラミジア肺炎 (7基準定点)**  
 定点からの年間報告数は郡山市からの18例、県南からの67例、いわき市からの69例であった。  
 年齢構成では、5～9歳以上が約2割(22.7%)、70歳以上が約3割(26.0%)を占めた。

少ない  </

(95)細菌性髄膜炎

細菌性髄膜炎



**細菌性髄膜炎 (7基幹定点)**  
 定点からの年間報告数は5例あった。  
 原因病原体は、0歳1名がストレプトコッカス アガラクティ  
 エ、60～64歳1名がストレプトコッカス属菌、70歳以上1名  
 がリステリア モノサイトゲネス、他2名が不明であった。

少ない 多い

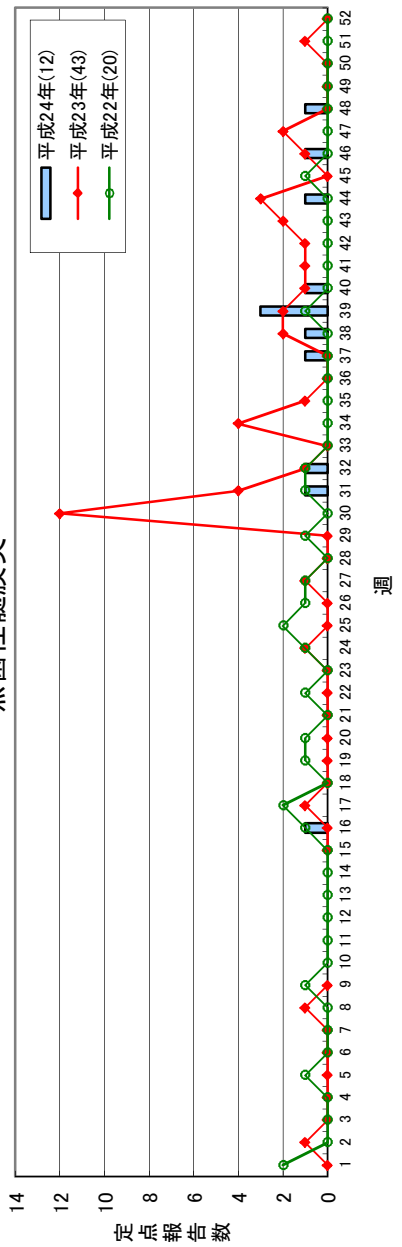
平成24年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w	
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H23	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H22	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	合計		
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H23	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
年齢構成	～0歳	～4歳	～9歳	～14歳	～19歳	～24歳	～29歳	～34歳	～39歳	～44歳	～49歳	～54歳	～59歳	～64歳	～69歳	70歳～	合計											
H24	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	5											
H23	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	1	10											



(98) 無菌性髄膜炎

無菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎 (7基幹定点)

定点からの年間報告数は郡山市からの12例であった。

少ない                多い

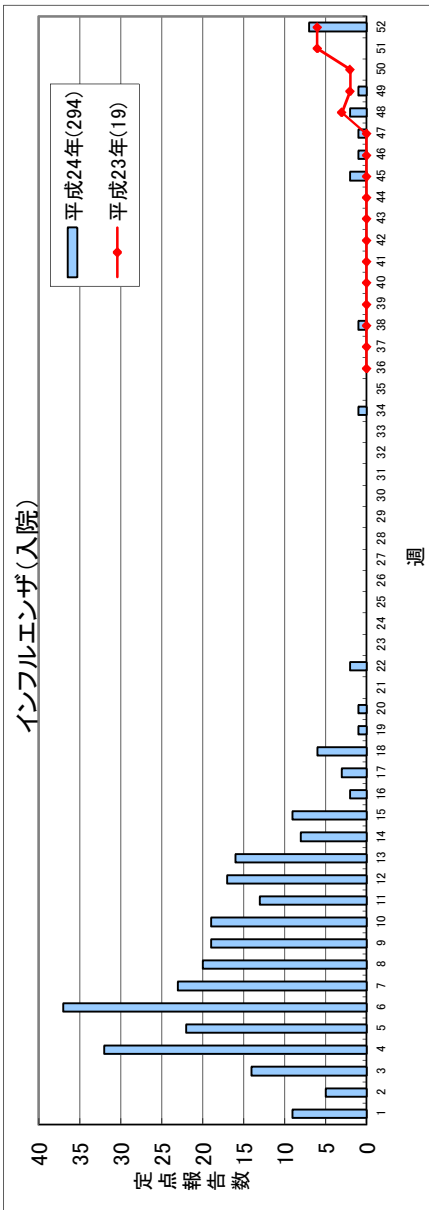
平成24年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w			
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
県中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津南会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津南相	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津南相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津南相双いわさ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津南相双いわさ市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H23	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H22	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	合計				
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津南会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津南相	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津南相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津南相双いわさ市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年齢構成

	～0歳	～4歳	～9歳	～14歳	～19歳	～24歳	～29歳	～34歳	～39歳	～44歳	～49歳	～54歳	～59歳	～64歳	～69歳	70歳～	合計
H24	2	3	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12
H23	0	6	23	5	0	1	1	0	5	1	0	0	0	0	0	1	43

(87) インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型コロナウイルス等感染症を除く)(入院)



(報告は入院患者に限定)

インフルエンザ (7基準定数)

定点からの報告は294例あった。  
年齢構成では、14歳以下が約6割(61.9%)、60歳以上が約3割(27.8%)を占めた。

少ない 多い

平成24年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	0	0	0	2	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
郡山市	6	3	7	7	6	8	8	6	10	5	3	4	1	3	4	2	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0
県中	0	0	0	8	6	9	2	5	3	8	3	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県南	0	0	0	7	4	6	6	3	3	4	6	5	7	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津会	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	2	0	2	4	3	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	1	0	2	4	3	9	5	5	1	2	2	2	3	3	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H24	9	5	14	32	22	37	23	20	19	19	13	17	16	8	9	2	3	6	1	1	0	2	0	0	0	0	0
H23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	合計	
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	95	
県中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64	
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	18	
いわき市	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	1	0	0	0	55	
H24	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	2	1	0	0	7	294	
H23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	

平成23年9月5日から調査開始

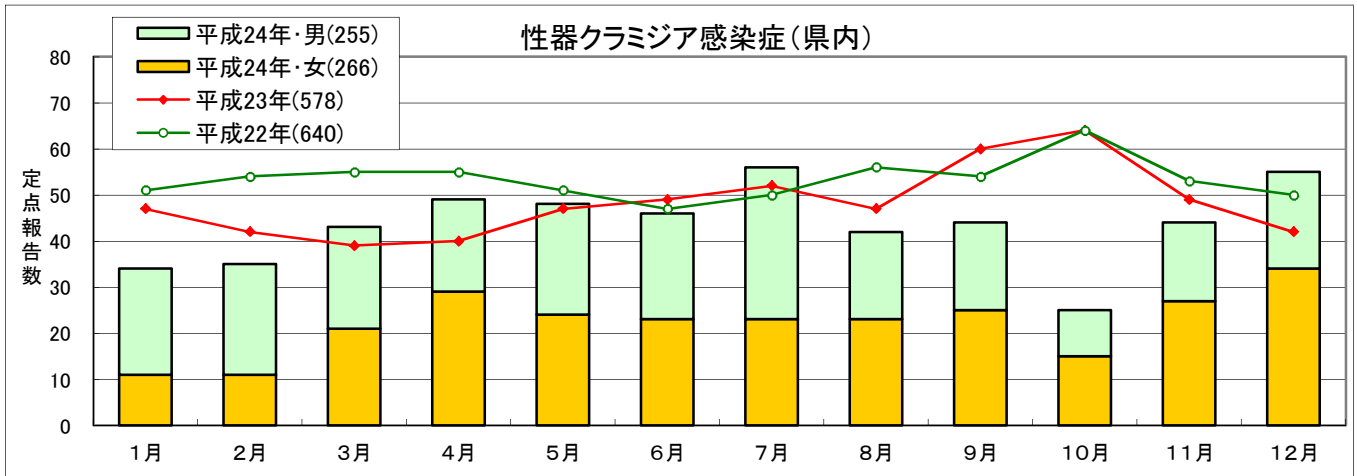
年齢構成

年齢	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~	合計
H24	19	13	19	20	12	17	15	16	14	8	12	17	9	5	6	3	7	14	24	44	294
H23	2	1	0	0	0	0	3	3	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	1	4	19

### (90) 性器クラミジア感染症

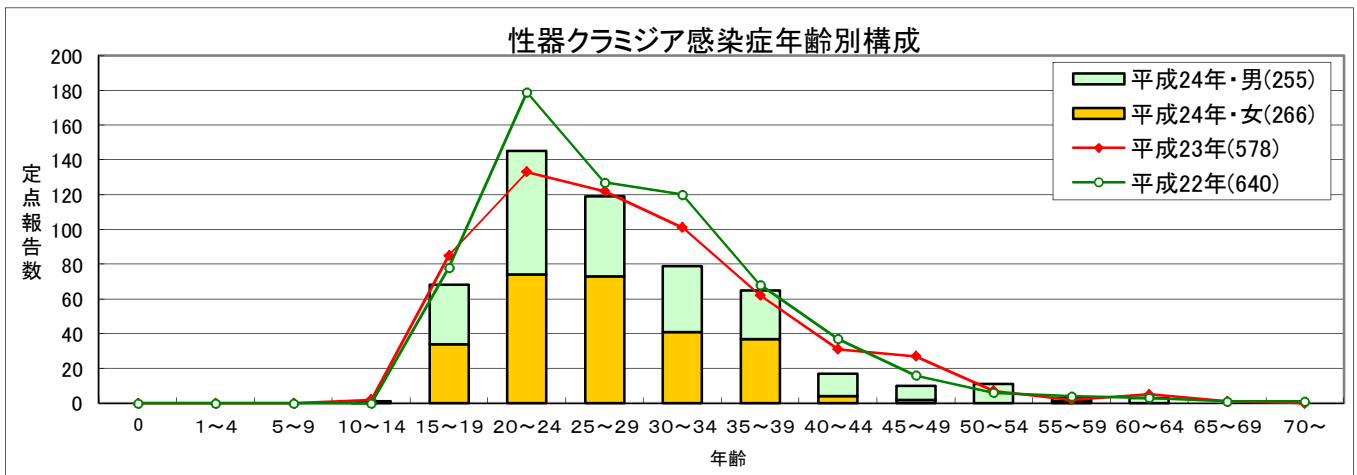
(15STD定点)

定点からの年間報告数は521例(男255例、女266例)あり、20～29歳の報告が多かった。  
また、年齢構成の全国との比較では、20～24歳の患者の占める割合が高かった。

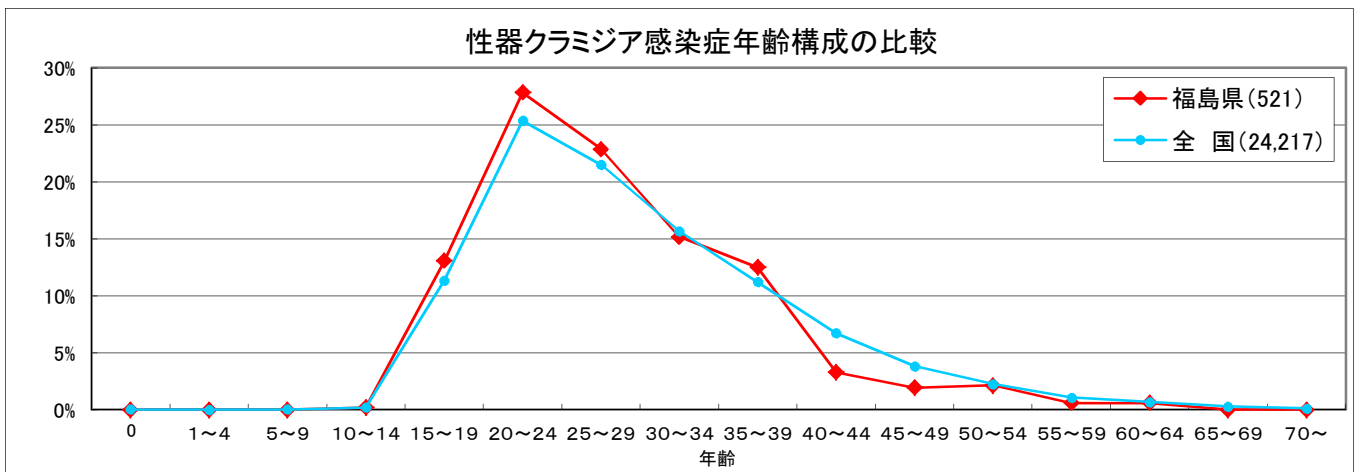


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成24年・男(255)	23	24	22	20	24	23	33	19	19	10	17	21	255
平成24年・女(266)	11	11	21	29	24	23	23	23	25	15	27	34	266
平成24年(521)	34	35	43	49	48	46	56	42	44	25	44	55	521
平成23年(578)	47	42	39	40	47	49	52	47	60	64	49	42	578
平成22年(640)	51	54	55	55	51	47	50	56	54	64	53	50	640

平成22～24年 県内の年齢別構成



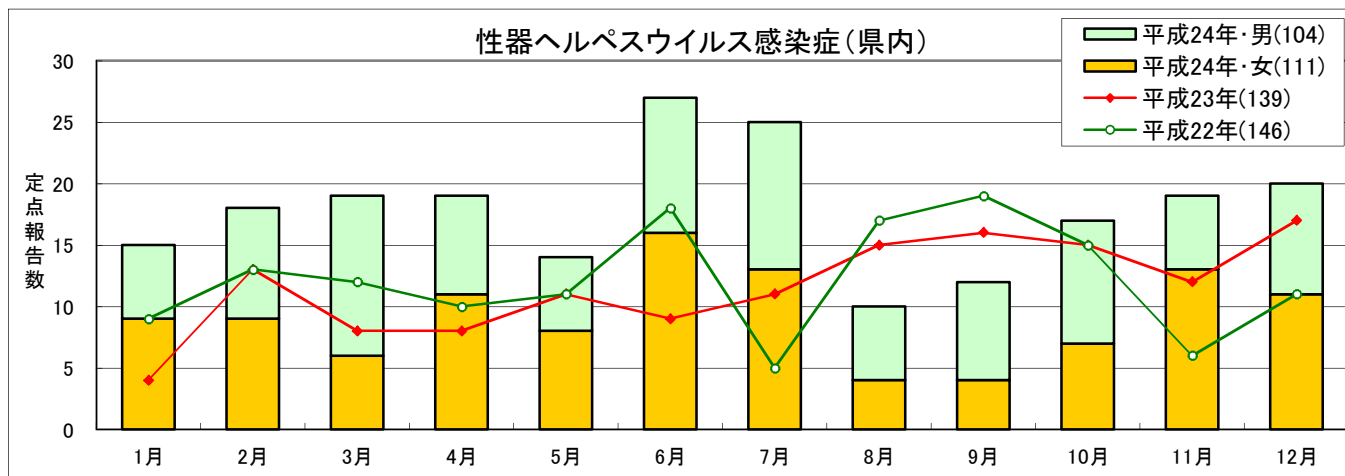
平成24年 年齢構成の比較





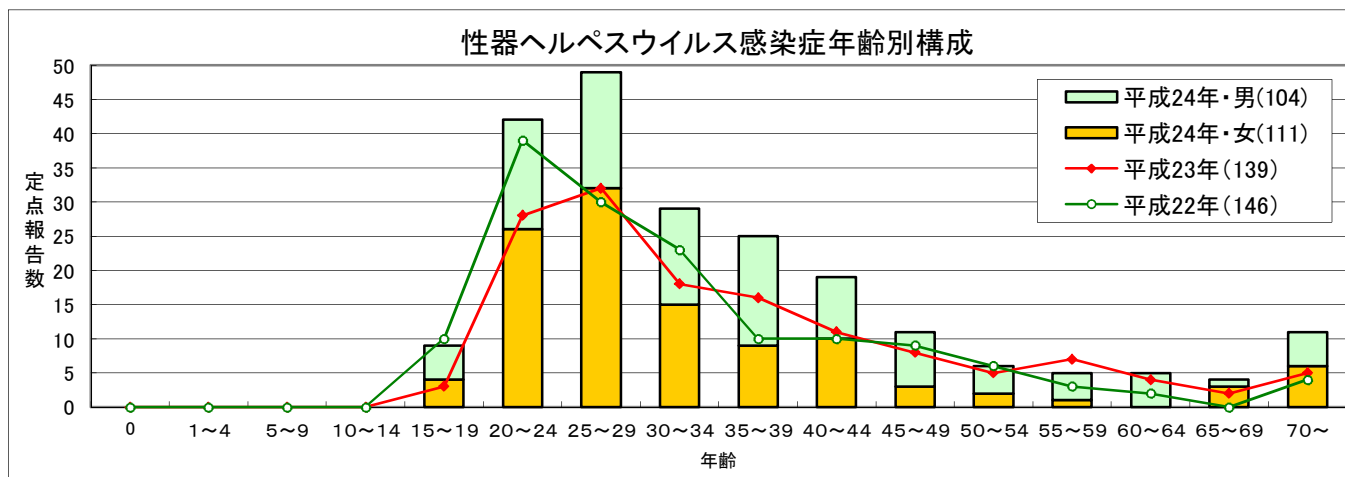
## (91) 性器ヘルペスウイルス感染症 (15STD定点)

定点からの年間報告数は215例(男104例、女111例)あり、20～29歳の報告が多かった。  
また、年齢構成の全国との比較では、20～29歳の患者の占める割合が高かった。

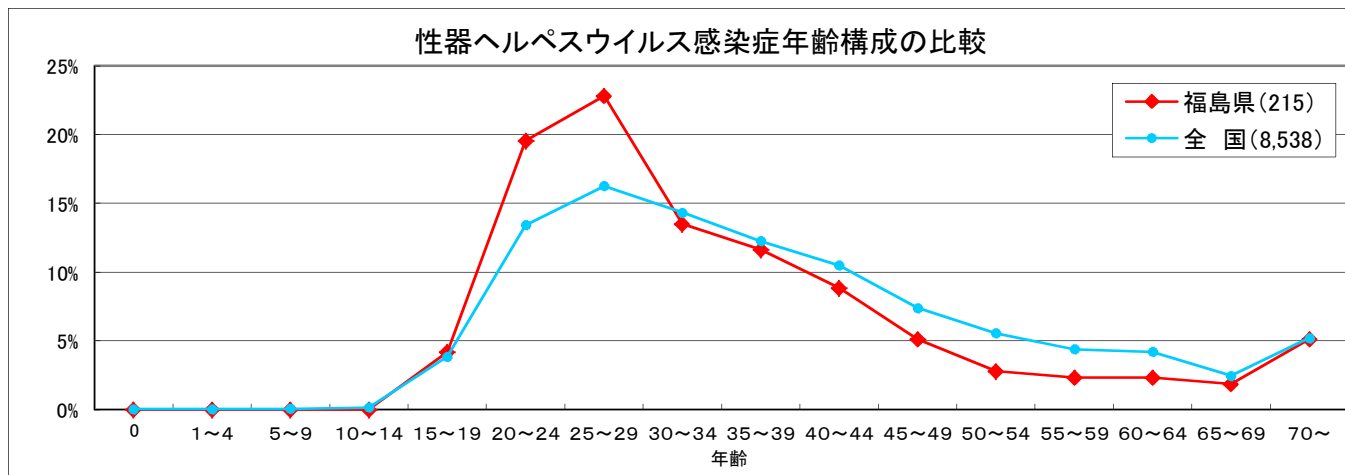


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成24年・男(104)	6	9	13	8	6	11	12	6	8	10	6	9	104
平成24年・女(111)	9	9	6	11	8	16	13	4	4	7	13	11	111
平成24年(215)	15	18	19	19	14	27	25	10	12	17	19	20	215
平成23年(139)	4	13	8	8	11	9	11	15	16	15	12	17	139
平成22年(146)	9	13	12	10	11	18	5	17	19	15	6	11	146

### 平成22～24年 県内の年齢別構成



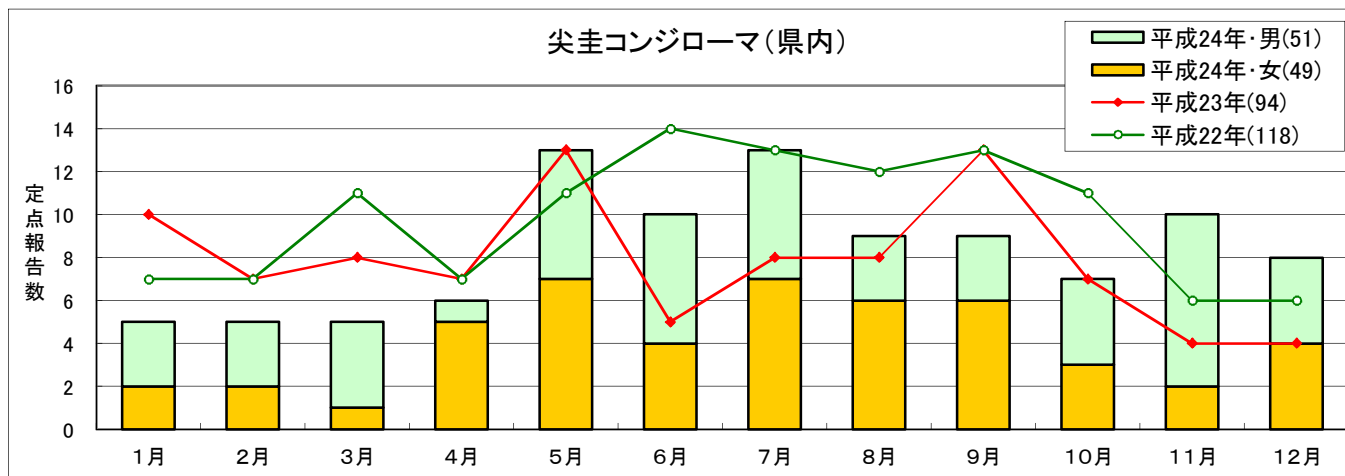
### 平成24年 年齢構成の比較



## (92) 尖圭コンジローマ

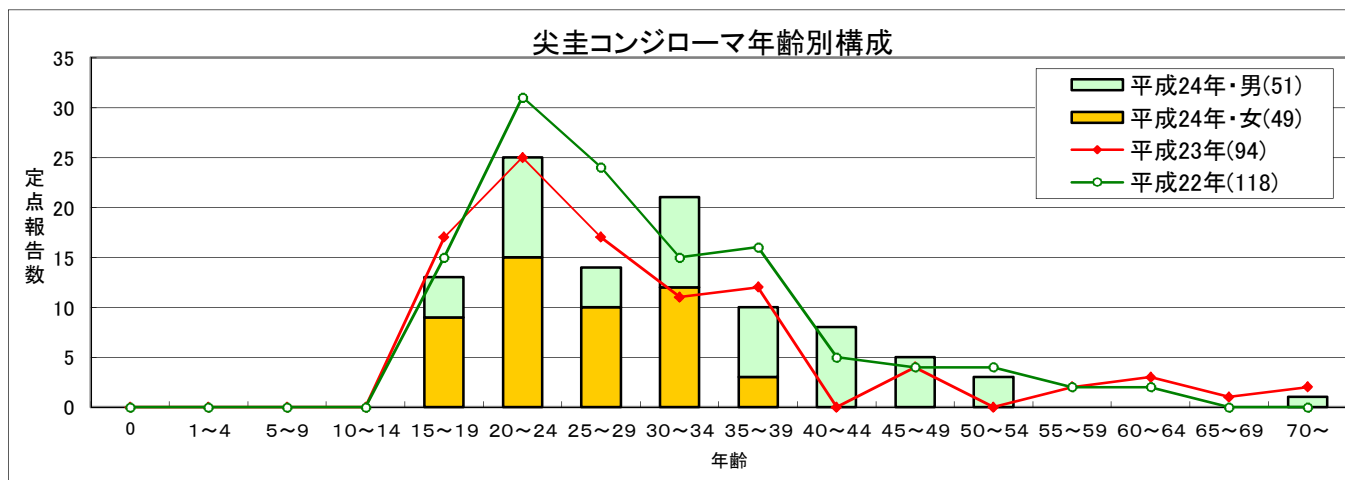
(15STD定点)

定点からの年間報告数は100例(男51例、女49例)あり、20～24歳、30～34歳の報告が多かった。  
また、年齢構成の全国との比較では、15～24歳、30～34歳の患者の占める割合が高かった。

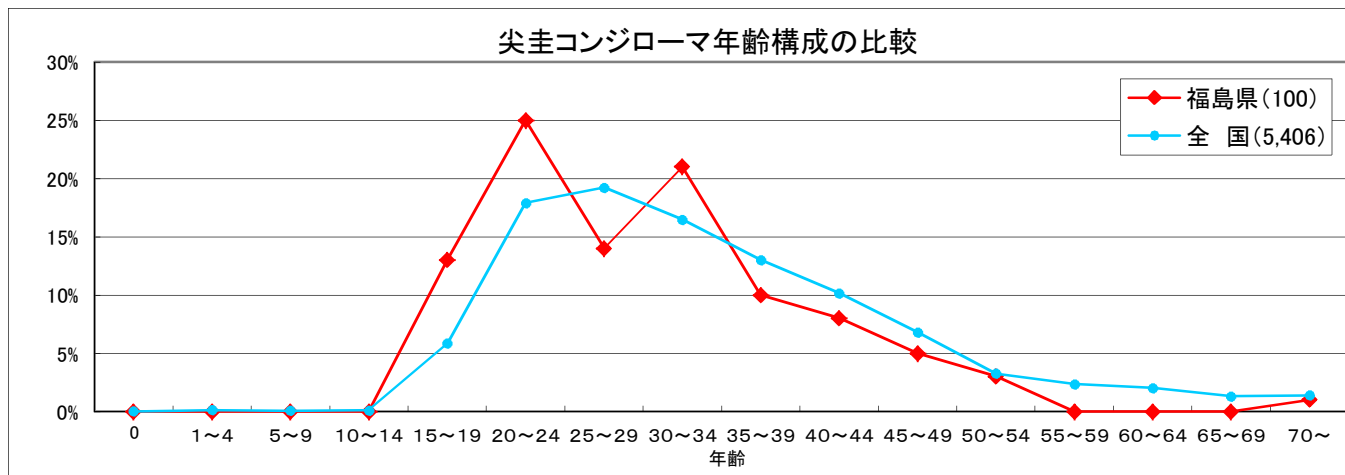


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成24年・男(51)	3	3	4	1	6	6	6	3	3	4	8	4	51
平成24年・女(49)	2	2	1	5	7	4	7	6	6	3	2	4	49
平成24年(100)	5	5	5	6	13	10	13	9	9	7	10	8	100
平成23年(94)	10	7	8	7	13	5	8	8	13	7	4	4	94
平成22年(118)	7	7	11	7	11	14	13	12	13	11	6	6	118

### 平成22～24年 県内の年齢別構成



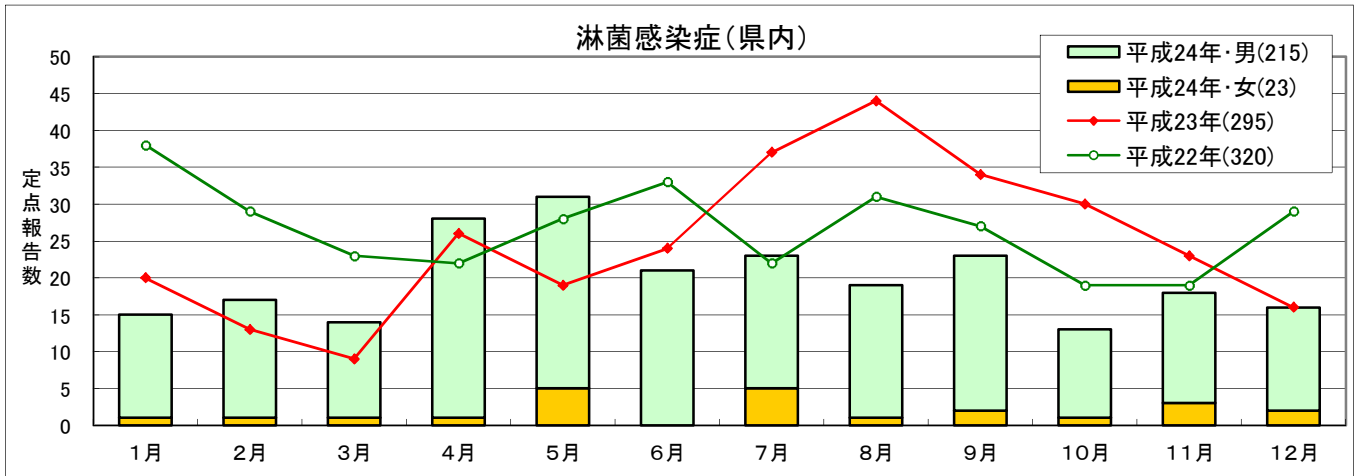
### 平成24年 年齢構成の比較



### (93) 淋菌感染症

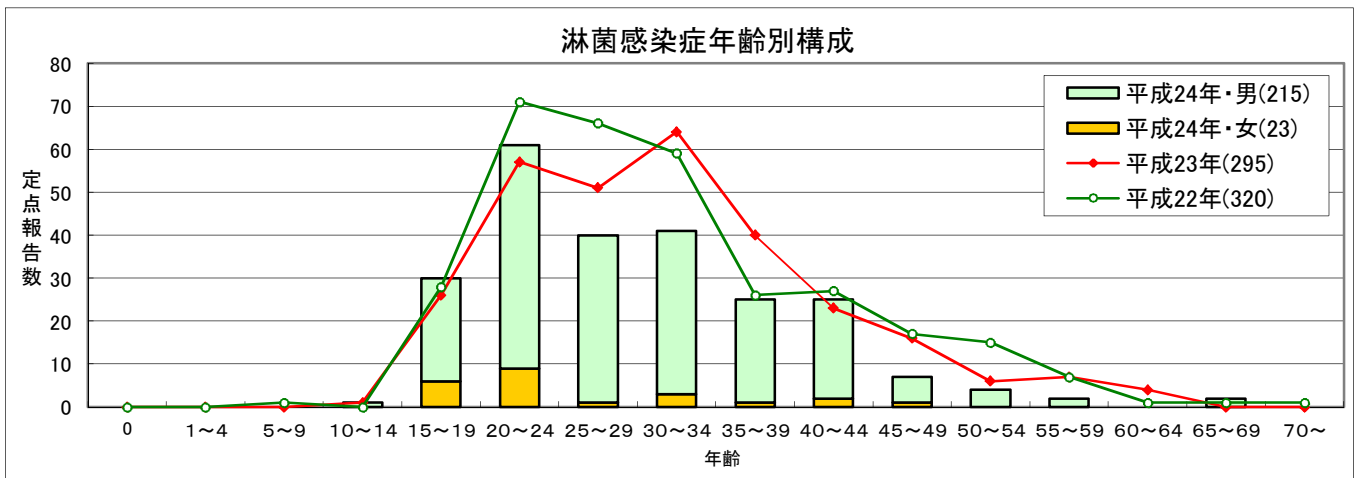
(15STD定点)

定点からの年間報告数は238例(男215例、女23例)あり、20～34歳の報告が多かった。  
また、年齢構成の全国との比較では、15～24歳の患者の占める割合が高かった。

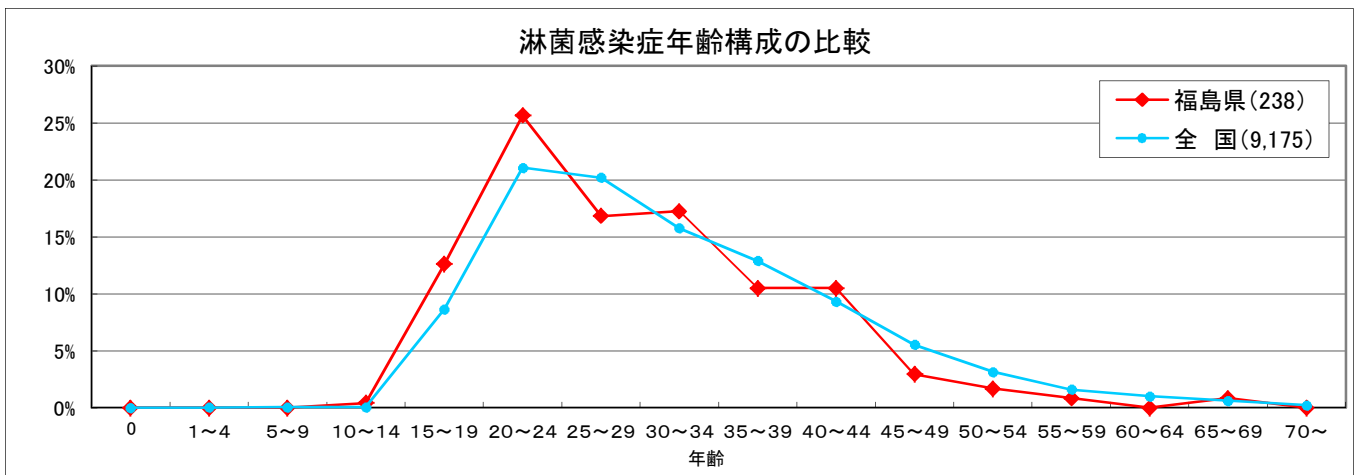


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成24年・男(215)	14	16	13	27	26	21	18	18	21	12	15	14	215
平成24年・女(23)	1	1	1	1	5	0	5	1	2	1	3	2	23
平成24年(238)	15	17	14	28	31	21	23	19	23	13	18	16	238
平成23年(295)	20	13	9	26	19	24	37	44	34	30	23	16	295
平成22年(320)	38	29	23	22	28	33	22	31	27	19	19	29	320

平成22～24年 県内の年齢別構成



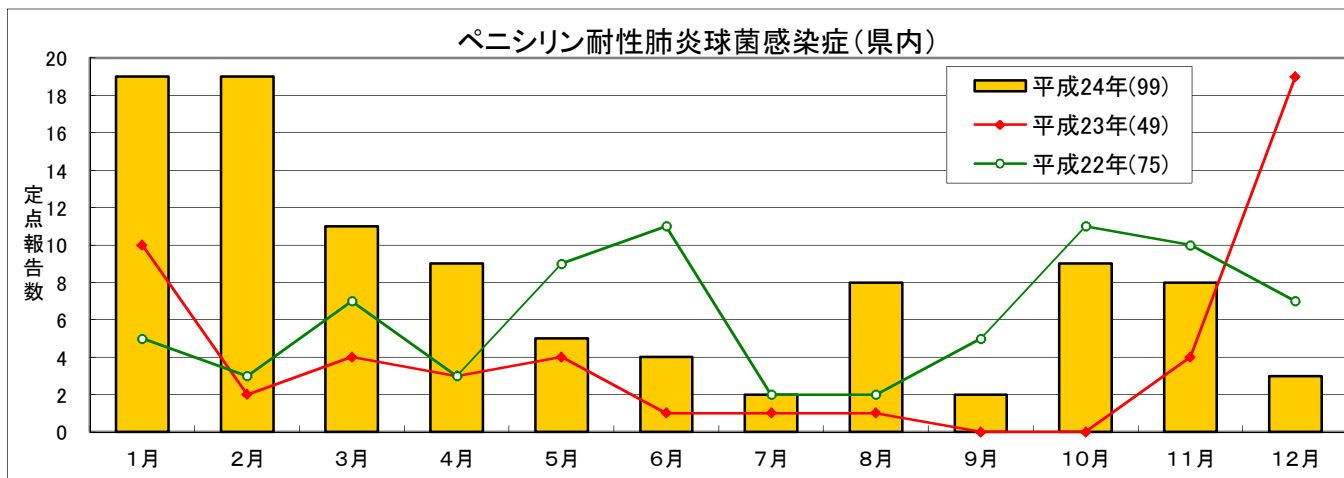
平成24年 年齢構成の比較



# (96) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

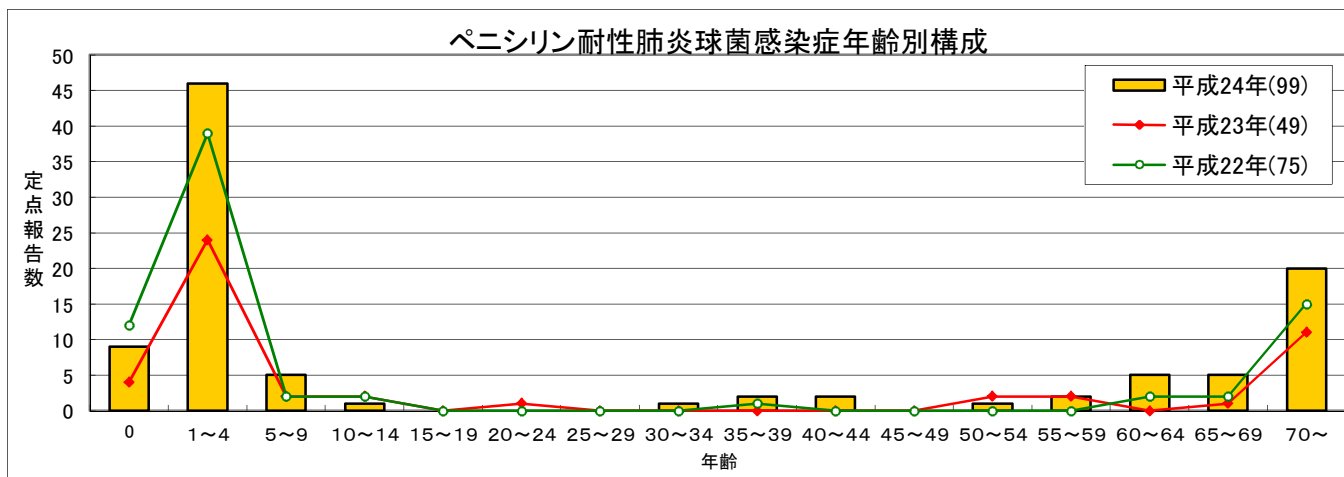
(7基幹定点)

定点からの年間報告数は99例あり、1～4歳の報告が多かった。

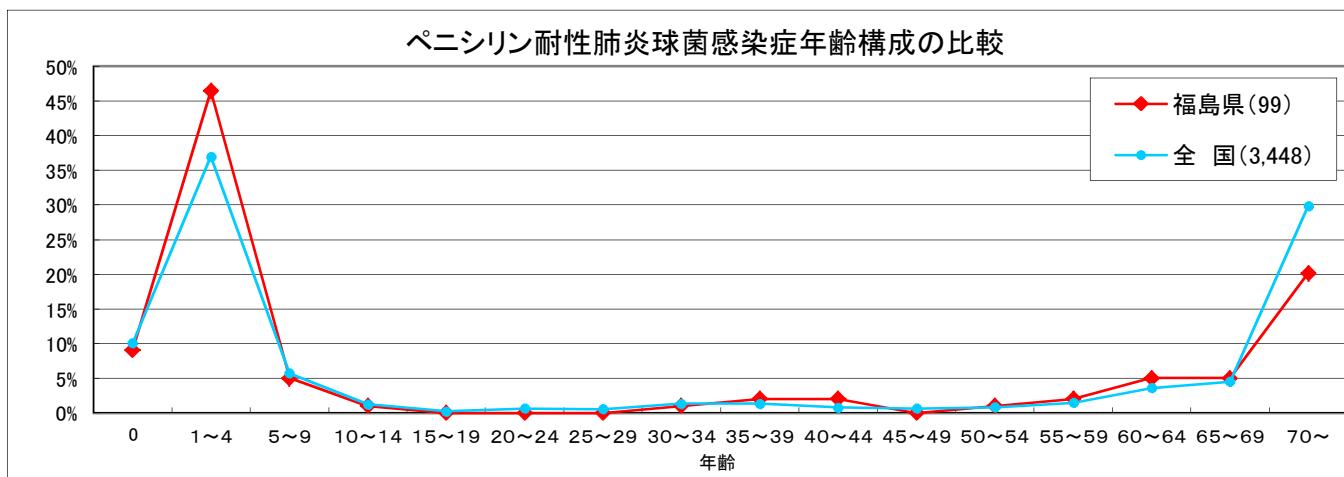


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成24年(99)	19	19	11	9	5	4	2	8	2	9	8	3	99
平成23年(49)	10	2	4	3	4	1	1	1	0	0	4	19	49
平成22年(75)	5	3	7	3	9	11	2	2	5	11	10	7	75

## 平成22～24年 県内の年齢別構成

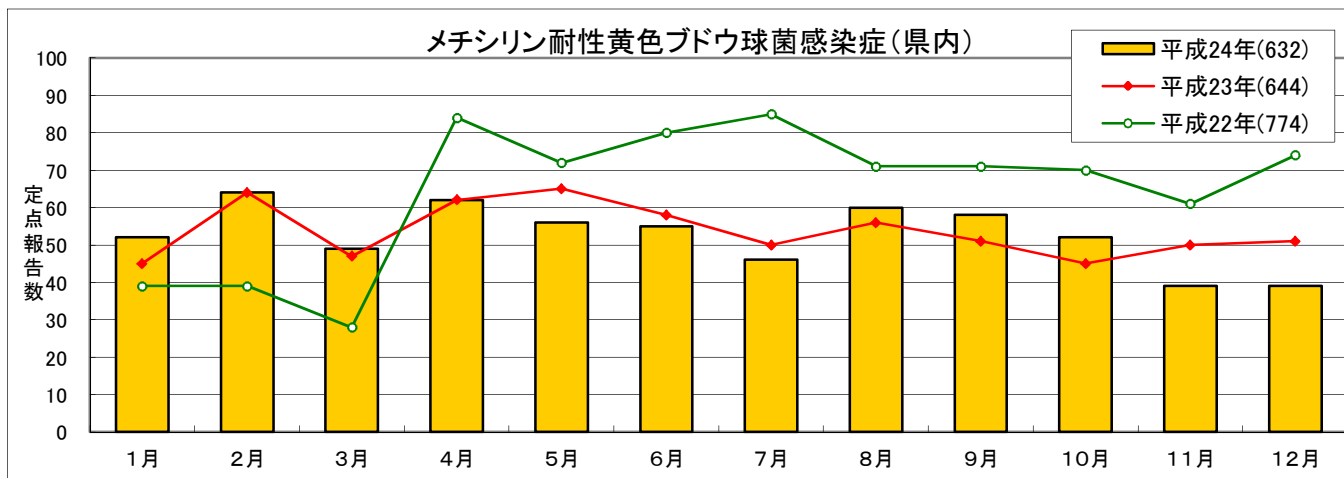


## 平成24年 年齢構成の比較



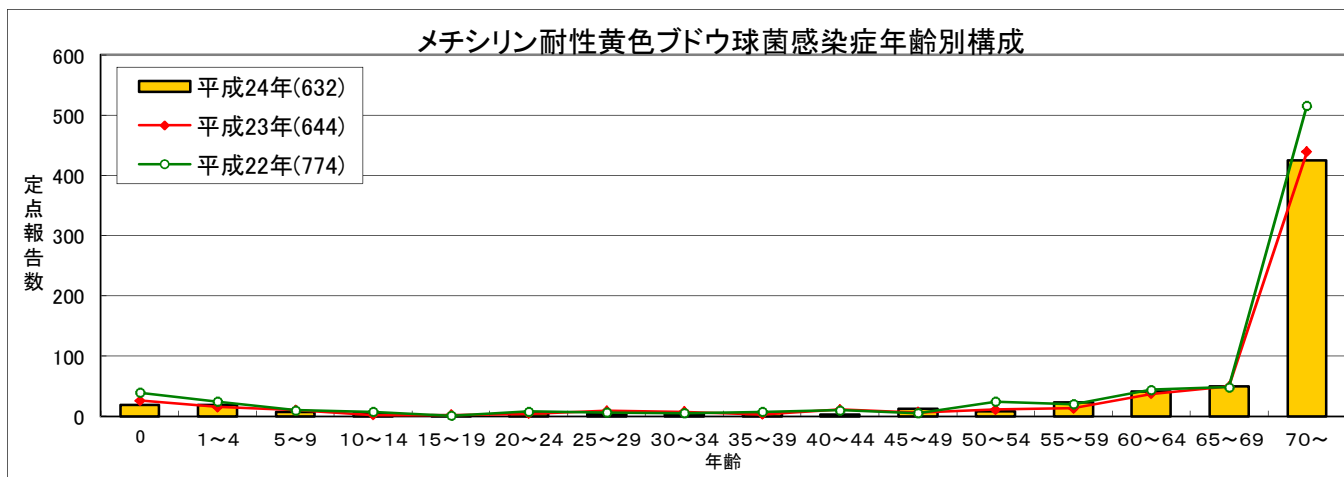
### (99)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (7基幹定点)

定点からの年間報告数は632例あり、70歳以上の報告が多かった。

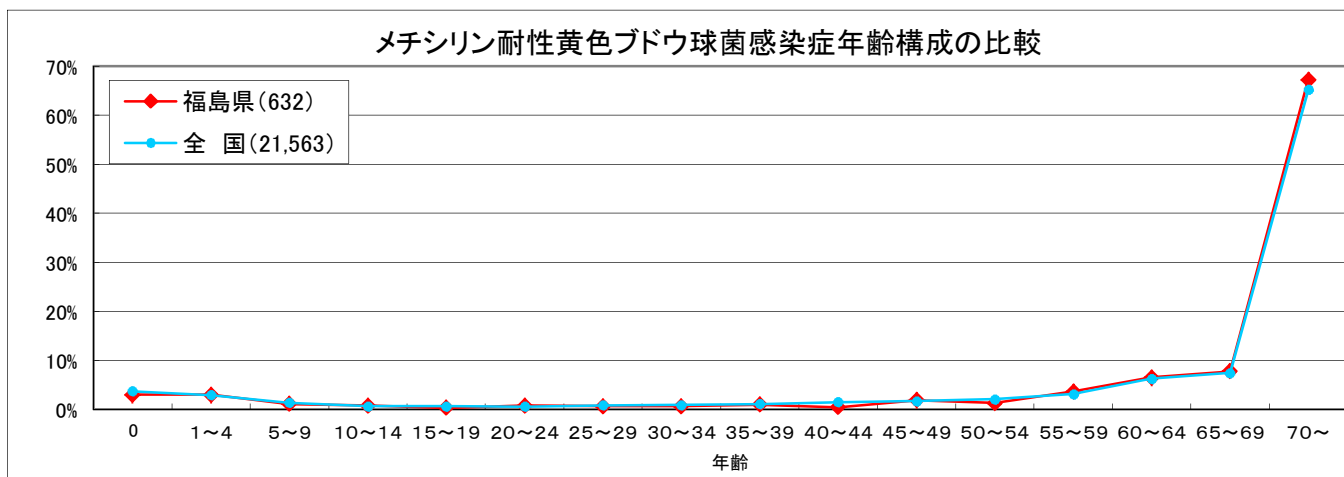


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成24年(632)	52	64	49	62	56	55	46	60	58	52	39	39	632
平成23年(644)	45	64	47	62	65	58	50	56	51	45	50	51	644
平成22年(774)	39	39	28	84	72	80	85	71	71	70	61	74	774

#### 平成22～24年 県内の年齢別構成



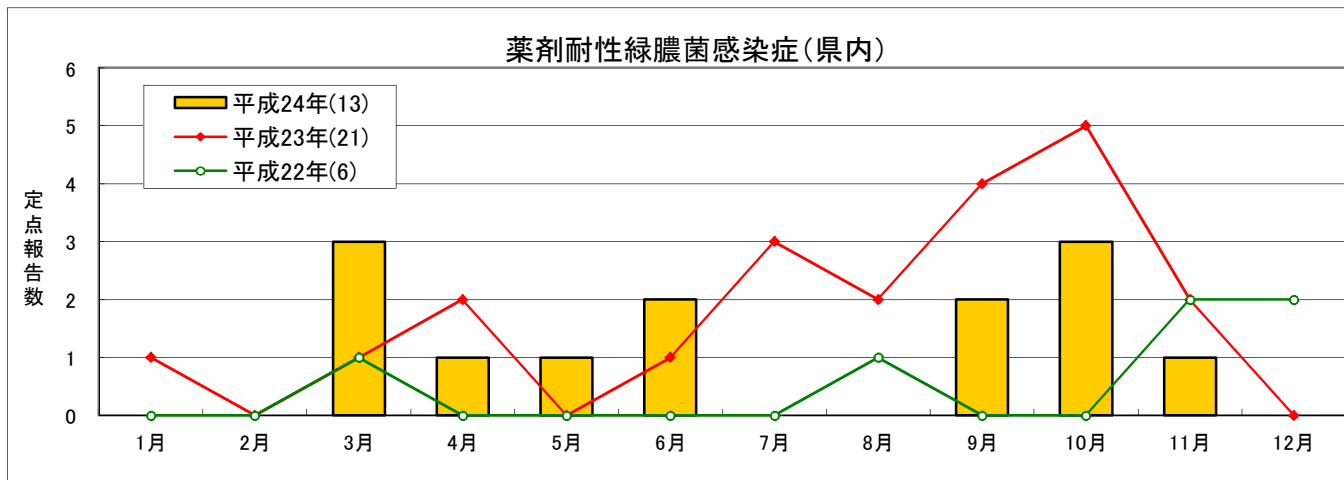
#### 平成24年 年齢構成の比較



(101)薬剤耐性緑膿菌感染症

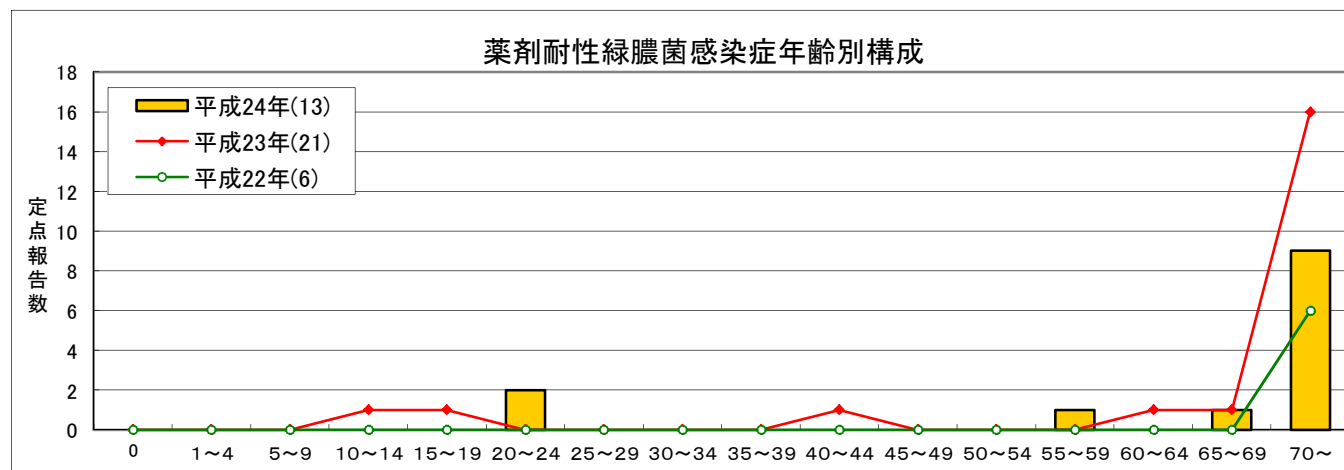
(7基幹定点)

定点からの年間報告数は13例あり、70歳以上の報告が多かった。

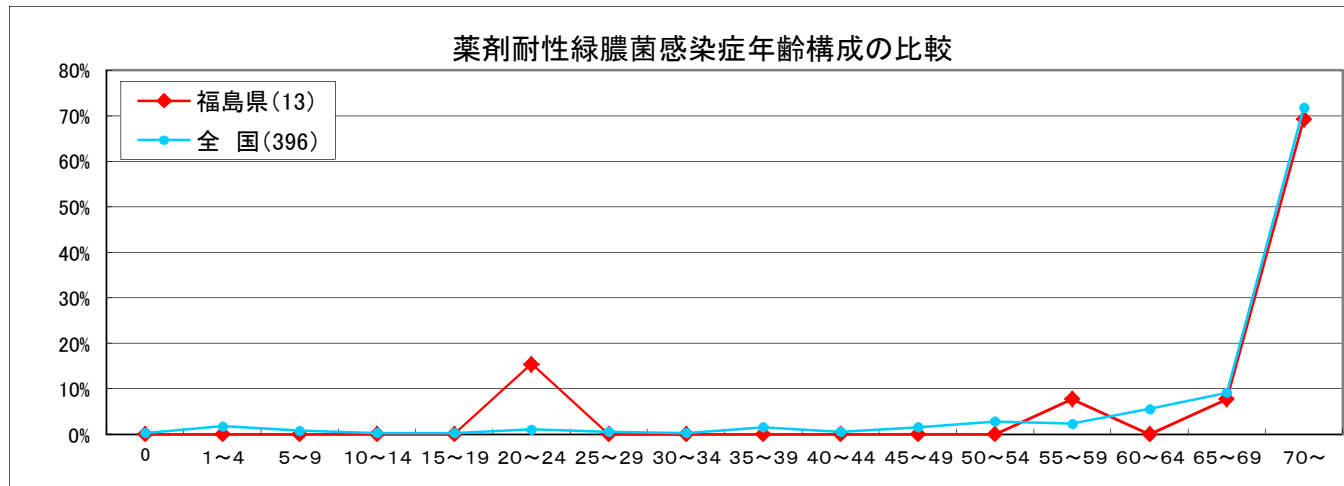


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成24年(13)	0	0	3	1	1	2	0	0	2	3	1	0	13
平成23年(21)	1	0	1	2	0	1	3	2	4	5	2	0	21
平成22年(6)	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	2	6

平成22～24年 県内の年齢別構成



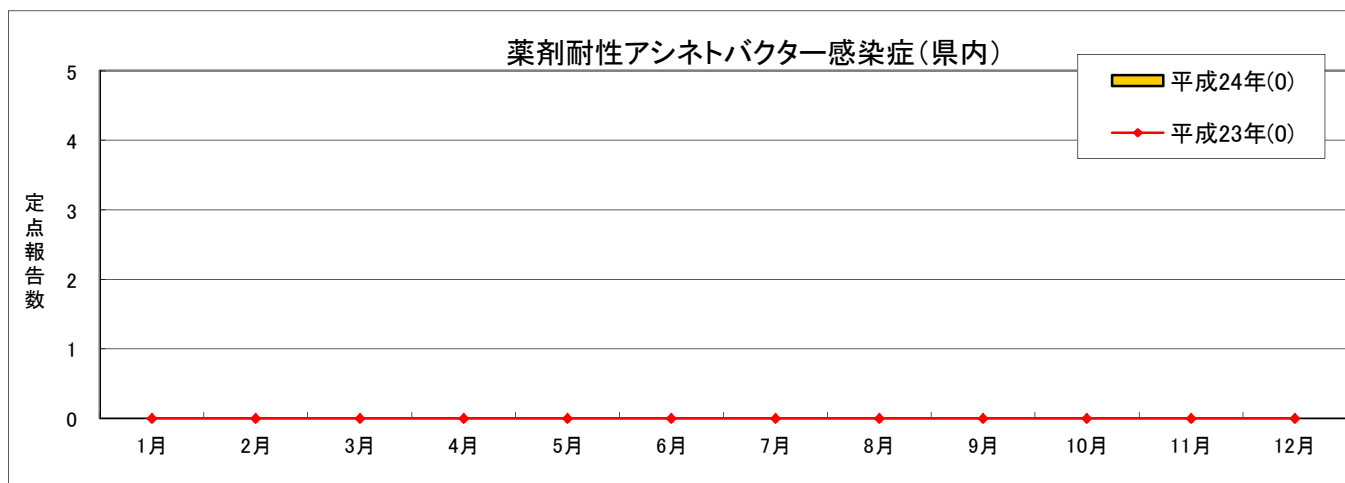
平成24年 年齢構成の比較



(100) 薬剤耐性アシネトバクター感染症

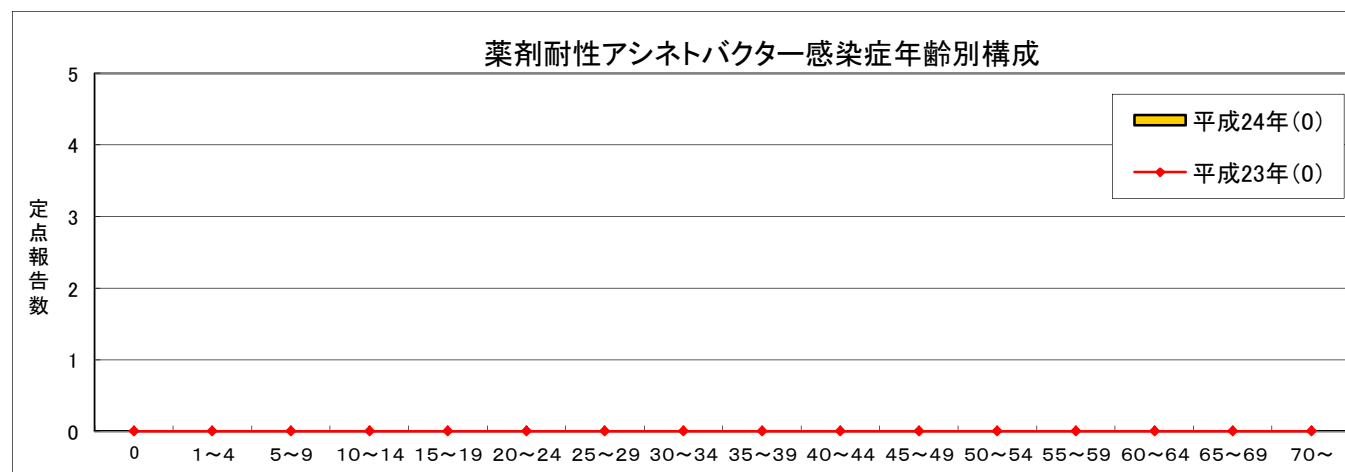
(7基幹定点)

定点からの報告はなかった。

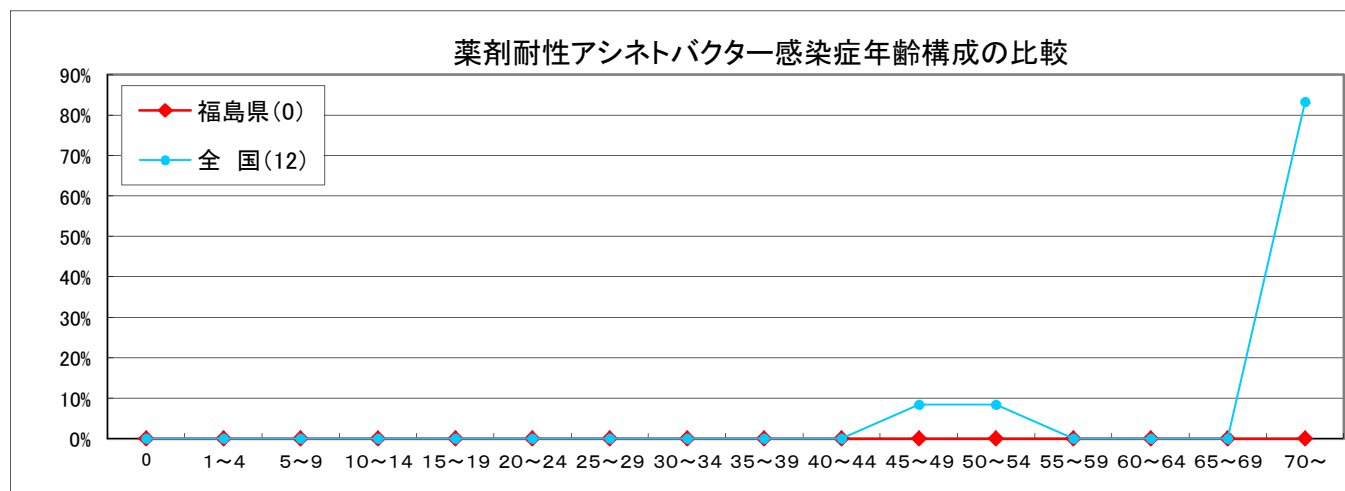


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成24年(0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成23年(0)	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成23～24年 県内の年齢別構成



平成24年 年齢構成の比較



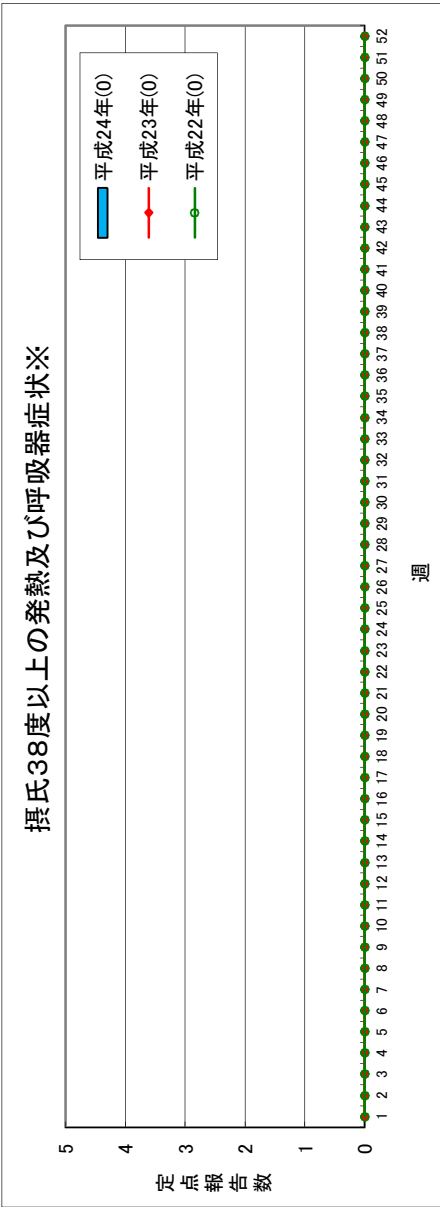
(4) 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症結果報告

- 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症対象疾患 (定点把握)
  - (104) 摂氏38度以上の発熱及び呼吸器症状 [明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く]
  - (105) 発熱及び発しん又は水疱 [ただし、当該疑似症が二類感染症、三類感染症、四類感染症及び五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合を除く]
  
- 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症対象疾患 (定点把握)  
患者地域別定点機関数

	疑 似 症 定 点
県 北	30
郡山市	20
県 中	13
県 南	9
会 津	16
南会津	4
相 双	5
いわき市	21
計	118



(104) 摂氏38度以上の発熱及び呼吸器症状※



摂氏38度以上の発熱及び呼吸器症状※ (118疑似症定点)  
 定点からの報告はなかった。



※明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く

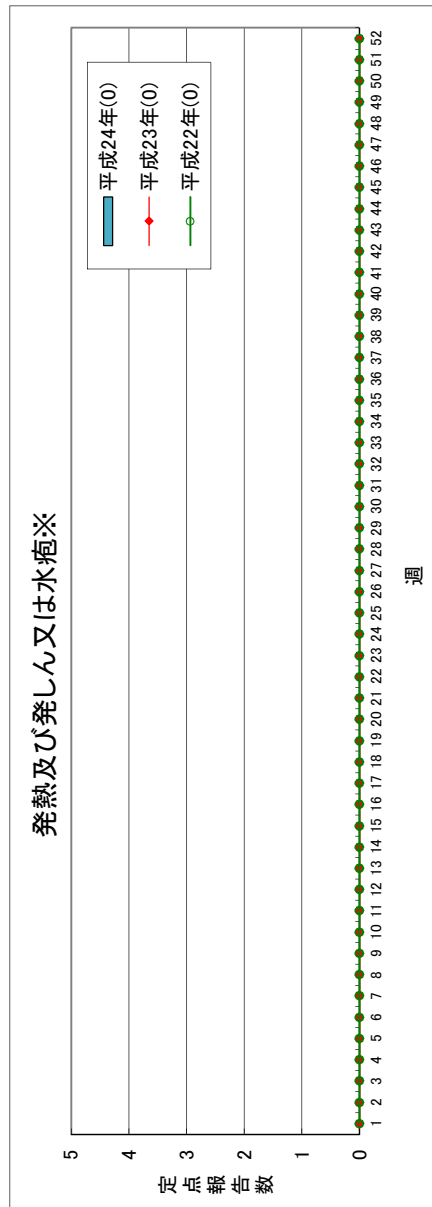
平成24年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	合計	0
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年齢構成

	～0歳	～1歳	～3歳	～5歳	～7歳	～9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～	合計
H24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(105) 発熱及び発しん又は水疱※



発熱及び発しん又は水疱※ (118疑似症定点)

定点からの報告はなかった。



※ただし、当該疑似症が二類感染症、三類感染症、四類感染症及び五類感染症の患者の症状であることが明らかなる場合を除く

平成24年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w													
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
県中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
南会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
H24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
H23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
H22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	合計														
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年齢構成

	～0歳	～1歳	～3歳	～5歳	～7歳	～9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～	合計
H24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### Ⅲ 検 査 情 報

(1) 2012年感染症発生動向調査事業報告（ウイルス）

(2) 2012年感染症発生動向調査事業報告（細菌）



## 2012年感染症発生動向調査事業報告（ウイルス）

北川和寛 塚田敬子<sup>1)</sup> 門馬直太 二本松久子 金成篤子 佐藤弘子<sup>2)</sup>  
微生物課、県中支所<sup>1)</sup>、前福島県衛生研究所<sup>2)</sup>

### はじめに

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、県内の感染症治療、発生予防に役立つ情報の提供を目的として、対象病原体について感染症発生動向調査を行っている。本報では2012年のウイルス検索結果について報告する。

### 材 料

2012年1月から12月までの間に、県内の基幹定点7機関、インフルエンザ定点8機関、小児科定点5機関、眼科定点1機関において採取された咽頭拭い液、糞便、髄液、結膜拭い液等、計1,154件を検体とした。なお、インフルエンザウイルスとノロウイルスについては2011年10月から12月も対象とした。

### 方 法

RD-18S, HEp-2, Vero, LLCMK2, MDCK, の5種類の細胞を用いてウイルス分離を実施した。分離ウイルスの同定には、抗血清を用いた中和試験または遺伝子検査を行った。また、検体が糞便の場合には、ノロウイルス、ロタウイルス、サポウイルス、アストロウイルス、アイチウイルス、アデノウイルスの遺伝子検索も併せて行った。さらに、診断名や症状に応じて、ライノウイルス、RSウイルス、ヒトメタニューモウイルス、ヘルペスウ

イルス、パルボウイルス等のウイルスについても遺伝子検索を行った。

### 結 果

#### 1 地区別ごとの検体数

各地区からの月別の検体数を表1に示す。また、居住地域別検体数を表2に示す。

地区別ごとの搬入検体数は郡山地区からの検体が多く、全体の53.5%を占めた。

#### 2 検体の種類別検出状況

ウイルスの検体種類別検出状況を表3に示す。1,154件のうち、616件の検体から645株のウイルスが検出され、検出率は53.4%と昨年より3.4%上昇した(表3)。

#### 3 ウイルス別検出状況

月別ウイルス検出状況を表4に示した。また、複数ウイルスが検出された28検体を表5に示した。

##### 1) アデノウイルス

年間を通じて63株検出された。アデノウイルス1型が最も多く、18株検出された。また、アデノウイルス31型が2株、56型が1株検出され、本県では初の検出であった。なお、型別が不能であった1株は、遺伝子検索によりアデノウイルス属と同定された。

表1 月別地区別検体数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
県北	8	14	7	5	8	9	8	4	4	4	15	11	97
県中	5	5	1	3	1			4	11	1	3	7	41
県南		1	1	3	1	1	4	1		1	2	11	26
会津	21	2	9	7	1	1						12	53
南会津	1												1
相双	39	13	21	11	10	12	20	9	4	13	36	17	205
郡山市	85	79	61	45	30	35	36	48	47	36	58	57	617
いわき市	9	10	13	4	4	11	19	4	4	12	14	10	114
計	168	124	113	78	55	69	87	70	70	67	128	125	1,154

表2 居住地域別検体数

地域名	検体数	地域名	検体数
福島市	76	東白川郡	7
伊達市	8	西白河郡	18
二本松市	8	会津若松市	39
本宮市	38	喜多方市	4
伊達郡	1	耶麻郡	5
郡山市	468	河沼郡	5
安達郡	11	大沼郡	5
須賀川市	33	南会津郡	2
田村市	23	相馬市	2
田村郡	21	南相馬市	74
石川郡	19	双葉郡	4
岩瀬郡	16	いわき市	113
白河市	15	県外	139
		計	1,154

表3 検体種類別検出検体数

	咽頭	糞便	髄液	結膜拭い	その他	計
受付検体数	775	265	74	11	29	1,154
検出数	477	129	2	1	7	616
検出率 (%)	61.5	48.7	2.7	9.1	24.1	53.4

## 2) エンテロウイルス

エンテロウイルスは123株検出された。最も多く検出されたのは、コクサッキーウイルスA群9型で33株検出された。次いでエコーウイルス6型が18株検出された。

ポリオウイルスは2型と3型がそれぞれ1株検出された。2検体ともポリオ様症状は認められておらず、ワクチン投与後の検出であった。また、ダイレクトシークエンス法による型内株鑑別の結果ワクチン株と判断された。

## 3) ライノウイルス

ライノウイルスは35株検出され、インフルエンザウイルス、ノロウイルスに次ぐ検出数であった。また、35株中11検体はライノウイルス以外のウイルスも検出された。

## 4) インフルエンザウイルス (図1)

2011/12 シーズンはA/H3亜型が158株、B/ビクトリア系統が88株、B/山形系統が9株、B/not typedが9株検出された。また、本県におけるB/山形系統の検出は3シーズンぶりであった。

20012/13 シーズンは9月から12月までの間にA/H3亜型が26株検出された。

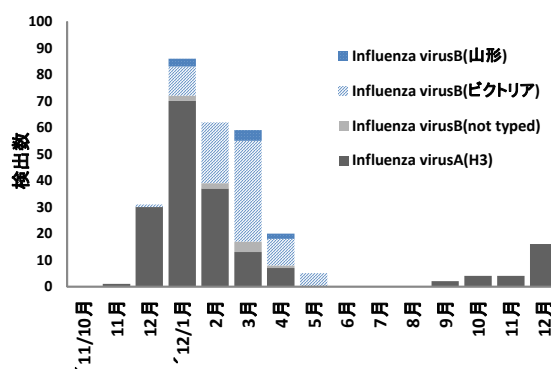


図1 月別インフルエンザウイルス検出数

## 5) ノロウイルス (図2)

2011/12 シーズンは10月から7月の間に41株検出された。遺伝子型は、12月に検出された3株を除いて全てG IIであった。

20012/13 シーズンは11月と12月で38株検出されており、遺伝子型は全てG IIであった。

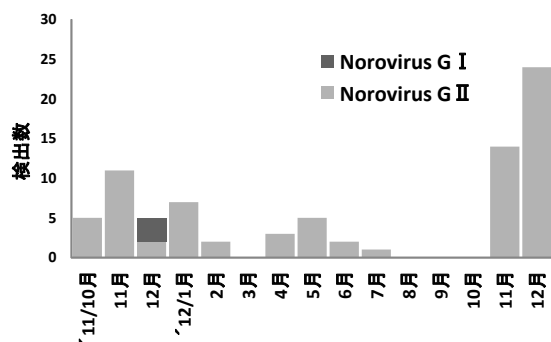


図2 月別ノロウイルス検出数

## 4 診断名別検出状況

診断名別検出状況を表6に示した。

インフルエンザ診断の検体が最も多く、304検体が搬入され、インフルエンザウイルスが251株検出された。また、検出率は82.6%と高率であった。

RSウイルス感染症は48検体が搬入され、42株のウイルスが検出された。RSウイルスは42株中34株の検出であった。

感染性胃腸炎は166検体が搬入され、103株のウイルスが検出された。検出ウイルスはノロウイルス、ロタウイルス、サポウイルス、アデノウイルス、エンテロウイルスなど様々であったが、ノロウイルスが53株と検出数の51.5%を占め、次いでロタウイルスが20

表4 月別ウイルス検出数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
Adenovirus 1	1	3	1	2	2	2	5	1		1			18
Adenovirus 2		2	1	1		4	2	1		1	1	2	15
Adenovirus 3		2	1	2	2	2	1						10
Adenovirus 4	3					1				1			5
Adenovirus 5		2											2
Adenovirus 6	2									1		1	4
Adenovirus 7								1					1
Adenovirus 31										1		1	2
Adenovirus 41			1	1	1		1						4
Adenovirus 56								1					1
Adenovirus sp.							1						1
Astrovirus 1				1									1
Coxsackievirus A2							3	1	2	1			7
Coxsackievirus A4						2	8	3					13
Coxsackievirus A5										2			2
Coxsackievirus A6									1	2	3		6
Coxsackievirus A9					1	8	8	9	4	2	1		33
Coxsackievirus A10							1						1
Coxsackievirus A12										1			1
Coxsackievirus A16						2	5						7
Coxsackievirus B3	1												1
Coxsackievirus B5		2	1										3
Echovirus 6							1	7	1	3	6		18
Echovirus 7								1		2			3
Echovirus 9							1	3		3	2		9
Echovirus 11							4						4
Enterovirus 71							3	2	3	3	1		12
Herpes simplex virus type 1		1				1			1		1		4
Human herpesvirus 4	1		1						2				4
Human herpesvirus 5		1		4				1	2	1	1		10
Human herpesvirus 7							1			1			2
Human Metapneumovirus			2	2	1		2						7
Influenza virusA(H3)	70	37	13	7					2	4	4	16	153
Influenza virusB(ビクトリア)	11	23	38	10	5								87
Influenza virusB(山形)	3		4	2									9
Influenza virusB(not typed)	2	2	4	1									9
Norovirus GⅡ	7	2		3	5	2	1				14	24	58
Parainfluenzavirus 1				1			1						2
Parechovirus 1								1					1
Poliovirus 2					1								1
Poliovirus 3							1						1
Rhinovirus sp.	3	1		1	6	6	2	3		8	5		35
Rotavirus group A		3	8	9	2								22
RSvirus A			1		1		2	5	13	5	6	1	34
RSvirus B	4	2		1		1			2		1		11
Sapovirus GⅠ					1	1	1				1	2	6
Sapovirus GⅡ					1	2					1	1	5
検出数	108	83	76	48	29	34	55	40	33	43	48	48	645
受付検体数	168	124	113	78	55	69	87	70	70	67	128	125	1,154
検出率 (%)	64.3	66.9	67.3	61.5	52.7	49.3	63.2	57.1	47.1	64.2	37.5	38.4	55.9

表5 複数ウイルスが検出された検体

No.	検出ウイルス	採取月日	診断名	年齢	性別	検査材料	発熱(℃)	保健所
1	RSvirus B Rhinovirus sp.	H24.1.13	RSウイルス気管支炎	3ヶ月	男	咽頭ぬぐい液		県中
2	Adenovirus 6 Rhinovirus sp.	H24.1.26	気管支肺炎	2ヶ月	男	咽頭ぬぐい液	38.0	相双
3	Coxsackievirus B3 Norovirus GII	H24.1.13	急性胃腸炎	4歳	男	糞便	38.2	郡山市
4	Influenza virusA(H3) Influenza virusB(ピクトリア)	H24.2.20	インフルエンザA, B	6歳	女	咽頭ぬぐい液	38.5	いわき市
5	Rhinovirus sp. RSvirus B	H24.2.17	R S ウイルス気管支炎	3ヶ月	男	咽頭ぬぐい液		県中
6	Rotavirus group A Coxsackievirus B5	H24.3.15	ロタウイルス感染症	1歳	男	糞便	39.2	郡山市
7	Rotavirus group A Norovirus GII	H24.4.9	ロタウイルス胃腸炎疑い	2ヶ月	男	糞便		郡山市
8	Adenovirus 41 Rotavirus group A	H24.4.24	ロタウイルス胃腸炎	1歳	男	糞便	37.4	会津
9	Rotavirus group A Adenovirus 1	H24.4.24	急性胃腸炎	9ヶ月	男	糞便	38.0	郡山市
10	Astrovirus 1 Norovirus GII	H24.4.13	急性胃腸炎	1歳	女	糞便		郡山市
11	Adenovirus 1 Norovirus GII Sapovirus GII	H24.5.11	胃腸炎	6歳	女	糞便		相双
12	Rotavirus group A Norovirus GII	H24.4.28	感染性胃腸炎, 急性上気道炎	4歳	男	糞便	39.0	郡山市
13	Rhinovirus sp. Adenovirus 2	H24.6.1	アデノウイルス感染症	10ヶ月	男	咽頭ぬぐい液	39.8	郡山市
14	Norovirus GII Adenovirus 1	H24.7.31	胃腸炎	11歳	女	糞便	37.5	相双
15	Sapovirus G I Adenovirus 1	H24.6.29	急性胃腸炎	1歳	男	糞便	36.5	郡山市
16	Coxsackievirus A4 Rhinovirus sp.	H24.7.9	ヘルパンギーナ	2歳	女	咽頭ぬぐい液	38.8	郡山市
17	RSvirus A Echovirus 6	H24.8.17	RSウイルス感染症, 気管支肺炎, 下痢	1歳	男	咽頭ぬぐい液	39.0	郡山市
18	Coxsackievirus A9 Rhinovirus sp.	H24.8.21	急性咽頭炎, 上気道炎	8歳	女	咽頭ぬぐい液	39.0	いわき市
19	Rhinovirus sp. RSvirus A	H24.10.24	RSウイルス気管支炎	2ヶ月	女	咽頭ぬぐい液		県中
20	Echovirus 9 Adenovirus 6	H24.10.12	熱性けいれん	1歳	女	咽頭ぬぐい液	39.1	相双
21	Human herpesvirus 4 Echovirus 6	H24.9.5	手足口病	5歳	女	咽頭ぬぐい液	35.6	郡山市
22	Rhinovirus sp. Coxsackievirus A2	H24.10.9	ヘルパンギーナ疑い	2歳	男	咽頭ぬぐい液	39.0	郡山市
23	Rhinovirus sp. RSvirus A	H24.10.19	咽頭喉頭炎	2歳	女	咽頭ぬぐい液	41.0	郡山市
24	Enterovirus 71 Human herpesvirus 7	H24.10.2	手足口病	4歳	男	咽頭ぬぐい液	37.5	いわき市
25	Rhinovirus sp. Coxsackievirus A6	H24.10.9	ヘルパンギーナ	3歳	女	咽頭ぬぐい液	38.0	いわき市
26	Echovirus 6 Human herpesvirus 5	H24.10.16	ウイルス性発疹症(風疹様)	3ヶ月	女	咽頭ぬぐい液	37.6	いわき市
27	RSvirus A Rhinovirus sp.	H24.11.26	RSウイルス気管支炎	1ヶ月	男	咽頭ぬぐい液		県中
28	Norovirus GII Adenovirus 2	H24.11.24	急性胃腸炎	1歳	男	糞便	36.5	郡山市



表6 診断名別ウイルス検出数

	インフル エンザ	R S ウ イ ル ス 感 染 症	感 染 性 胃 腸 炎	手 足 口 病	へ ル パ ン ギ ー ナ	水 痘	突 発 性 発 疹	伝 染 性 紅 班	急 性 脳 症 ・ 脳 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	結 膜 炎 等	そ の 他	計
Adenovirus 1			4				1					13	18
Adenovirus 2			4									11	15
Adenovirus 3											1	9	10
Adenovirus 4			1									4	5
Adenovirus 5												2	2
Adenovirus 6	1											3	4
Adenovirus 7												1	1
Adenovirus 31												2	2
Adenovirus 41			1									3	4
Adenovirus 56											1	1	1
Adenovirus sp.												1	1
Astrovirus 1			1										1
Coxsackievirus A2			2		1							4	7
Coxsackievirus A4					9							4	13
Coxsackievirus A5												2	2
Coxsackievirus A6				4	1							1	6
Coxsackievirus A9			1	1	1		1	1		1		27	33
Coxsackievirus A10				1									1
Coxsackievirus A12					1								1
Coxsackievirus A16				6		1							7
Coxsackievirus B3			1										1
Coxsackievirus B5			1									2	3
Echovirus 6		1	3	2						1		11	18
Echovirus 7										1		2	3
Echovirus 9			1								1	7	9
Echovirus 11												4	4
Enterovirus 71				9						1		2	12
Herpes simplex virus type 1												4	4
Human herpesvirus 4				1								3	4
Human herpesvirus 5				1	1							8	10
Human herpesvirus 7				1								1	2
Human Metapneumovirus		1										6	7
Influenza virusA(H3)	150	1										2	153
Influenza virusB(ビクトリア)	82											5	87
Influenza virusB(山形)	9												9
Influenza virusB(not typed)	9												9
Norovirus GⅡ			53									5	58
Parainfluenzavirus 1												2	2
Parechovirus 1			1										1
Poliovirus 2												1	1
Poliovirus 3												1	1
Rhinovirus sp.		5		3	6							21	35
Rotavirus group A			20									2	22
RSvirus A		27										7	34
RSvirus B		7										4	11
Sapovirus GⅠ			4									2	6
Sapovirus GⅡ			5										5
検出数	251	42	103	29	20	1	2	1	0	4	3	189	645
受付検体数	304	48	166	42	27	6	7	2	10	44	14	484	1,154
検出率 (%)	82.6	87.5	62.0	69.0	74.1	16.7	28.6	50.0	0.0	9.1	21.4	39.0	55.9

株（19.4％）であった。

手足口病は 42 検体が搬入され、29 株のウイルスが検出された。最も多く検出されたウイルスはエンテロウイルス 71 型の 9 株であった。次いで検出されたウイルスはコクサッキーウイルス A 群 16 型の 6 株であり、昨年大流行したコクサッキーウイルス A 群 6 型<sup>1)</sup>については 4 株の検出であった。

ヘルパンギーナは 27 検体が搬入され、20 株のウイルスが検出された。最も多く検出されたウイルスはコクサッキーウイルス A 群 4 型の 9 株であった。

無菌性髄膜炎は 44 検体が搬入され、4 株のウイルスが検出された。検出されたウイルスはコクサッキーウイルス A 群 9 型、エコーウイルス 6 型および 7 型、エンテロウイルス 71 型であった。

その他の診断名は上気道炎や下気道炎、発疹症等の検体が 484 検体搬入され、189 株のウイルスが検出された。

### 謝 辞

検体採取等本事業にご協力いただいた病原体定点医療機関の諸先生方に深謝いたします。

### 引用文献

- 1) 国立感染症研究所  
<http://www.nih.go.jp/niid/images/iasr/arc/gv/2012/data2012.37j.pdf>2013/2/7

## 2012 年感染症発生動向調査事業報告（細菌）

渡邊奈々子<sup>1)</sup> 千葉一樹 菅野奈美 二本松久子 小黒祐子 佐藤弘子<sup>2)</sup>

微生物課 <sup>1)</sup> 福島県立総合衛生学院 <sup>2)</sup> 前福島県衛生研究所

### はじめに

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、県内の感染症の治療、発生予防に役立つ情報の提供を目的として、対象病原体について感染症発生動向調査を行っている。本報では 2012 年の細菌検索結果について報告する。

### 材 料

2012 年 1 月から 12 月までの間に、県内の 8 定点医療機関において採取された 368 件を対象とした。なお、輸送培地による検体の搬入は 221 件、菌株による搬入は 147 件であった。

検体・菌株の月別内訳を表 1 に示す。咽頭拭い液 195 件、後鼻腔拭い液 130 件、糞便 21 件、血液 7 件、その他 15 件であった。

### 方 法

#### 1 細菌分離

A 群溶血性レンサ球菌（以下“A 群溶レン菌”とする）、細菌性髄膜炎起因菌、百日咳菌、感染性胃腸炎起因菌等を、厚生省監修「微生物検査必携・第 3 版」、国立感染症研究所作成

「病原体検出マニュアル」に従い検索した。

#### 2 薬剤耐性遺伝子検出、薬剤感受性試験

肺炎球菌、インフルエンザ菌は、薬剤耐性遺伝子の検出を既報<sup>1)</sup>の方法により実施、判定した。また、薬剤感受性試験は各医療機関の実施結果を記述し、A 群溶レン菌は、当所で分離した 50 株を送付し、東京都健康安全センターで実施した結果を記述した。

表 2 居住地域別検体数

地域名	検体数	地域名	検体数
福島市	1	大沼郡	1
二本松市	1	南会津郡	1
本宮市	23	相馬市	76
郡山市	174	南相馬市	31
須賀川市	2	相馬郡	11
田村市	4	双葉郡	5
田村郡	6	いわき市	13
東白川郡	1	県外	6
会津若松	3	不明	8
耶麻郡	1		
		計	368

表 1 月別・検査材料別検体数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
咽頭拭い液	41	19	32	14	16	25	9	1	1	4	17	16	195
				(1)									(1)
後鼻腔拭い液	11	13	12	11	16	15	14	8	7	7	8	8	130
	(11)	(13)	(12)	(11)	(16)	(15)	(14)	(8)	(7)	(7)	(8)	(8)	(130)
糞便	2					2	2	7	3		4	1	21
							(1)	(1)	(1)		(1)		(5)
血液	1		2		1		1		1		1		7
			(1)		(1)		(1)				(1)		(4)
その他*	3	3	1		3	2			1	1	1		15
	(2)	(2)			(1)					(1)	(1)		(7)
	58	35	47	25	36	44	26	16	13	12	31	25	368

\* 気管吸引液 4 件、耳漏・穿刺液・鼻汁各 2 件、  
髄液・喀痰・浸出液・前房液・貯留液各 1 件

( ) 菌株数

## 結果及び考察

### 1 患者居住地域別症例数

患者居住地域別の検体数では全検体 368 件のうち県中地域で 186 件 (50.5 %), 相双地域で 123 件 (33.4 %) と, 地域に偏りが認められた。(表 2)

### 2 検査材料別検出状況

検体における検査材料別の細菌分離率を表 3 に示す。221 件中 179 件から 181 株の細菌が検出された。検出率は 81.0 % であった。

検出された検査材料の内訳は咽頭拭い液 167 件, 糞便 5 件, 血液 2 件, その他 5 件であった。

表 3 検査材料別分離率

	咽頭	糞便	血液	他	計
受付検体数	194	16	3	8	221
検出検体数	167	5	2	5	179
検出率(%)	86.1	31.3	66.7	62.5	81.0

### 3 細菌分離状況

表 4 に月別の細菌分離状況, 表 5 に検査材料別の細菌分離状況を示す。

#### 1) 溶血性レンサ球菌

A 群溶レン菌は 153 株が分離, あるいは菌株で搬入され, 全て上気道拭い液由来 (咽頭 127 株, 後鼻腔 2 株, 気管吸引 1 株) であった (表 4)。A 群溶レン菌の血清型は 9 種類に型別され, 最も多く分離されたのは T-1 型が 58 株 (38.0 %), 次いで T-12 型 54 株 (35.3 %), T-28 型 20 株 (13.1 %) であった。

図 1 に, 本調査による A 群溶レン菌の主要 T 型別年次推移を示した。2012 年は T-25 型の分離が 1 株に留まり, T-1 型, T-12 型及び T-28 型は増加傾向を示すなど, 2011 年と同様な傾向であった。

G 群溶レン菌は 9 株分離され, すべて咽頭拭い液由来であった。

B 群溶レン菌は 4 株分離され, 咽頭拭い液由来が 3 株 (血清型 Ib, III, NT6), 髄液由来が 1 株 (血清型 III) であった。

#### 2) 糞便・直腸拭い液からの検出菌

腸内細菌は 9 株が分離あるいは菌株で搬入され, *Salmonella* spp 5 株, 下痢原性大腸菌 2

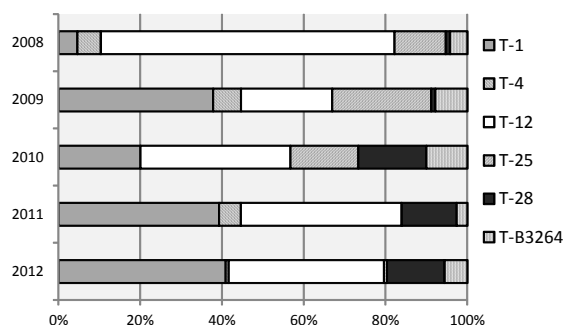


図 1 A 群溶レン菌の主要 T 型別年次推移

株, *Klebsiella pneumoniae* が 1 株であった (表 4)。

*Salmonella* の血清型は Typhimurium 2 株, Saintpaul 1 株, また血清型が決まらなかったものが 2 株あり, O4:i:UT と O8 群 (O6):b:- であった。

下痢原性大腸菌は腸管出血性大腸菌 (EHEC) O157 が 1 株, 腸管凝集付着性大腸菌 (EAEC) O126 が 1 株であった。下痢原性大腸菌については 2012 年 1 月から分類が改訂され, 何らかの病原因子を保有するものが対象となった。今回分離された EHEC O157 は *stx2* 及び *eae* を, EAEC O126 は *aggR* を保有していた。

その他, *Acinetobacter baumannii* 1 株, *Staphylococcus aureus* (*mecA*+) 1 株が分離された (表 5)。

#### 3) 肺炎球菌

肺炎球菌は 89 株が分離, あるいは菌株で搬入された (表 4)。後鼻腔拭い液由来が 86 株, 耳漏由来が 2 株, 血液由来が 1 株であった。

#### 4) インフルエンザ菌

インフルエンザ菌は 53 株が分離, あるいは菌株で搬入された (表 4)。後鼻腔拭い液由来が 51 株, 咽頭拭い液由来が 1 株, 耳漏由来が 1 株であった。インフルエンザ菌の血清型は, 型不明が最も多く 52 株 (98.1 %), 次いで f 型 1 株 (1.9 %) となった。

#### 5) その他の検出菌 (表 5)

咽頭拭い液からは *S.aureus* (*mecA*-) 5 株, *Bordetella pertussis* 1 株が分離された。また, *Mycoplasma pneumoniae* 2 株が LAMP 法で検出された。

血液からは *Corynebacterium aurimucosum*, *Anaerobiospirillum succiniciproducens*, *S.aureus* (*mecA*-), *Moraxella nonliquefaciens*, *Chromobacterium haemolyticum* が各 1 株分離された。

気管吸引液からは *A.baumannii* 2 株, *K.pneumoniae* 1 株が分離された。

*K.pneumoniae* についてはレジオネラ症疑いで搬入された検体から分離されたが, レジオネラ菌は分離されなかった。

鼻汁と喀痰からは *B.pertussis* が 1 株ずつ, 浸出液と貯留液からは *A.baumannii* が 1 株ずつ分離された。

表 4 月別細菌分離状況 (2012年1月~12月)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
A 群溶レン菌 T-1	17	10	9	2	4	5	2		1	1	3	4	58
A 群溶レン菌 T-3	4												4
A 群溶レン菌 T-4	1												1
A 群溶レン菌 T-6			1			4							5
A 群溶レン菌 T-11	1		1										2
A 群溶レン菌 T-12	5	6	11	3	4	8				1	7	9	54
A 群溶レン菌 T-25											1		1
A 群溶レン菌 T-28	5	2	3	2	3	3	2						20
A 群溶レン菌 T-B3264	2		3			2						1	8
B 群溶レン菌	1	1					1		1				4
G 群溶レン菌	3	1				1	1			1	1	1	9
<i>E.coli</i> O157 (EHEC)								1					1
<i>E.coli</i> O126 (EAEC)	1												1
<i>S.Typhimurium</i>							1	1					2
<i>S.Saintpaul</i>											1		1
<i>Salmonella</i> spp								1				1	2
<i>K.pneumoniae</i>					1				1				2
<i>S.pneumoniae</i> *1													
gPSSP			1		1	2				1		1	6
gPISP	4	7	7	2	4	7	4	4	2	2	5	4	52
gPRSP	3	6	4	1	2	1	4	3	2	3	1	1	31
<i>H.influenzae</i> *1													
gBLNAS								3	1		1	1	6
gLow-BLNAR		1	1			2							4
gBLNAR	4			8	9	5	4	2	1	1	1		35
gBLPAR	1						1						2
gBLPACR II	2	1					2					1	6
計	54	35	41	18	28	40	22	15	9	10	21	24	317

\* 1 PSSP : ペニシリン感受性肺炎球菌, PISP : ペニシリン中等度耐性肺炎球菌, PRSP : ペニシリン耐性肺炎球菌

\* 2 BLNAS :  $\beta$ ラクタマーゼ陰性アンピシリン感受性インフルエンザ菌, Low-BLNAR :  $\beta$ ラクタマーゼ陰性アンピシリン軽度耐性インフルエンザ菌, BLNAR :  $\beta$ ラクタマーゼ陰性アンピシリン耐性インフルエンザ菌, BLPAR :  $\beta$ ラクタマーゼ陽性アンピシリン耐性インフルエンザ菌, BLPACR-II :  $\beta$ ラクタマーゼ陽性アモキシシリン/クラブラン酸耐性-II インフルエンザ菌

\* 1, 2 遺伝子検査により薬剤感受性判定をした菌は genotype を表す「g」を付けて表記する

表5 その他の細菌分離状況（検査材料別，2012年1月～12月）

	咽頭 拭い液	糞便	血液	気管 吸引液	鼻汁	喀痰	浸出液	貯留液	計
<i>A.baumannii</i>		1		2			1	1	5
<i>B.pertussis</i>	1				1	1			3
<i>C.aurimucosum</i>			1						1
<i>A.succiniciproducens</i>			1						1
<i>S.aureus</i>	5	1	1						7
<i>M.nonliquefaciens</i>			1						1
<i>C.haemolyticum</i>			1						1
<i>M.pneumoniae</i>	2								2
<i>K.pneumoniae</i> (再掲)				1					1
計	8	2	5	3	1	1	1	1	22

6) *A.baumannii* の PFGE

2012年に分離された *A.baumannii* 5株はすべて A 病院から分離されたものであり，関連性を調べたいという依頼があったため PFGE を行った．2011年に採取し 2012年に搬入された1株を含めた6株を対象とした．*ApaI* と *SmaI* の2種類の制限酵素で切断した結果，6株は同じパターンを示した（図2）．

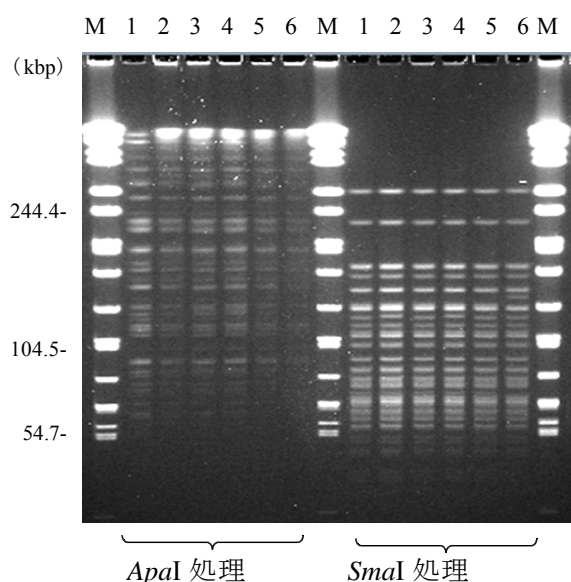


図2 PFGE結果

4 A群溶レン菌の薬剤感受性試験

表6，表7にA群溶レン菌の薬剤感受性試験結果を示す．

試験をした全ての株が，βラクタム系薬剤

（ペニシリン系，セフェム系）については良好な感受性を示した．

その他の薬剤については，クロラムフェニコール系以外の薬剤に耐性株が認められた．耐性パターンをみると，EM・CAMの2剤耐性が13株（26%），EM・CAM・CLDMの3剤耐性が8株（16%），EM・CAM・CLDM・TCの4剤耐性が16株（32%）であった．

T型別の耐性状況をみると，T-1型では13株（100%）が2剤耐性，T-11型は1株（100%）が3剤耐性であった．T-12型は10株（83.3%），T-B3264型は3株（42.9%）が4剤耐性，T-28型も全ての株が何らかの耐性を示した．一方，T-3型，T-6型はすべて感受性株であった．

分離の多かったT型別のEM・CAM耐性株年次推移を図3に示す．

T-1型は耐性率が平均的に高いが，T-12・T-28型は年々耐性率が高くなっていった．

5 肺炎球菌，インフルエンザ菌の薬剤耐性遺伝子検出結果

1) 肺炎球菌

薬剤耐性遺伝子の検出結果と Clinical and Laboratory Standards Institute (CLSI) による薬剤感受性判定結果を表8，表9に示す．

遺伝子検査の結果，ペニシリン結合蛋白をコードする3種類の遺伝子 (*pbp1a*, *pbp2x*, *pbp2b*) の内，何れかに変異が認められた株

表6 A群溶レン菌の薬剤感受性試験結果 (50株)

		MIC ( $\mu$ g/mL)															
		0.004	0.008	0.015	0.03	0.06	0.12	0.25	0.5	1	2	4	8	16	32	64	>64
ペニシリン系	ABPC			50	50												
	CEX						2	60	38								
セフェム系	CDTR	18	82														
	CFDN	4	94	2													
テトラサイクリン系	TC						26	40	2					6	6	20	
クロラムフェニコール系	CP										52	48					
マクロライド系	EM					10	16				6		2	24		42	
	CAM					20	6			6		8	60				
リンコマイシン系	CLDM								52			48					
	LCM						4	44	8	2							42

\* 数値は% \* 二重下線は耐性 (CLSI法において LCM の基準はない)

表7 T型別薬剤感受性試験結果

T型	T-1	T-3	T-6	T-11	T-12	T-28	T-B3264	計
感受性		4	3		2		4	13(26)
EM・CAM 耐性	13							13(26)
EM・CAM・CLDM 耐性				1		7		8(16)
EM・CAM・CLDM・TC 耐性					10	3	3	16(32)
菌株数	13	4	3	1	12	10	7	50

\* ( ) 型別耐性割合%

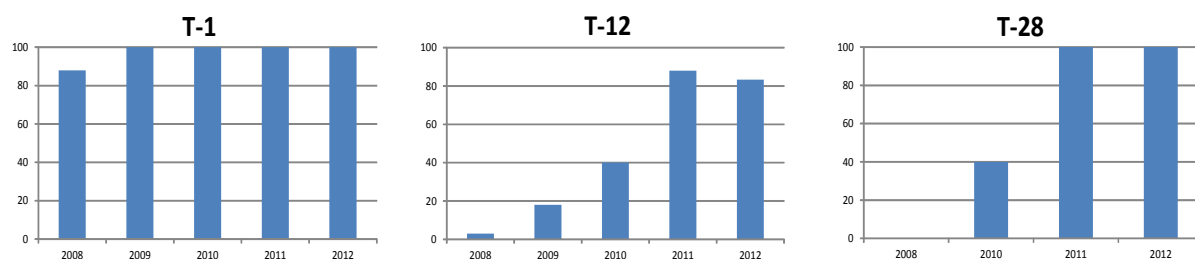


図3 主要T型別のEM・CAM耐性株検出状況

\* T-28型 2009年は薬剤感受性試験の実施なし

は 89 株中 83 株 (93.3 %) であった. これらを遺伝子変異に基づいて分類すると, gPSSP 6 株 (6.7 %), gPISP 52 株 (58.4 %), gPRSP 31 株 (34.8 %) であった. なお, 耳漏由来の 2 株はどちらも gPRSP, 血液由来の 1 株は *pbp2x* 変異の gPISP であった.

一方, CLSI による薬剤感受性試験では PSSP 21 株 (23.6 %), PISP 54 株 (60.7 %), PRSP 14 株 (15.7 %) に分類された. この PSSP 21 株の内, 15 株 (71.4 %) に *pbp* 変異が認められ, PISP 54 株の内 16 株 (29.6 %)

に *pbp1a+2x+2b* 変異が認められた.

マクロライド耐性遺伝子については, 88 株 (98.9 %) が保有していた. その内訳は, 軽度耐性遺伝子である *mefA* 保有が 13 株 (14.6 %), 高度耐性遺伝子である *ermB* 保有が 67 株 (75.3 %), 両方を保有していたのは 8 株 (9.0 %) であった.

肺炎球菌については例年より 2 割程度菌株数が減少した. また, *pbp* 変異率は 2009 年<sup>2)</sup> 91.0 %, 2010 年<sup>3)</sup> 92.6 %, 2011 年<sup>4)</sup> 97.0 % と年々上昇傾向にあったが, 2012 年は 93.3 %

表 8 肺炎球菌の薬剤耐性遺伝子検出結果 (pbp変異)

		PCRによる薬剤耐性							計	
		pbp 変異	gPSSP	gPISP				gPRSP		
			変異なし	<i>pbp1a</i>	<i>pbp2x</i>	<i>pbp2b</i>	<i>pbp1a+2x</i>	<i>pbp1a+2b</i>		<i>pbp2x+2b</i>
CLSIによる薬剤耐性	PSSP	6		14				1	21	
	PISP		5	1		1		31	16	54
	PRSP								14	14
	計	6	5	15		1		31	31	89

表 9 肺炎球菌の薬剤耐性遺伝子検出結果 (マクロライド耐性)

	保有なし	<i>mefA</i>	<i>ermB</i>	<i>mefA+ermB</i>	計
gPSSP			6		6
gPISP	1	5	46		52
gPRSP		8	15	8	31
計	1	13	67	8	89

とやや下降した。また、gPRSP の分離率は 2009 年 50.5 %，2010 年 64.8 %，2011 年 45.5 % と推移していたが，2012 年は 34.8 % と例年より低く，その分 gPISP の分離率が上昇した。

2) インフルエンザ菌

薬剤耐性遺伝子の検出結果と CLSI による薬剤感受性判定結果を表 10 に示す。

遺伝子検査の結果，ペニシリン結合蛋白をコードする *ftsI* 遺伝子 (*pbp3-1*, *pbp3-2*) の何れかに変異が認められた株は 53 株中 45 株 (84.9 %) であった。β ラクタマーゼを産生する TEM 遺伝子を保有していたのは 8 株 (15.1 %) であった。これらを遺伝子変異に基づいて分類すると，gBLNAS 6 株

(11.3 %), gLow-BLNAR 4 株 (7.5 %), gBLNAR 35 株 (66.0 %), gBLPAR 2 株 (3.8 %), gBLPACR-II 6 株 (11.3 %) であった。なお，耳漏由来の 1 株は gBLNAR であった。

一方，CLSI による薬剤感受性試験では BLNAS 21 株 (39.6 %), Low-BLNAR 10 株 (18.9 %), BLNAR 13 株 (24.5 %), BLPAR 8 株 (15.1 %) に分類された。この BLNAS 21 株の内 15 株 (71.4 %) に *pbp* 変異が認められた。

インフルエンザ菌についても例年より 3 割程度菌株数が減少した。また，*pbp* 変異率は 2009 年 86.1 %，2010 年 94.0 %，2011 年 87.5 % と推移しており，2012 年は 84.9 % と大きな変化はなかった。しかし，BLPAR の分離率は 15.1 % となり，2011 年と同じく高い傾向にあった (2009 年 5.6 %，2010 年 4.8 %，2011 年 15.1 %)。

謝 辞

検体採取等本事業にご協力いただいた病原体定点の医療機関の諸先生方に深謝いたします。

表 10 インフルエンザ菌の薬剤耐性遺伝子検出結果

		PCRによる薬剤耐性							計	
		TEM <i>pbp</i> 変異	gBLNAS	gLow-BLNAR	gBLNAR		gBLPAR	gBLPACR-II		
			変異なし	<i>pbp3-1</i>	<i>pbp3-2</i>	<i>pbp3-1+3-2</i>	変異なし	<i>pbp3-2</i>		<i>pbp3-1+3-2</i>
CLSIによる薬剤耐性	BLNAS	6	4		11				21	
	Low-BLNAR				10				10	
	BLNAR			5	8				13	
	BLPAR						2	2	4	8
	未実施			1						1
計		6	4	6	29	2	2	4	53	



### 引用文献

- 1) 平沢恭子, 須釜久美子, 熊谷奈々子, 他.  
2004年感染症発生動向調査事業報告(細菌).  
福島県衛生研究所年報 2004; 22: 59-66.
- 2) 小黒祐子, 菅野奈美, 渡邊奈々子, 他.  
2009年感染症発生動向調査事業報告(細菌).  
福島県衛生研究所年報 2009; 27: 65-71.
- 3) 小黒祐子, 千葉一樹, 菅野奈美, 他. 2010  
年感染症発生動向調査事業報告(細菌). 福島  
県衛生研究所年報 2010; 28: 61-66.
- 4) 渡邊奈々子, 千葉一樹, 菅野奈美, 他.  
2011年感染症発生動向調査事業報告(細菌).  
福島県衛生研究所年報 2011; 29: 60-66.



## IV 資 料



## (1) 福島県感染症発生動向調査事業実施要綱

### 第1 趣旨

この要綱は、「感染症発生動向調査事業実施要綱」（「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行に伴う感染症発生動向調査事業の実施について」平成11年3月19日付け、健医発第458号、厚生省保健医療局長通知）に基づき実施される感染症発生動向調査事業の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

### 第2 対象疾病

対象とする感染症は、次のとおりとする。

全数把握の対象感染症 別表1

定点把握の対象感染症 別表2

### 第3 実施主体

実施主体は福島県とする。

### 第4 実施体制

#### 1 福島県感染症情報センター(以下「情報センター」という。)

情報センターは、県内における患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集・解析し、全国情報と併せて解析評価し、これを速やかに医師会、保健所等の関係機関に提供、公開するものとして衛生研究所内に設置する。

#### 2 指定届出機関(定点)

定点把握対象の五類感染症について、患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集するため、患者定点、疑似症定点及び病原体定点を指定する。定点は別に定めるものとする。

指定期間は3年とし、3年毎に見直すこととするが再指定は妨げない。

なお、指定満了期間前に辞退を希望する場合は、30日以上予告期間を設けて申し出るものとする。

#### 3 感染症発生動向調査企画委員会

県内における情報の収集、効果的な分析及び効率的な運用を図るため、感染症発生動向調査企画委員会を設置する。

感染症発生動向調査企画委員会に関しては、「感染症発生動向調査企画委員会設置要領」を別に定めるものとする。

### 第5 事業の実施

#### 1 一類・二類・三類・四類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症

##### (1) 調査単位及び実施方法

ア 診断した医師

- ① 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症を届出基準等通知に基づき診断した場合は、厚生労働省令において定める基準に基づき直ちに最寄りの保健所に届出を行う。
- ② 医師は、保健所から当該患者(別表1の(52)を除く)の病原体検査のため検体又は病原体情報の提供について依頼を受けた場合には、協力可能な範囲において、検体又は病原体情報について別記様式「一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症検査票(病原体)」(以下「検査票」という。)を添付して衛生研究所へ送付する。  
ただし、検体等の衛生研究所への送付については、保健所が行うものとする。

#### イ 保健所

- ① 上記ア①の届出を受けた保健所は、別記様式1-1から別記様式4-43に該当する項目について、感染症発生動向調査システムに直ちに登録する。
- ② 保健所は、必要がある時は、当該患者(別表1の(52)を除く)を診断した医師に対し、病原体検査のための検体又は病原体情報の衛生研究所への提供について、検査票を添付して依頼するものとする。
- ③ 保健所は、情報センターから提供された患者情報及び病原体情報を週単位の還元情報及び月単位の還元情報として指定届出機関、郡市医師会、教育委員会等に情報を提供する。
- ④ 保健所は、一類・二類・三類・四類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症の患者の届出を受けた感染症にかかる発生状況を把握し、郡市医師会、指定届出機関、その他発生の状況に応じて関係機関に情報を提供し連携を図る。(個人情報に関する事項を除く)

#### ウ 衛生研究所

- ① 衛生研究所は、保健所から、検体及び病原体情報が送付された場合には、当該検体を別に定める「福島県病原体検査実施要領(以下「検査要領」という。)」に基づき検査し、その結果を、保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、中央感染症情報センター及び感染・看護室へ報告する。
- ② 衛生研究所は、検査を実施することが困難なものについて、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。
- ③ 衛生研究所は、患者が一類感染症と診断された場合、都道府県域を越えた集団発生があった場合等の緊急の場合にあっては、厚生労働省健康局結核感染症課からの依頼に基づき、検体を国立感染症研究所に送付する。

#### エ 情報センター

- ① 情報センターは、イ①で保健所が登録したデータの確認を登録後直ちに、感染症発生動向調査システムにより行う。
- ② 情報センターは、週単位の還元情報(県内情報を収集、解析したもの)及び月単位の還元情報(県内及び全国情報を収集、解析したもの)を保健所へ還元情報

として提供するとともに、福島県医師会、福島県教育委員会、その他関係者に対し情報提供する。

## 2 五類感染症（全数把握）

### (1) 調査単位及び実施方法

#### ア 診断した医師

- ① 全数把握対象の五類感染症について、別に定める届出基準に基づき、患者を診断した医師は、別記様式 5-1 から別記様式 5-14-3 により、7 日以内に最寄りの保健所に届出を行う。
- ② 医師は、保健所から当該患者の病原体検査のため検体又は病原体情報の提供について依頼を受けた場合には、協力可能な範囲において、検査票を添付して衛生研究所へ送付する。  
ただし、検体等の衛生研究所への送付については、保健所が行うものとする。  
また、病原体検査の対象は、別表 3 に掲げる感染症とする。

#### イ 保健所

- ① 上記ア①の届出を受けた保健所は、別記様式 5-1 から別記様式 5-14-3 に該当する項目について直ちに感染症発生動向調査システムに登録する。
- ② 保健所は、必要がある時は、当該患者を診断した医師に対し、病原体検査のための検体又は病原体情報の衛生研究所への提供について、検査票を添付して依頼するものとする。
- ③ 保健所は、情報センターから提供された患者情報及び病原体情報を週単位の還元情報及び月単位の還元情報として指定届出機関、郡市医師会、教育委員会等に情報を提供する。
- ④ 保健所は、全数把握対象の五類感染症の患者の届出を受けた感染症にかかる発生状況を把握し、郡市医師会、指定届出機関、その他発生の状況に応じて関係機関に情報を提供し連携を図る。（個人情報に関する事項を除く）

#### ウ 衛生研究所

- ① 衛生研究所は、保健所から、検体及び病原体情報が送付された場合には、当該検体を検査要領に基づき検査し、その結果を、保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、中央感染症情報センター及び感染・看護室へ報告する。
- ② 衛生研究所は、検査を実施することが困難なものについて、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。
- ③ 衛生研究所は、都道府県域を越えた集団発生があった場合等の緊急の場合にあっては、厚生労働省健康局結核感染症課からの依頼に基づき、検体を国立感染症研究所に送付する。

#### エ 情報センター

- ① 情報センターは、イ①で保健所が登録したデータの確認を医師の届出を受けて直ちに、感染症発生動向調査システムにより行う。

- ② 情報センターは、週単位の還元情報(県内情報を収集、解析したもの)及び月単位の還元情報(県内及び全国情報を収集、解析したもの)を保健所へ還元情報として提供するとともに、福島県医師会、福島県教育委員会、その他関係者に対し情報提供する。

### 3 定点把握対象の五類感染症

#### (1) 対象とする感染症の状態

対象とする感染症は、厚生労働省において定める報告基準を参考とし、当該感染症の患者と診断される場合とする。

#### (2) 患者情報

##### ア 患者定点の種類及び定点数

定点の種類及び対象とする疾患は、別表4のとおりとする。

なお、定点数は厚生労働省の算定基準を参考に設定することとする。

イ 別表4の分類により1週間単位(月曜日から日曜日)または月単位とする。

##### ウ 実施方法

① 患者定点は、調査単位の期間ごとに報告基準により患者発生状況を把握する。

② 届出の様式は次のとおりとする。

小児科定点別記様式 7-1

インフルエンザ定点別記様式 7-2 別記様式 59-2

眼科定点別記様式 7-3

STD定点別記様式 7-4

基幹定点別記様式 7-2(2)別記様式 7-5 別記様式 7-6

##### エ 届出

患者定点として選定された機関は、週報については、翌週の月曜日に、月単位の場合は翌月の初日に保健所へファックス等で発送する。

##### オ 保健所

① 保健所は、患者定点から得られた患者情報の情報項目を週報にあつては翌週の火曜日までに、月報にあつては翌月の3日までに感染・看護室及び情報センターへコンピュータオンラインシステムにより登録する。

また、対象感染症についての集団発生その他特記すべき情報についても報告する。

② 保健所は、翌週の火曜日までに別記様式 59-2 をファックスまたはメールで衛生研究所に報告する。

③ 保健所は、定点把握対象の5類感染症の発生状況等を把握し、情報センターから提供された情報について、週単位の還元情報(県内及び全国情報を収集、解析したもの)及び月単位の還元情報(県内及び全国情報を収集、解析したも



の)として、市町村・指定届出機関・郡市医師会・教育委員会等に情報提供し連携を図る。

#### カ 情報センター

- ① 情報センターは、オ①で保健所が登録したデータの確認を登録後直ちに、コンピュータオンラインシステムにより行う。
- ② 情報センターは、週単位の還元情報(県内分を収集、解析したもの)及び月単位の還元情報(県内及び全国情報を収集、解析したもの)を保健所へ還元情報として提供するとともに、福島県医師会、福島県教育委員会、その他関係者に対し情報提供する。なお、週単位の情報については主な感染症の発生の動向について報道機関へ資料提供することとする。

### (3) 病原体情報

#### ア 病原体定点の選定

患者定点の内から、各定点の概ね10%を病原体定点とする。病原体定点は別に定めるものとする。

#### イ 対象とする感染症

各定点毎に対象とする感染症は、別表5のとおりとする

#### ウ 病原体定点

- ① 病原体定点は、検査要領により、微生物学的検査のための検体を採取する。
- ② 採取された検体は、保健所が回収するまで、検査票と共に一時保存する。

#### エ 衛生研究所

- ① 衛生研究所は、検査票及び検体が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、病原体情報を直ちに中央感染症情報センターに報告する。
- ② 衛生研究所は、検体の検査結果を感染・看護室、病原体定点及び保健所、情報センターに通知する。
- ③ 衛生研究所は、検査を実施することが困難なものについて、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。
- ④ 都道府県域を越えた集団発生があった場合等の緊急の場合にあっては、検体を国立感染症研究所へ送付する。

#### オ 情報センター

情報センターは、衛生研究所から提供された病原体情報を本研究所の協力を得て解析し、必要に応じ還元情報として福島県医師会、福島県教育委員会及びその他関係機関に対し提供公開する。

#### カ 保健所

- ① 保健所は月1回または必要に応じ、病原体定点が保存していた検体を衛生研

究所まで搬送する。

- ② 保健所は、情報センターから提供された還元情報を指定届出機関、郡市医師会、教育委員会等へ提供する。

キ その他

その他病原体検査に関する必要な事項については、「検査要領」を別に定める。

4 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

(1) 対象とする疑似症の状態

各々の疑似症について、厚生労働省令において定める報告基準を参考とし、当該疑似症の患者と診断される場合とする。

(2) 患者定点の種類及び定点数

定点の種類及び対象とする疾患は、別表2のとおりとする。

なお、定点数は厚生労働省の算定基準を参考に設定することとする。

(3) 実施方法

ア 疑似症定点

- ① 疑似症定点は、調査単位の期間ごとに報告基準により患者発生状況を把握する。
- ② 届出は、原則として症候群サーベイランスシステムへの入力により実施することとする。

イ 保健所

- ① 保健所は、疑似症定点における症候群サーベイランスシステムへの入力を実施することができない場合、当該疑似症定点から得られた疑似症情報を、直ちに、症候群サーベイランスシステムに入力するものとする。  
また、対象疑似症についての集団発生その他特記すべき情報についても感染・看護室及び地方感染症情報センターへ報告する。
- ② 保健所は、疑似症の発生状況等を把握し、市町村、指定医療機関、郡市医師会、教育委員会等に情報提供し連携を図る。

ウ 感染・看護室

感染・看護室にあっては、それぞれの管内の疑似症情報について、保健所からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

エ 情報センター

情報センターは、県内全ての疑似症情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、保健所、市町村、指定医療機関、郡市医師会、教育委員会等に提供・公開する。

オ その他

その他疑似症に関する必要な事項については、別に定める。

## 5 オンラインシステムによる積極的疫学調査結果の報告

### (1) 対象感染症

(12) 鳥インフルエンザ(H5N1)

### (2) 実施方法

#### ア 保健所

鳥インフルエンザ(H5N1)に係る積極的疫学調査を実施した保健所は、厚生労働省令において定める基準に従い、直ちに疑い症例調査支援システムに調査内容を入力するものとする。

#### イ 衛生研究所

- ① 衛生研究所は、検体が送付された場合にあつては、当該検体を検査し、その結果を保健所に通知する。通知を受けた保健所においては、その内容を直ちに疑い症例調査支援システムに入力する。
- ② 鳥インフルエンザ(H5N1)に係る積極的疫学調査の結果を厚生労働省に報告する場合にあつては、法施行規則第9条第2項に従い、検体を国立感染症研究所に送付する。

附 則

この要綱は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成13年6月4日から施行する。

附 則

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成15年8月21日から施行する。

附 則

この要綱は、平成15年11月5日から施行する。

附 則

この要綱は、平成17年1月24日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年6月12日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年11月28日から施行する。

附 則

この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年1月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年5月22日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年2月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年3月31日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年8月22日から施行し、平成23年9月5日から適用する。

附 則

この要綱は、平成25年3月4日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年5月6日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年10月14日から施行する。

別表1（全数報告の対象疾患）

<p>一類感染症</p>	<p>(1) エボラ出血熱  (2) クリミア・コンゴ出血熱  (3) 痘そう  (4) 南米出血熱  (5) ペスト  (6) マールブルグ病  (7) ラッサ熱</p>
<p>二類感染症</p>	<p>(8) 急性灰白髄炎  (9) 結核  (10) ジフテリア  (11) 重症急性呼吸器症候群  (病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る)  (12) 鳥インフルエンザ（H5N1）</p>
<p>三類感染症</p>	<p>(13) コレラ  (14) 細菌性赤痢  (15) 腸管出血性大腸菌感染症  (16) 腸チフス  (17) パラチフス</p>
<p>四類感染症</p>	<p>(18) E型肝炎  (19) ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）  (20) A型肝炎  (21) エキノコックス症  (22) 黄熱  (23) オウム病  (24) オムスク出血熱  (25) 回帰熱  (26) キャサヌル森林病  (27) Q熱  (28) 狂犬病  (29) コクシジオイデス症  (30) サル痘  (31) 重症熱性血小板減少症候群  (病原体がSF-TSウイルスであるものに限る。)  (32) 腎症候性出血熱  (33) 西部ウマ脳炎  (34) ダニ媒介脳炎  (35) 炭疽  (36) チクングニア熱  (37) つつが虫病  (38) デング熱  (39) 東部ウマ脳炎  (40) 鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9を除く）</p>

四類感染症	<ul style="list-style-type: none"> <li>(41) ニパウイルス感染症</li> <li>(42) 日本紅斑熱</li> <li>(43) 日本脳炎</li> <li>(44) ハンタウイルス肺症候群</li> <li>(45) Bウイルス病</li> <li>(46) 鼻疽</li> <li>(47) ブルセラ病</li> <li>(48) ベネズエラウマ脳炎</li> <li>(49) ヘンドラウイルス感染症</li> <li>(50) 発しんチフス</li> <li>(51) ボツリヌス症</li> <li>(52) マラリア</li> <li>(53) 野兎病</li> <li>(54) ライム病</li> <li>(55) リッサウイルス感染症</li> <li>(56) リフトバレー熱</li> <li>(57) 類鼻疽</li> <li>(58) レジオネラ症</li> <li>(59) レプトスピラ症</li> <li>(60) ロッキー山紅斑熱</li> </ul>
五類感染症	<ul style="list-style-type: none"> <li>(61) アメーバ赤痢</li> <li>(62) ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）</li> <li>(63) 急性脳炎 （ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）</li> <li>(64) クリプトスポリジウム症</li> <li>(65) クロイツフェルト・ヤコブ病</li> <li>(66) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症</li> <li>(67) 後天性免疫不全症候群</li> <li>(68) ジアルジア症</li> <li>(69) 侵襲性インフルエンザ菌感染症</li> <li>(70) 侵襲性髄膜炎菌感染症</li> <li>(71) 侵襲性肺炎球菌感染症</li> <li>(72) 先天性風しん症候群</li> <li>(73) 梅毒</li> <li>(74) 破傷風</li> <li>(75) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症</li> <li>(76) バンコマイシン耐性腸球菌感染症</li> <li>(77) 風しん</li> <li>(78) 麻しん</li> </ul>
新型インフルエンザ等感染症	<ul style="list-style-type: none"> <li>(105) 新型インフルエンザ</li> <li>(106) 再興型インフルエンザ</li> </ul>
指定感染症	<ul style="list-style-type: none"> <li>(107) 鳥インフルエンザ（H7N9）</li> </ul>

別表2（定点把握の対象）

五類感染症	(79) R S ウイルス感染症 (80) 咽頭結膜熱 (81) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (82) 感染性胃腸炎 (83) 水痘 (84) 手足口病 (85) 伝染性紅斑 (86) 突発性発しん (87) 百日咳 (88) ヘルパンギーナ (89) 流行性耳下腺炎 (90) インフルエンザ （鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く） (91) 急性出血性結膜炎 (92) 流行性角結膜炎 (93) 性器クラミジア感染症 (94) 性器ヘルペスウイルス感染症 (95) 尖圭コンジローマ (96) 淋菌感染症 (97) クラミジア肺炎（オウム病を除く） (98) 細菌性髄膜炎 （インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く） (99) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 (100) マイコプラズマ肺炎 (101) 無菌性髄膜炎 (102) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (103) 薬剤耐性アシネトバクター感染症 (104) 薬剤耐性緑膿菌感染症
法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症	(108) 摂氏38度以上の発熱及び呼吸器症状 （明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く） (109) 発熱及び発しん又は水疱 （ただし、当該疑似症が二類感染症、三類感染症、四類感染症及び五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合を除く）

別表3（全数把握五類感染症病原体検査の対象）

五類感染症	(61) アメーバ赤痢 (63) 急性脳炎 （ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く） (65) クロイツフェルト・ヤコブ病 (66) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (67) 後天性免疫不全症候群 (70) 侵襲性髄膜炎菌感染症 (72) 先天性風しん症候群 (74) 破傷風 (75) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (76) バンコマイシン耐性腸球菌感染症 (77) 風しん (78) 麻しん
-------	--

別表4 (定点把握五類感染症患者定点の種類及び対象)

患者定点	対象疾患
インフルエンザ定点 (内科)	(90) インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)
小児科定点 インフルエンザ定点を兼ねる	(79) R S ウイルス感染症 (80) 咽頭結膜熱 (81) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (82) 感染性胃腸炎 (83) 水痘 (84) 手足口病 (85) 伝染性紅斑 (86) 突発性発しん (87) 百日咳 (88) ヘルパンギーナ (89) 流行性耳下腺炎 (90) インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)
眼科定点	(91) 急性出血性結膜炎 (92) 流行性角結膜炎
STD定点	(93) 性器クラミジア感染症 (94) 性器ヘルペスウイルス感染症 (95) 尖圭コンジローマ (96) 淋菌感染症
基幹定点	(82) 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるもの) (90) インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く) (97) クラミジア肺炎 (オウム病を除く) (98) 細菌性髄膜炎 (インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く) (99) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 (100) マイコプラズマ肺炎 (101) 無菌性髄膜炎 (102) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (103) 薬剤耐性アシネトバクター感染症 (104) 薬剤耐性緑膿菌感染症

注1 下記疾患については月報報告

- |       |                         |
|-------|-------------------------|
| STD定点 | (93) 性器クラミジア感染症         |
|       | (94) 性器ヘルペスウイルス感染症      |
|       | (95) 尖圭コンジローマ           |
|       | (96) 淋菌感染症              |
| 基幹定点  | (99) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症     |
|       | (102) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 |
|       | (103) 薬剤耐性アシネトバクター感染症   |
|       | (104) 薬剤耐性緑膿菌感染症        |



注2 基幹定点における(90) インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)の届出基準は、インフルエンザ定点と異なり、入院患者に限定される。  
別表5 (定点把握五類感染症病原体定点の対象)

患者定点	対象疾患
インフルエンザ病原体定点	(90) インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)
小児科病原体定点 インフルエンザ定点を兼ねる	(80) 咽頭結膜熱 (81) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (82) 感染性胃腸炎 (84) 手足口病 (87) 百日咳 (88) ヘルパンギーナ (89) 流行性耳下腺炎 (90) インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)
眼科病原体定点	(91) 急性出血性結膜炎 (92) 流行性角結膜炎
基幹病原体定点	(82) 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるもの) (98) 細菌性髄膜炎 (インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く) (101) 無菌性髄膜炎

## 別記様式について

福島県結核・感染症発生動向調査事業実施要綱のなかに別記様式の表記がありますが、書面の都合上、本報告書では省略させていただきます。

なお、福島県衛生研究所のホームページにおいて、対象疾患の届出様式を掲載しておりますので、以下のページをご覧ください。（厚生労働省のページへのリンクを掲載しております。）

福島県衛生研究所トップ

→■各課のページ

（感染症週報・月報・年報はこちら）

→（下方）

※感染症発生動向調査の対象疾患一覧はこちらをクリックしてください  
（厚生労働省のページが開きます）

## 指定届出医療機関一覧表（患者定点）

### 1 インフルエンザ定点(31)

※ 定点数としては小児科含み76定点

保健所	No.	医療機関名	所在地
県北(7)	1	総合病院福島赤十字病院	福島市入江町11-31
	2	医療生協わたり病院	福島市渡利字中江町34
	3	大原総合病院	福島市大町6番11号
	4	公立藤田総合病院	伊達郡国見町大字塚野目字三本木14番地
	5	保原中央クリニック	伊達市保原町字城内73番地1
	6	社会保険二本松病院	二本松市成田一丁目553
	7	慈久会谷病院	本宮市本宮字南町裡149番地
郡山市(5)	8	池田内科医院	郡山市安積町荒井字下北井前43-5
	9	池ノ台クリニック	郡山市池ノ台3-1
	10	太田西ノ内病院	郡山市西ノ内2丁目5番20号
	11	いがらし内科外科クリニック	郡山市並木2丁目12-7
	12	むかわクリニック	郡山市八山田5丁目79番地
県中(4)	13	公立岩瀬病院	須賀川市北町20
	14	公立小野町地方総合病院	田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後4
	15	かとうの内科クリニック	田村市船引町東部台4丁目81
	16	やまもと内科クリニック	石川町大字双里字白坂下75-3
県南(3)	17	塙厚生病院	東白川郡塙町大字塙字大町1丁目5番地
	18	会田病院	西白河郡矢吹町本町216
	19	白河厚生総合病院	白河市豊地上弥次郎2番地1
会津(4)	20	公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属病院	会津若松市河東町谷沢字前田21-2
	21	竹田総合病院	会津若松市山鹿町3番27号
	22	高橋小児クリニック	喜多方市関柴町上高額字家ノ北605-1
	23	坂下厚生総合病院	河沼郡会津坂下町字逆水50番地
南会津(1)	24	県立南会津病院	南会津郡南会津町永田字風下14-1
相双(2)	25	伸裕会・渡辺病院	南相馬市原町区西町1丁目50番地
	26	社団茶畑会・相馬中央病院	相馬市小泉字沖ノ内3丁目5番地18
いわき(5)	27	佐藤クリニック	いわき市平小太郎3-7
	28	こまつ内科	いわき市平下神谷字仲田135

29	根本内科胃腸科医院	いわき市常磐湯本天王崎1-80
30	クリニックかしま	いわき市鹿島町下蔵持字里屋3-1
31	クリニック田畑	いわき市中岡町3-7-3

## 2 小児科定点(45)

保健所		医療機関名	住 所
県北(10)	1	よしだこどもクリニック	本宮市大字高木字平内67-15
	2	総合病院福島赤十字病院	福島市入江町11-31
	3	医療生協わたり病院	福島市渡利字中江町34
	4	大原総合病院	福島市大町6番11号
	5	いちかわクリニック	福島市南矢野目字鼓田6番地1
	6	都小児科医院	福島市東中央一丁目9番地
	7	武田小児科	伊達市保原町字栄町51番地
	8	公立藤田総合病院	伊達郡国見町大字塚野目字三本木14番地
	9	森小児科医院	二本松市郭内二丁目341
	10	かさい小児科クリニック	二本松市油井字福岡161番地1
郡山市(7)	11	寿泉堂総合病院	郡山市駅前1丁目1番17号
	12	太田西ノ内病院	郡山市西ノ内2丁目5番20号
	13	仁寿会・菊池医院	郡山市本町1丁目14番21号
	14	おおがチャイルドクリニック	郡山市大槻町字土瓜204番地の75
	15	かわなこどもクリニック	郡山市安積3丁目298番地
	16	星総合病院	郡山市向河原町159-1
	17	久米こどもクリニック	郡山市島2丁目50-1
県中(6)	18	公立岩瀬病院	須賀川市北町20番地
	19	こんの小児科	須賀川市中宿202番地
	20	公立小野町地方総合病院	田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後4番地
	21	東部台こどもクリニック	田村市船引町東部台3丁目78
	22	矢吹医院	田村郡三春町字中町28
	23	やまもと内科クリニック	石川郡石川町大字双里字白坂75-3
県南(4)	24	白河厚生総合病院	白河市横町114番地
	25	樋口小児クリニック	西白河郡矢吹町大久保393
	26	みうら小児クリニック	白河市白坂石阿弥陀17-1

	27	塙厚生病院	東白川郡塙町大字塙字大町1丁目5番地
会津(6)	28	森田小児科医院	会津若松市古川町4-21
	29	竹田綜合病院	会津若松市山鹿町3番27号
	30	いとう子どもクリニック	会津若松市門田町黒岩大坪180
	31	いづかファミリークリニック	会津若松市一箕町大字鶴賀字下居合59
	32	渡辺小児科医院	喜多方市沢ノ免7333の2
	33	寿松堂小児科・内科渡辺医院	河沼郡会津板下町五反田1181
南会津(2)	34	県立南会津病院	南会津郡南会津町永田字風下14-1
	35	なかやクリニック	南会津郡南会津町片貝字根木屋向16番地
相双(2)	36	南相馬市立総合病院	南相馬市原町区高見町2丁目54番地の6
	37	公立相馬総合病院	相馬市新沼字坪ヶ迫142
いわき市(8)	38	相原小児科医院	いわき市内郷御厩町4丁目11
	39	いわき市立総合磐城共立病院	いわき市内郷御厩町久世原16
	40	いわき草木台総合クリニック	いわき市草木台5-1-5
	41	福田小児科医院	いわき市平下荒川字川前71-1
	42	やまぎわこどもクリニック	いわき市郷ヶ丘2-10-1
	43	原田小児科医院	いわき市小名浜大原小滝町7-1
	44	森のこどもクリニック	いわき市植田町月山下62-8
	45	こどもクリニックすずき	いわき市泉町6-5-6

### 3 眼科定点(12)

保健所		医療機関名	住所
県北(3)	1	南中央眼科クリニック	福島市南中央1-67-2
	2	おおこうち眼科	伊達市字岡前20-5
	3	野地眼科医院	二本松市若宮1-183
郡山市(2)	4	今泉眼科病院	郡山市堂前町20番9号
	5	佐藤眼科医院	郡山市安積町長久保3丁目15-12
県中(1)	6	今泉須賀川医院	須賀川市南町320
県南(1)	7	近藤眼科	白河市大手町4-5
会津(2)	8	竹田綜合病院	会津若松市山鹿町3番27号
	9	前田眼科医院	会津若松市中町3-30
相双(1)	10	小林眼科医院	南相馬市原町区南町1丁目155番地

いわき市(2)	11	つりまき眼科クリニック	いわき市植田町横町3-2
	12	はたの眼科	いわき市常磐関船上関111

#### 4 STD定点(15)

保健所		医療機関名	住 所
県北(4)	1	セントクリニック(婦)	伊達市保原町上保原字大地内39番地の4
	2	大原総合病院(泌)	福島市大町6番地11号
	3	西口クリニック(婦)	福島市三河南町10番5号
	4	社会保険二本松病院(泌)	二本松市成田町一丁目553
郡山市(2)	5	桜井産婦人科医院(婦)	郡山市虎丸町23-18
	6	宮田泌尿器科(泌)	郡山市安積町長久保1丁目4-2
県中(2)	7	小林医院(婦)	須賀川市南町30番地の10
	8	公立岩瀬病院(泌)	須賀川市北町20番地
県南	9	白河厚生総合病院(泌)	白河市豊地上弥次郎2番地1
会津(2)	10	入澤泌尿器科内科クリニック(泌)	会津若松市門田町大字日吉字丑淵11-21
	11	竹田総合病院(婦)	会津若松市山鹿町3-27
相双(1)	12	公立相馬総合病院(泌)	相馬市新沼字坪ヶ迫142
いわき市(3)	13	いわき市立総合磐城共立病院(婦)	いわき市内郷御厩町久世原16
	14	いわき泌尿器科(泌)	いわき市内郷綴町沼尻62
	15	佐藤マタニティークリニック(婦)	いわき市勿来町窪田町通1丁目124番地

#### 5 基幹定点(7)

保健所		医療機関名	住 所
県北	1	大原総合病院	福島市大町6番11号
郡山市	2	太田西ノ内病院	郡山市西ノ内2丁目5番20号
県南	3	白河厚生総合病院	白河市豊地上弥次郎2番地1
会津	4	竹田総合病院	会津若松市山鹿町3-27
南会津	5	県立南会津病院	南会津郡南会津町永田字風下14-1
相双	6	南相馬市立総合病院	南相馬市原町区高見町2丁目54番地の6
いわき市	7	いわき市立総合磐城共立病院	いわき市内郷御厩町久世原16

#### 6 疑似症定点(118)

保健所		医療機関名	住 所	
県北(30)	1 2	福島赤十字病院(内科・小児科)	福島市入江町11-31	
	3 4	医療生協わたり病院(内科・小児科)	福島市渡利字中江町34	
	5	大原総合病院(基幹)	福島市大町6-11	
	6	いちかわクリニック	福島市南矢野目字鼓田6-1	
	7	都小児科医院	福島市東中央1-9	
	8 9	公立大学法人福島県立医科大学附属 病院(内科・小児科)	福島市光が丘1	
	10 11	済生会福島総合病院(内科・小児科)	福島市大森字下原田25	
	12 13	福島中央市民医療生活協同組合須川 診療所(内科・小児科)	福島市野田町一丁目12番72号	
	14	福島西部病院(内科)	福島市東中央三丁目15	
	15	福島第一病院(内科)	福島市北沢又字成出16-2	
	16 17	公立藤田総合病院(内科・小児科)	伊達郡国見町大字塚野目字三本木14番地	
	18	保原中央クリニック	伊達市保原町城ノ内73-1	
	19	武田小児科	伊達市保原町字栄町51	
	20	伊達市立梁川病院(内科)	伊達市梁川町字東土橋8	
	21	済生会川俣病院(内科)	伊達郡川俣町大字鶴沢字川端2-4	
	22	財団法人仁泉会医学研究所北福島医 療センター(内科)	伊達市箱崎字東23-1	
	23 24	社会保険二本松病院(内科・小児科)	二本松市成田一丁目553	
	25	森小児科医院	二本松市郭内二丁目341	
	26	かさい小児科クリニック	二本松市油井字福岡161-1	
	27	医療法人辰星会栢病院(内科)	二本松市本町1-103	
	28 29	慈久会谷病院(内科・小児科)	本宮市本宮字南町裡149番地	
	30	よしだこどもクリニック	本宮市高木字平内67-15	
	郡山市(19)	31	寿泉堂総合病院(小児科)	郡山市駅前1丁目1番17号
		32	太田西ノ内病院(基幹)	郡山市西ノ内2丁目5番20号
		33	仁寿会・菊池医院	郡山市本町1丁目14番21号
		34	おおがチャイルドクリニック	郡山市大槻町字土瓜204番地の75
		35	かわなこどもクリニック	郡山市安積3丁目298番地
		36	星総合病院(小児科)	郡山市向河原町159-1
		37	久米こどもクリニック	郡山市島2丁目50-1
		38	池田内科医院	郡山市安積町荒井字下北井前43-5
39		池ノ台クリニック	郡山市池ノ台3-1	

	40	いがらし内科外科クリニック	郡山市並木2丁目12-7	
	41	むかわクリニック	郡山市八山田5丁目79番地	
	42	医療法人はぐくみ いいもり子ども医院	郡山市富久山町久保田字伊賀河原3	
	43	医療法人チルドレンクリニック	郡山市大槻町二本木12-1	
	44	おおのこどもクリニック	郡山市字賀庄54-1	
	45	医療法人やまさわ内科	郡山市不動前1-39	
	46	医療法人弘恵会 ひわだ太田診療所	郡山市日和田町字原12-41	
	47	天田内科クリニック	郡山市山根町12-27	
	48	医療法人慈繁会附属トータルヘルスクリニック	郡山市字山崎171	
	49	医療法人三橋内科胃腸科クリニック	郡山市大槻町字北の林27-2	
県中(14)	50 51	公立岩瀬病院(内科・小児科)	須賀川市北町20	
	52	こんの小児科	須賀川市中宿202番地	
	53	石川内科	須賀川市下宿町57	
	54	医療法人吉田医院	須賀川市上北町96番地1	
	55	大高内科クリニック	須賀川市大町403-9	
	56	東部台こどもクリニック	田村市船引町東部台3-78	
	57	かとうの内科クリニック	田村市船引町東部台4-81	
	58 59	公立小野地方総合病院(内科・小児科)	田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後4	
	60	矢吹医院	田村郡三春町字中町28	
	61 62	やまもと内科クリニック	石川町大字双里字白坂下75-3	
	63	あつみ内科医院	玉川村大字小高字中畷18-1	
	県南(9)	64	白河厚生総合病院(基幹)	白河市豊地上弥次郎2番地1
		65	みうら小児クリニック	白河市白坂字石阿弥陀17-1
		66	育慈会いわしなクリニック	西白河郡西郷村大字米字西原3-5
67 68		白河市表郷クリニック(内科・小児科)	白河市表郷金山字長者久保2-5	
69		樋口小児クリニック	西白河郡矢吹町大久保393	
70		会田病院(内科)	西白河郡矢吹町本町216	
71 72		塙厚生病院(内科・小児科)	東白川郡塙町大字塙字大町1丁目5番地	
会津(16)	73	森田小児科医院	会津若松市古川町4-21	
	74	竹田総合病院(基幹)	会津若松市山鹿町3番27号	
	75	いとう子どもクリニック	会津若松市門田町黒岩大坪180	
	76	いづかファミリークリニック	会津若松市一箕町大字鶴賀字下居合59	



	77	公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属病院(内科)	会津若松市河東町谷沢字前田21-2
	78	会津中央病院(内科)	会津若松市鶴賀町1-1
	79	医療法人明精会 会津西病院(小児科)	会津若松市北会津町東小松2335
	80	医療法人社団新生会 佐藤病院(小児科)	会津若松市西栄町2-27
	81	渡辺小児科医院	喜多方市沢ノ免7333の2
	82	高橋小児クリニック(内科)	喜多方市関柴町上高額字家ノ北605-1
	83	医療法人昨雲会飯塚病院附属有隣病院(内科)	喜多方市松山町村松字北原3643-1
	84	渡辺医院	河沼郡会津板下町五反田1181
	85	坂下厚生総合病院(内科)	河沼郡会津坂下町字逆水50
	86	猪苗代町立猪苗代病院(内科)	耶麻郡猪苗代町梨木西65番地
	87	福島県厚生農業協同組合連合会高田厚生病院(内科)	大沼郡会津美里町字高田甲2981
	88	県立宮下病院(内科)	大沼郡三島町大字宮下字水尻1150
南会津(4)	89	県立南会津病院(基幹)	南会津町永田字風下14-1
	90	なかやクリニック	南会津町片貝字根木屋向16
	91	芳賀医院	南会津郡下郷町大字栄富字南原甲619-3
	92	医療法人みぎわ会 長谷川医院	南会津郡南会津町田島字中町甲3936
相双(5)	93	公立相馬総合病院(小児科)	相馬市新沼字坪ヶ迫142
	94	社団茶畑会・相馬中央病院(内科)	相馬市小泉字沖ノ内3丁目5番地18
	95	伸裕会・渡辺病院(内科)	南相馬市原町区西町1丁目50番地
	96	南相馬市立総合病院(基幹)	南相馬市原町区高見町2丁目54番地の6
	97	鹿島厚生病院(内科)	南相馬市鹿島区横手字川原2
いわき(21)	98	相原小児科医院	いわき市内郷御厩町4丁目11
	99	いわき市立総合磐城共立病院(基幹)	いわき市内郷御厩町久世原16
	100	独立行政法人労働者健康福祉機構福島労災病院	いわき市内郷綴町沼尻3
	101	むらまつ小児科	いわき市常磐関船町上関48-1
	102	根本内科胃腸科医院	いわき市常磐湯本天王崎1-80
	103	佐藤クリニック	いわき市平小太郎3-7
	104	松村病院	いわき市平字小太郎町1-1
	105	中央台遠藤内科クリニック	いわき市中央台高久二丁目22-1
	106	こまつ内科	いわき市平下神谷字仲田135
	107	福田小児科医院	いわき市平下荒川字川前71-1
	108	独立行政法人国立病院機構いわき病院	いわき市平豊間字兎渡路291

109	やまぎわこどもクリニック	いわき市郷ヶ丘2-10-1
110	原田小児科医院	いわき市小名浜大原小滝町7-1
111	こない子供クリニック	いわき市小名浜岡小名1-2-1
112	森のこどもクリニック	いわき市植田町月山下62-8
113	こどもクリニックすずき	いわき市泉町6-5-6
114	クリニックかしま	いわき市鹿島町下蔵時字里屋3-1
115	クリニック田畑	いわき市中岡町3-7-3
116	社団医療法人呉羽会 呉羽総合病院	いわき市錦町落合1-1
117	医療法人恒温会 いわき草木台総合クリニック	いわき市草木台5-1-5
118	菅波整形外科小児科	いわき市四倉町東1-40-3

## 感染症発生動向調査指定届出医療機関一覧（病原体定点）

### 1 インフルエンザ病原体定点（8）

保健所		医療機関名	住所
県北	1	福島赤十字病院	福島市入江町11-31
郡山市	2	太田西ノ内病院	郡山市西の内2丁目5番20号
県中	3	公立岩瀬病院	須賀川市北町20
県南	4	白河厚生総合病院	白河市豊地上弥次郎2番地1
会津	5	竹田総合病院	会津若松市山鹿町3番27号
南会津	6	県立南会津病院	南会津郡南会津町永田字風下14-1
相双	7	公立相馬総合病院	相馬市新沼字坪ヶ迫142
いわき市	8	相原小児科医院	いわき市内郷御厩町4丁目11

### 2 小児科病原体定点（5）

保健所		医療機関名	住所
県北	1	福島赤十字病院	福島市入江町11-31
郡山市	2	太田西ノ内病院	郡山市西の内2丁目5番20号
	3	仁寿会・菊池医院	郡山市本町1丁目14番21号
会津	4	いづかファミリークリニック	会津若松市一箕町鶴賀字下居合59
いわき市	5	相原小児科医院	いわき市内郷御厩町4丁目11

### 3 眼科病原体定点（1）

保健所		医療機関名	住所
県北	1	南中央眼科クリニック	福島市南中央1-67-2

### 4 基幹病原体定点（7）

保健所		医療機関名	住所
県北	1	大原総合病院	福島市大町6番11号
郡山市	2	太田西ノ内病院	郡山市西の内2丁目5番20号
県南	3	白河厚生総合病院	白河市豊地上弥次郎2番地1
会津	4	竹田総合病院	会津若松市山鹿町3番27号
南会津	5	県立南会津病院	南会津郡南会津町永田字風下14-1
相双	6	公立相馬総合病院	相馬市新沼字坪ヶ迫142
いわき市	7	いわき市立総合磐城共立病院	いわき市内郷御厩町久世原16

## (2) 福島県病原体検査実施要領

### 第1 趣旨

福島県感染症発生動向調査事業における病原体検査の実施にあたり、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱（以下「実施要綱」という。）に定めない事項について定める。

### 第2 事業

#### 1 検査対象疾病

各病原体定点医療機関における検査対象疾病については、福島県感染症発生動向調査企画委員会の意見を聞き、別に定めるものとする。（別表）

#### 2 検体採取機関

各医療機関・病原体定点となった医療機関

#### 3 検査方法等

##### (1) 検査方法

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行に伴う感染症発生動向調査事業の実施について」（平成11年3月19日付健医発第458号）の第5事業の実施3定点把握対象の5類感染症(4)実施方法イ病原体定点①に示す病原体検査指針による。

##### (2) 検体採取・保存及び輸送法

###### ア 細菌感染症が疑われる場合

###### (ア) 糞便

- a 細菌学的検査用には抗生物質投与前の糞便を採取するようにする。
- b 排泄直後の糞便（約2g：親指頭大量）をキャリー・ブレイア培地に採取する。
- c 検体採取後はできるだけ速やかに衛生研究所に輸送するのが望ましい。
- d 冷蔵で保存、輸送する（冷凍してはならない）。

###### (イ) 咽頭ぬぐい液

- a 滅菌綿棒で鼻腔あるいは咽頭をよくぬぐい、輸送培地中（アミー培地等）にその綿棒を深部まで突き刺し、直ちに固く栓を締める。
- b 検体採取後はできるだけ速やかに衛生研究所に輸送するのが望ましいが、やむを得ない場合は冷蔵保存する。
- c 冷凍で保存、輸送してはならない。
- d 百日咳症疑いについては専用の綿棒で採取し、冷凍で保存、輸送する。

(ウ) その他

髄液、血液、陰部分泌物及び擦過物等の検体の保存、輸送については、その都度衛生研究所に照会すること。

イ ウイルス感染症が疑われる場合の検体採取法

(ア) 糞便

- a 排泄直後の糞便（約 2 g：親指頭大量）を滅菌容器に採取する。
- b 冷凍で保存、輸送する。

(イ) 咽頭ぬぐい液

- a 滅菌綿棒で鼻腔あるいは咽頭をよくぬぐい、滅菌容器に約 3 mL 分注した保存液（VTM：Viral Transfer Medium）にその綿棒を浸す。綿棒を保存液中でよく振とうして、拭い物をできる限り浮遊させた後、綿棒を管壁に押しつけてから取り出して密栓する。
- b 冷凍で保存、輸送する。

(ウ) 結膜擦過物

- a 滅菌綿棒で下瞼結膜を擦過する。綿棒を保存液中でよく振とうして擦過物をできる限り浮遊させた後、綿棒を管壁に押しつけてから取り出して密栓する。
- b 冷凍で保存、輸送する。

(エ) 髄液

- a 無菌的に 1～5 mL の髄液を採取して、滅菌容器に入れ密栓する。
- b 冷凍で保存、輸送する。

(オ) その他

血液、水疱内容液、陰部分泌物及び擦過物等の検体の保存、輸送については、その都度衛生研究所に照会すること。

4 器材

検体採取に必要な器材は、衛生研究所が準備し、必要に応じ保健所から関係医療機関に配付する。

5 その他

指定、一類、二類、三類、四類及び全数把握対象の五類感染症のうち病原体検査対象の検体については、その都度必要に応じて採取、輸送する。また、定点把握対象の五類感染症の検査対象の検体については原則として月 1 回あらかじめ定めた日に収集し、輸送を行う。

附 則

この要領は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 13 年 6 月 4 日から施行する。

附 則

この要領は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成16年11月25日から施行する。

附 則

この要領は、平成18年6月12日から施行する。

附 則

この要領は、平成23年2月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成25年3月4日から施行する。

附 則

この要領は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成25年10月14日から施行する。

(別 表)

患者定点	対象疾患
インフルエンザ病原体定点	(90) インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)
小児科病原体定点 インフルエンザ定点を兼ねる	(80) 咽頭結膜熱 (81) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (82) 感染性胃腸炎 (84) 手足口病 (87) 百日咳 (88) ヘルパンギーナ (89) 流行性耳下腺炎 (90) インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)
眼科病原体定点	(91) 急性出血性結膜炎 (92) 流行性角結膜炎
基幹病原体定点	(82) 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるもの) (98) 細菌性髄膜炎 (インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く) (101) 無菌性髄膜炎

※全数把握疾患については、保健所から依頼を受けた場合に検査対象とする。

### (3) 福島県感染症発生動向調査企画委員会設置要領

#### 1 目的

福島県感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき実施する事業の推進を図るため、感染症発生動向調査企画委員会（以下「企画委員会」という。）を置く。

#### 2 協議事項

企画委員会は、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 感染症発生動向調査体制による感染症の発生状況、免疫保有状況等の情報の収集と効果的な分析、還元に関すること。
- (2) 感染症発生動向調査による各種情報に基づいた効率的な予防接種計画に関すること。
- (3) 予防接種による副反応の調査、事故例の原因究明及び再発防止に関すること。

#### 3 組織

- (1) 企画委員会の委員は15名以内で組織する。
- (2) 委員は各号に掲げるうちから知事が委嘱する。
  - ア 学識経験者（小児科、内科、眼科、婦人科、泌尿器科、微生物学、疫学専門家）
  - イ 関係団体代表者
  - ウ 行政機関代表者（中核市含む）
- (3) 会長は委員の互選により決定し、会務を総括する。
- (4) 会長に事故あるときは、会長の指名する委員がその職務を代理する。
- (5) 企画委員会のもとに、以下の委員会及び部会を設置することとし、その設置要領を別に定める。
  - ① 感染症情報解析委員会
  - ② 麻しん対策検討部会

#### 4 会議

- (1) 企画委員会は会長が召集する。
- (2) 議事は、委員の過半数で決し、可否同数の時は会長の決するところによる。
- (3) 会長が必要と認める時は、他の専門家の意見を聞くことができる。

#### 5 任期

- (1) 委員の任期は2年とする。ただし、委員に欠員が生じた時の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- (2) 委員は再任させることができる。

#### 6 事務局

企画委員会の庶務は保健福祉部感染・看護室において処理する。



附 則

- 1 この要領は、平成13年1月23日から施行する。
- 2 この要領の施行の日以後、最初に開かれる委員会は、第4の規定に関わらず知事が招集する。

附 則

この要領は、平成13年6月4日から施行する。

附 則

この要領は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成20年4月22日から施行する。

附 則

この要領は、平成23年2月1日から施行する。

福島県感染症発生動向調査企画委員会名簿

所 属 名	職 名	氏 名
県立医科大学	公衆衛生学講座教授	安 村 誠 司
〃	微生物学講座教授	錫 谷 達 夫
〃	小児科学講座教授	細 矢 光 亮
太田西ノ内病院	院長	松 田 信
太田西ノ内病院	周産期センター長	田 中 幹 夫
大原総合病院	泌尿器科診療顧問	横 山 純
南中央眼科クリニック	院 長	松 木 恒 生
福島県医師会	副会長	菊 池 辰 夫
〃	常任理事	星 北 斗
保健所長会	県中保健福祉事務所長	山 口 靖 明
衛生研究所	所 長	笹 原 賢 司
郡山市保健所	所 長	阿 部 孝 一
いわき市保健所	所 長	新 家 利 一
保健福祉部	次長（健康衛生担当）	大 平 正 芳

## (4) 福島県感染症情報解析委員会設置要領

### 第1 目的

感染症に関する患者、病原体情報を医療機関や県民により有効な情報として提供するため、福島県感染症発生動向調査企画委員会のもとに専門的な観点から情報解析を行うことを目的として福島県感染症情報解析委員会（以下「解析委員会」という。）を設置する。

### 第2 協議事項

解析委員会は、次に掲げる事項を協議する。

- 1 感染症発生動向調査により収集した患者情報・病原体情報のデータの評価に関すること。
- 2 上記の提供する情報を作成するに当たっての助言等に関すること。
- 3 その他必要な事項

### 第3 組織

- 1 解析委員会は、5名以内で組織する。
- 2 委員は医師等（疫学、小児科、内科、微生物学等）のうちから知事が委嘱する。
- 3 会長は委員の互選により決定し、会務を総括する。
- 4 会長に事故あるときは、会長の指名する委員がその職務を代理する。

### 第4 会議

- 1 解析委員会は会長が原則として月1回招集する。
- 2 会長が必要と認める時は、他の専門家の出席を求め意見を聞くことができる。
- 3 会議の運営についての詳細は解析委員会が定める。

### 第5 任期

- 1 委員の任期は2年とする。ただし、委員に欠員が生じた時の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 2 委員は再任されることができる。

### 第6 事務局

解析委員会の庶務は衛生研究所において処理する。

### 附則

- 1 この要領は、平成13年5月22日から施行する。
- 2 この要領の施行の日以後、最初に開かれる委員会は、第4の規定に関わらず知事が招集する。

## 福島県感染症情報解析委員会委員名簿

区 分	所 属	氏 名
微生物学	県立医科大学 微生物学講座	錫 谷 達 夫
公衆衛生学	県立医科大学 公衆衛生学講座	中 野 匡 子
内 科	須田医院	須 田 滉
小児科	県立医科大学 小児科学講座	佐 藤 晶 論
行 政	衛生研究所 所長	笹 原 賢 司

## (5) 福島県麻しん対策検討部会設置要領

### 第1 目的

麻しんに関する発生動向、予防接種率及び副反応の発生事例等を把握し、地域における施策の構築及び進捗状況の評価することを目的に、福島県感染症発生動向調査企画委員会（以下「企画委員会」という。）のもとに福島県麻しん対策検討部会（以下「麻しん部会」という。）を設置する。

### 第2 協議事項

麻しん部会は、次に掲げる事項を協議する。

- 1 麻しんの発生動向を把握・評価に関すること。
- 2 定期の予防接種の実施状況の評価に関すること。
- 3 定期の予防接種の副反応の発生状況等の状況把握に関すること。
- 4 麻しんに関する施策の進捗状況の評価に関すること。
- 5 その他必要な事項

### 第3 組織

- 1 麻しん部会の構成員は、会長が必要と認める者とする。
- 2 会長は企画委員会の委員の中から決定する。
- 3 会長に事故あるときは、会長の指名する構成員がその職務を代理する。

### 第4 会議

- 1 麻しん部会は会長が招集する。
- 2 会長が必要と認める時は、他の専門家の出席を求め意見を聞くことができる。
- 3 会議の運営についての詳細は麻しん部会が定める。

### 第5 任期

- 1 構成員の任期は2年とする。ただし、構成員に欠員が生じた時の補欠構成員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 2 構成員は再任されることができる。

### 第6 事務局

麻しん部会の庶務は地域医療課感染・看護室において処理する。

### 附則

この要領は、平成20年4月22日から施行する。

### 附則

この要領は、平成22年4月1日から施行する。

## 福島県麻しん対策検討部会委員名簿

所属名	職 名	氏 名
公立大学法人福島県立医科大学	小児科学講座教授	細 矢 光 亮
福島県市長会	事務局長	宮 崎 憲 治
社団法人福島県医師会	副会長	菊 池 辰 夫
福島県PTA連合会	副会長	羽 金 潤 子
福島県中学校長会	福島市立北信中学校長	吉 川 博
福島県高等学校長協会	福島県立新地高等学校長	佐 藤 洋 光
日本保育協会福島県支部	支部長	坂 本 佳 友
福島県保健所長会		

平成 2 4 年  
福島県感染症発生動向調査事業報告書  
平成 2 5 年 3 月 発行

発 行：福島県衛生研究所

福島県感染症情報センター

〒 9 6 0 - 8 5 6 0

福島県福島市方木田字水戸内 1 6 番 6 号

T E L 0 2 4 - 5 4 6 - 7 1 0 4 (代)

F A X 0 2 4 - 5 4 6 - 8 3 6 4

E-mail eiseikenkyuu@pref.fukushima.lg.jp

U R L [http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp\\_portal/PortalServlet?DISPLAY\\_ID=DIRECT&NEXT\\_DISPLAY\\_ID=U000004&CONTENTS\\_ID=14792](http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=14792)